

関西大学図書館シリーズ 第二十五輯

関西大学所蔵

近世文書目録
その二

関西大学図書館

序

本図書館では、さきに春原源太郎博士旧蔵文書約五万点のうち近江国関係の近世地方文書の目録を、「近世文書目録その一」（昭和六十二年三月）として刊行したが、このたびこれに引き続き「近世文書目録その二」を刊行する運びとなった。本目録には、尾張国愛知郡鳴海村（宿）下郷家文書約三、〇〇〇点（なお冊子が解体して断簡となっているものについては、断簡をそれぞれ一点と数えた）を収めている。

下郷家文書は、鳴海村庄屋文書、鳴海宿問屋・兼帯庄屋文書および下郷家（千代倉本家および分家の柏木家、喜多浦家）文書の三つの文書群から成る。年代は延宝元年（一六七三年）から明治初期にかけてのものである。鳴海村は、本陣・脇本陣・問屋が置かれ、助郷制度も整備されていた宿場町を含む大村であり、下郷家の本家・千代倉家（姓は下郷氏）は酒造業を営む大地主で、嘉永年間（一八四八年～一八五四年）以後は本陣をも務めた。したがって本目録に収めた文書には、地方関係史料・宿場町関係史料および酒造、金融、小作関係等の私家資料が含まれている。

本目録が成るについては、図書館員藤原有和主事の努力に負うところが多い。記して感謝する。

平成元年三月二日

関西大学図書館長

高 島 義 郎

凡 例

一、本目録は「関西大学所蔵近世文書目録その二」として、春原博士旧蔵文書のうち尾張国愛知郡鳴海村下郷家文書約三、〇〇〇点を収めた。

一、目録編成にあたって、個々の文書の内容や性格ならびに関連性を把握して類別を行い、大・中・小の項目を与えて配列した。

一、小項目の中の配列は、原則として年代順である。

一、文書の記述はほぼ、(一)表題 (二)作成年月日 (三)差出人・宛名(又は作成者) (四)注記 (五)形態 (六)数量 (七)整理番号の順である。

一、表題は、原則として原表題によったが、表題のない場合および内容を補記する場合は(一)を付した。なお、表題以外で補記する場合は(一)を付した。

一、文書の形態は、冊子型文書について、たて縦帳および横帳によって原本の大概を示すにとどめた。

一、数量の上部に示した仮は仮綴本であることを示す。なお、数量単位を丁で表わしている文書は、冊子型文書の断簡である。

一、字体は、原則として常用漢字を使用した。ただし、地名、人名、および「而」「者」「江」「与」「而已」「扣」などは原本のまま記した。

目次

序 凡 例

尾張国愛知郡 鳴海村下郷家文書目録

鳴海村庄屋文書

支配

触写、御林、御用金、鳴海陣屋役宅坪
数帳

貢租・諸役・村入用

検見・納米、山方年貢、巡見御用、御
城米、村方下用割、村借、井領米（南
野村、橋修復・以伏替入用、明治期
村費

土地

耕地、山林

戸口

人数書上帳・百姓家数牛馬書上帳・奉
公人改帳、宗門改帳、奉公人・被官百
姓宗門帳、宗門自分一札、他所稼人別
書上帳、質屋人別書上、寺手形他

村政

御用留、村鑑、絵図、村役人、倒家・
御救銀、頼母子、秣置置

治安・訴訟

打擲・切害、荷物取失・背米、番人、
穢多富蔵一件、薬草取場入会一件、地
所戻一件、貸金出入、分散、離縁、難
渋、その他の出入

寺社

寺社書上、浅間社祭礼、誓願寺

鳴海宿問屋・兼帯庄屋文書

鳴海宿

支配

触写

諸役・宿方入用

伝馬役、助郷、諸入用、飯売女連上
銀、鷹遣ひ、損所普請、拝借金

戸口

飯売女人別帳、宿村送り

宿場

問屋場、問屋役、公武の通行・宿泊

治安

無宿、相對死、変死・病死、乱防、盜
難、召捕入用

有松村

村政

村内軒別坪数書上帳

間米村

村入用

村下用

戸口

人数改帳・百姓家数馬数書上帳

村政

御用留、村役人、救米

治安・訴訟

元庄屋直助不正一件、強盜

植田村

村政

御用留

下郷家文書

千代倉本家

酒造方

大行事（酒造米・酒樽積送り）、千代倉東
店、千代倉江戸店、通手形

金融

金右衛門、寂照他、金三郎他、次郎八、
勘右衛門、勘左衛門、次郎四郎、燎太
郎、拝借金、借金

地主経営

小作、耕地請作券（明治八年）、質・談
渡

奉公人

請狀(宗門手形を含む)、見合帳	
家政	一一九
家計、相続他、書簡、日記	
分家柏木家	一二二
金融	一二二
借金、買得	一二三
家政	一二三
相続、書簡(庄屋文書を含む)	
分家喜多浦家	一二四
家政	一二四
家計、日記	一二四

鳴海村庄屋文書

支配

触写

↓「村政」「御用留」(一〇頁以下)をも見よ

御書付之写(博奕諸勝負事禁止)	文政十二年六月	(鳴海陣屋)	一通	三五
追放刑関係断簡	文政十一年十二月(嘉永五年十一月)		一通	三七
硝石製造方取斗候儀ニ付申渡	(年代未詳)子九月	織田	三丁	三七
大作			一通	三五
松平薩摩守殿旧冬御鷹拝領被致候ニ付申渡	(年代未詳)丑七月	郡奉行所	一通	三五
在々百姓共旦方宗門改之節判形致方之儀ニ付触	(年代未詳)辰閏正月	寺社奉行所	一通	三五
御家中諸士勝手就困窮被仰出之條々(後欠)	(年代未詳)西ノ六月		一通	三六
触書(御上洛ニ付往還筋掃除之儀)	(年代未詳)二月廿三日	往還方役所	四丁	三三
尋儀有之候間陣屋江可罷出候	(年代未詳)三月十二日	鳴海陣屋	一通	三六
寄姫様御卒去ニ付、鳴物ハ今日ノ三日停止	(年代未詳)三月十六日	寺社奉行所	一枚	一四〇
公儀御茶壺登リ鳴海通行ニ付往還筋掃除之儀	(年	一丁・二通	三六	
代未詳)四月廿九日	鳴海陣屋	別紙村々庄屋	付、書簡包紙共	
米穀及高料、雑穀作増喰継之心懸方につき、御勘定奉行		一丁	二六	

衆より申渡

(年代未詳)四月

挑灯渡り方	(年代未詳)五月十五日	鳴海陣屋	鳴海村庄屋	一通	九六
日光御神忌御用ニ付宿助郷江触	(年代未詳)五月			一通	三五
上納麦金ニ付順達	(年代未詳)六月九日	鳴海陣屋	鳴海村庄屋	一通	三五
実油ニ付御触書写	(年代未詳)六月十日	鳴海陣屋	鳴海村庄屋	一丁	一四三
天白橋車留御解相成候由	(年代未詳)七月十六日	当番庄屋		一通	三五
急キ別紙之通御触書出ニ付写相達候条	(年代未詳)七月廿七日	飛切大急キ		一通	三五
別紙之通御触書出候付即刻写相達之候条	(年代未詳)七月十七日	当番庄屋	菊田備前殿他二十名・七ヶ寺	一通	二五九
別紙之通御触書順達断簡	(年代未詳)八月四日	下郷弥兵衛		一通	二七三
別紙之通御触書順達断簡	(年代未詳)八月七日	下郷弥兵衛		一通	二七六
地方御勘定奉行衆より御城下端々借屋住之者共儀につき	(年代未詳)九月朔日	金(森)五郎兵衛	別紙村々庄屋	二丁	二四六
熱田大宮正ノ辻宮濟、舞楽相濟候迄僧尼法味之輩禁制標	(年代未詳)九月	鳴海陣屋		二丁	二六〇
杭内江不可参入	(年代未詳)九月	鳴海陣屋		二丁	二六〇
公方様御尊骸御軍艦ニ而江戸表江被為入候旨	(年	二丁・一通		二六七	
公義御代替ニ付起証文一条ニ付両度目御触書到来ニ付写	(年代未詳)九月 付、書簡			二六七	
公義御代替ニ付起証文一条ニ付両度目御触書到来ニ付写	(年代未詳)十月九日	御徒目付前鳴海八郎	別紙宿々問屋・年寄	三丁	二八四
庄屋・与頭					

飛切大急寺(御触書出候付即刻写相達之候条)(年代未詳十一月廿四日 当番庄屋の菊田備前殿他三名・九ヶ寺 鈴木美濃守殿の京阿弥を以御城附江被相渡候書付写(年代未詳十一月 村々庄屋	一通 二五五
(水戸中納言様御逝去ニ付鳴物停止)(年代未詳十二月廿六日 神抵役所 南部役所の別紙村々庄屋	一丁 二四六
水野越前守殿の御殿江被相渡候書付写(古文字 銀古式朱銀引替方并引替所等之儀)(年代未詳十二月	五丁 二四六
(公義御茶壺御下りの儀断簡)(年代未詳	一通 二七四
御 林	
御林御取締日記 明治四年九月 黒石詰所仮	一冊 一六五
御 用 金	
献金書上帳 安政三年十月 鳴海村初有脇村迄六拾貳ヶ村 并ニ寺郡輪中	一冊 一六三
組々献金請取帳 安政三年十一月ヨリ 鳴海村世話方	一冊 一六三
年恐御請申上候御事(御征長御軍費等御用達)(年代未詳子十二月 御支配下村々惣代鳴海村加藤平左衛門他四名の鳴海陣屋)	一通 二六四
(調達金差出)(年代未詳申八月 鳴海村	一通 二六七
鳴海陣屋役宅坪数帳	
万延元年申七月御陣屋御建替新地之分御役所御代官 衆役宅并御手代衆御役宅坪数帳 文久三年十二月廿四日 加藤平左衛門・下郷弥兵衛改	一冊 一六三

貢租・諸役・村入用 ↓「村政」「御用留」(一〇貢以下)をも見よ	
検 見・納 米	
(屋敷地年貢関係断簡) 宝曆七年十一月 丑暮御年貢人子当留帳 天明元年極月吉日	一通 二〇三
寛(納米) 文化二年十二月 番掛村庄屋幸右衛門の下郷勘左衛門殿	一通 三二六
酉年免附町相場畑引検見徳留帳 天保八年十二月 [地方全所]	一冊 一七六
亥年免附町相場畑引検見徳留帳 天保十年十二月	一冊 一四八
辰年免附町直段畑引検見徳留帳 天保十五年十二月	一冊 一四八
巳年免附町直段畑引検見徳留帳 弘化二年十二月	一冊 一四八
寛(御膳麦五斗、広井御蔵役所江相納候) 安政三年十月十八日 吉田助次郎手附富村武三郎の鳴海村庄屋中	一通 二〇三
寛(地子物成請取) 安政四年十二月 間屋惣代加藤平右衛門の庄屋下郷弥兵衛殿	一丁 二四二
元治元子年免割写 元治元年	九丁 一六六
鳴海申立を以荒増之誤張(去ル安政三辰年 当村御払居米代未納此節上納可仕旨)(安政四年 鳴海村(庄屋)の(鳴海)御陣屋	一通 二〇三
安政五年御物成廣井於御蔵請取通 安政五年十一月 愛知郡鳴海村	三丁 一七六

慶応二年免割帳 慶応二年	六丁 二五八
慶応三卯年早田検見概引 慶応三年	三丁 一五七
慶応三卯年検見概引 慶応三年	九丁 二〇五
買仕切(納米相渡、代金銀子銭受取)(年代未詳)子正月卅日 大橋市左衛門の千代倉治郎八殿	一通 三六六
寛(納米勘定相濟)(年代未詳)子八月十五日 下郷勘左衛門の鈴木次兵衛殿	一通 二五八
寛(大高納米百石預り)(年代未詳)丑十二月十二日 鈴木次郎兵衛他一名の下郷勘左衛門様	一通 二五八
寛(蔵米受取)(年代未詳)寅二月十二日 佐和屋理左衛門の下郷勘左衛門様	一通 二五八
寛(占小麦五俵大高村良左衛門方買請之分請取)(年代未詳)寅五月廿四日 大高村出穀緒役近藤三左衛門の鳴海村庄屋中寅年皆濟帳写(年代未詳)十二月(鳴海村)下組	一通 二五八
(取米)(年代未詳)卯四月 右(鳴海)村庄屋下郷保之助他六名	一冊 二〇〇
寛(納米)(年代未詳)辰五月十二日 米屋当番の村方御衆中様	一通 二五八
(年貢関係断簡)(年代未詳)辰十二月	二丁 一六元
寛(当年年定金納御年貢金請取)(年代未詳)午十二月 鳴海陣屋(鳴海村庄屋)	一通 二六五
寛(其村去年御物成置米之内)(年代未詳)未七月 八吉太夫代酒井齋助他一名の鳴海村庄屋中	一通 二七三
寛(其村去年御物成置米之内)(年代未詳)未七月 八吉太夫の鳴海村庄屋	一通 二六六
辰年検見概引(年代未詳)	六丁 一五三

寛(当年御年貢金請取)(年代未詳)午十一月 鳴海陣屋(鳴海村庄屋中)	一通 二五七
戌年早稲坪切(年代未詳)	一通 二五八
寛(納米四拾石、御地頭様御払米郷蔵ニ預置)(年代未詳)亥十二月日 大高村郷蔵方藤市他一名の鳴海宿下郷治郎八殿	一通 三六六
寛(桶廻間村当亥年御物成之内)(年代未詳)亥十二月三日 服部半左代の右(桶廻間)村庄屋中	一通 三三三
寛(桶廻間村当亥年御物成之内)(年代未詳)亥十二月廿四日 服部半左代の右(桶廻間)村庄屋中	一通 三三三
寛(桶廻間村御居米)(年代未詳)子二月廿四日 美濃屋惣兵衛の下郷治郎八様	一通 二五八
寛(寅年夫銀取替受取残り)(年代未詳)亥十二月廿七日 三左衛門の下郷次郎八様	一通 二五八
切手(麦老石差送り)(年代未詳)三月晦日 右(大府)村庄屋の鳴海村御庄屋衆中	一通 二七三
切手(小豆老石差送り)(年代未詳)四月九日 大府(村)庄屋三七七	一通 二七三
七の鳴海御庄屋衆中	一通 二七三
寛(蕎麦五俵他差送り)(年代未詳)四月十二日 日置村庄屋係右衛門の鳴海村出穀緒役衆様	一通 二五八
寛(白米請取)(年代未詳)七月晦日 東阿野(村)詰手代の鳴海村庄屋中	一通 二五八
奉願上候事(上納之儀)(年代未詳)十二月廿四日 甫十の傳芳様 付、包紙	一通 二五八
亥之年皆濟状之事(後欠)(年代未詳) 鳴海村	一通 二五八
(永井松右衛門分検見断簡)(年代未詳) 永井松右衛門	一通 二五八

山方年貢

〔山方年貢〕 (享保十四年)十一月 安坂才右他一名右(鳴海)村庄屋中	一通 一九七
覺〔山方年貢請取〕 (享保十四年)西十二月十八日 安坂才右右(鳴海)村庄屋中	一通 一九六
〔鳴海村次郎八扣、当末年山方見取御年貢米上納〕 元文四年十一月 箕浦傳左他一名右(鳴海)村庄屋	一通 一八三
〔鳴海村次郎八扣、当亥年山方御年貢上納〕 寛保三年十一月 久保弥次太他一名右(鳴海)村庄屋	一通 一八三
覺〔鳴海村次郎八扣、当亥年山方御年貢受取〕 寛保三年十二月十八日 久保弥次太他一名右(鳴海)村庄屋	一通 一八四
〔鳴海村次郎八扣、当子年山方年貢米上納〕 延享元年十一月 久保弥次太他一名右(鳴海)村庄屋	一通 一八五
〔山方御年貢〕 延享四年十一月 古川定右他一名右(鳴海)村庄屋	一通 二〇〇
覺〔追分山鳴海村五郎八扣、当卯年山方御年貢受取〕 延享四年十二月十八日 土岐市右他一名右(鳴海)村庄屋	一通 一八六
亥歲山方御見取定納山屋敷地御年貢定金納取立帳 文 横敷一冊 一八七	
久三年十一月 支配下郷保之介	
覺〔子年山方御年貢代受取〕 (年代未詳)十二月十八日 久保弥次太右村庄屋	一通 二七七
覺〔寅年山方御年貢受取〕 (年代未詳)寅十二月十九日 古川定右右村庄屋	一通 二〇四
〔申之年山方米代請取〕 (年代未詳)申十二月十九日 加藤与二	一通 二〇三

郎右村庄屋中

巡見御用

公義御巡見御用一卷 天保九年四月 鳴海里正下郷弥兵衛	一冊 二〇七
御城米	
御城米運賃金銀通 東西方 寛政元年九月吉日 近藤小七他二名下郷次郎八殿	一冊 三六三
覺〔御城米川出し駄賃并日用代借用〕 寛政元年九月 次郎七他一名下郷次郎八殿	一通 六
覺〔御城米川出し駄賃并諸懸リ二借用〕 寛政元年九月 与頭又七郎他一名下郷次郎八殿	一通 九
覺〔御城米川出し并諸懸リ借用〕 (寛政元年)西十月十七日 又七郎他一名下郷次郎八殿	一通 六
覺〔御城米川出し駄賃并日用代借用〕 寛政元年十一月十六日 組頭又七郎他一名下郷次郎八殿	一通 六
覺〔御城米川出し駄賃并日用代〕 寛政四年十二月 次郎七他二名下郷次郎八殿	一通 二四
御城米附出太賃錢取替覺(後欠) (年代未詳)	一通 二五三
村方下用割	
覺〔村方下用割〕 安政四年閏五月廿九日 清吉右庄屋御衆中様	一通 二〇五

覺〔村方下用金請取〕

安政四年閏五月廿九日 前組源七右鳴海御庄屋衆様	一通 二〇三
覺〔郷藏屋根修復入用〕 (年代未詳)閏十月 懸り次郎七	一丁 二七五
午冬改入用 (天明年間カ) 本地村吉郎左衛門・庄屋源次郎	横敷 五丁 二六七
〔新郷藏入用断簡〕 (年代未詳)	一通 二五八
〔郷藏勘定書付〕 (年代未詳) 付、包紙	一通 二五三
覺〔御役所被下置候郷藏御手当金〕 (年代未詳)	二通 二五二
覺〔御用ちやうちん代〕 (年代未詳)	一通 二〇八
地方諸用留入封筒) 安政六年十二月 下郷弥兵衛	一通 二七三
村入用之書付不見之分 (年代未詳) 東五郎・金兵衛	一通 二四四

村借

借用申金子之事〔村借〕 寛政七年十二月 下郷庄左衛門他一名下郷勘左衛門殿	一通 七
覺〔古拝借返上金当辰暮分請取〕 (寛政八年)辰十二月 鳴海村下郷陣屋	一丁 二七六
借用申金子之事〔御地頭中西筑前守様御屋敷無抛御入用ニ付借用〕 嘉永七年六月 中西筑前守様御百姓春日井郡幸心村庄屋借主林之右衛門他三名前之庵清吉殿御取次 付、包紙	一通 二〇五
添証文之事〔去冬御払米六石石拝借、今般江戸表大火ニ而酒仲買徳意之者類焼仕〕 (年代未詳)	一通 二五七
借用金証文之事 安政四年七月 庄屋下郷保之助他四名前(之庵)清吉殿	一丁 二〇六

預り申金子之事 安政四年十二月 下郷弥兵衛御本家御口様借用金証文之事 安政四年十二月 庄屋下郷保之助他四名前(之庵)清吉殿	一丁 二〇五 一丁 二〇六
---	------------------

井領米 (南野村福井八左衛門他宛の文書)

覺〔井領米請取〕 寛延三年十二月 笠寺村庄屋治右衛門福井八左衛門殿	一通 二二三
覺〔井領米受納〕 寛延三年十二月 古鳴海村庄屋善八郎南野村福井八左衛門殿	一通 二二三
覺〔井領米受取〕 寛延三年十二月 鳴海村庄屋下郷金石衛門福井八左衛門殿	一通 二二三
覺〔井領米請取〕 宝曆元年十二月 鳴海村庄屋下郷金石衛門南野村福井八左衛門殿	一通 二六八
覺〔井領米請取〕 宝曆三年十二月 古鳴海村庄屋善八郎福井八左衛門殿	一通 二六七
覺〔井領米請取〕 宝曆三年十二月 鳴海村庄屋下郷金石衛門南野村福井八左衛門殿	一通 二六九
覺〔井領米受取〕 宝曆三年十二月 笠寺村庄屋新右衛門南野村福井八左衛門殿	一通 二九〇
覺〔井領米受取〕 宝曆四年十二月 笠寺村庄屋新右衛門南野村福井八左衛門殿	一通 二九一
覺〔井領米請取〕 宝曆四年十二月 古鳴海村庄屋善八郎南野村福井八左衛門殿	一通 二九二
覺〔井領米請取〕 宝曆四年十二月 鳴海村庄屋下郷金石衛門南野村福井八左衛門殿	一通 二九四

村八左衛門新田庄屋角左衛門殿

〔所々并領米請取入袋及び斷簡〕	明和八年十二月	一袋	
覚〔当未年新并領納米請取〕	安永四年閏十二月	笠寺村庄屋新 右衛門 △南野村御庄屋衆中	一通
覚〔并領米請取〕	安永六年十二月廿五日	鳴海庄屋下郷金石衛門	一通
八左衛門新田庄屋角左衛門殿			二九六
覚〔并領米受取〕	安永六年十二月	笠寺村庄屋新右衛門 △八左衛門新田庄屋角左衛門殿	一通
二九七			
覚〔并領米請取〕	安永六年十二月	古鳴海村庄屋弥吉 △南野村庄屋仲七殿	一通
三〇一			
覚〔并領米受取〕	安永七年十一月	鳴海村庄屋下郷金石衛門 △八左衛門新田庄屋角左衛門殿	一通
三〇二			
覚〔并領米請取〕	安永七年十二月	笠寺村庄屋新右衛門 △八左衛門新田庄屋角左衛門殿	一通
三〇三			
覚〔并領米請取〕	安永七年十二月	笠寺村庄屋新右衛門 △南野村庄屋仲七殿	一通
三〇四			
覚〔并領米請取〕	安永七年十二月	笠寺村庄屋新右衛門 △八左衛門庄屋覺左衛門殿	一通
三〇五			
覚〔并領米請取〕	安永七年十二月	笠寺村庄屋新右衛門 △八左衛門庄屋覺左衛門殿	一通
三〇六			
覚〔并領米請取〕	(年代未詳)申閏十二月	本地村庄屋助右衛門 △八左衛門新田庄屋覺左衛門殿	一通
三〇七			
覚〔并領米請取〕	(年代未詳)卯十二月廿六日	大高村庄屋二郎右衛門 △南野村庄屋三郎左衛門殿	一通
三〇八			
覚〔并領米請取〕	(年代未詳)酉十二月廿四日	大高村庄屋四郎右衛門 △南野村庄屋喜三郎殿	一通
三〇九			

土地

↓「村政」御用留（一〇頁以下）及び「千代倉本家」「地主
 経営」（一〇八頁以下）をも見よ
 耕 地
 安政三辰四月被差出候田畑等引渡帳 元治元年六月（鳴 壱帳 一冊 一六七）
 海村庄屋所
 〔新田分〕 明治五年九月 子組名寄伊東庄兵衛
 七丁 二七六

山林

御林方御見取定納山反数帳	安永三年十一月	鳴海村庄屋	要帳 一冊	一六六
下郷金石衛門他一名				
御林方御見取反数人別帳	天明四年十一月	裏方	要帳 一冊	一六三
元定納山御□下願	明治十六年七月	石御下渡願人中野勘左衛門他一名	要帳 一冊	一六四

戸口

↓「村政」御用留(一〇頁以下)および「千代倉本家」
「奉公人」(一九頁)をも見よ

人数書上帳・百姓家数牛馬書上帳・奉公人改帳

愛知郡鳴海村人数書上帳・百姓家数牛馬書上帳・御軍用御備御札ニ付人馬数書上帳・奉公人改帳(下調帳) 天保五年二月 竊帳一冊 一六八

(人数書上攤形) (天保五年) 午二月

愛知郡鳴海村人数書上帳・百姓家数牛馬書上帳・御軍用御備御札ニ付人馬数書上帳・奉公人改帳(下調帳) 天保十一年三月 竊帳一冊 一七九

百姓家数馬数書上帳 安政五年二月 鳴海村下郷保之介

他七名 鳴海御陣屋 竊帳一冊 一六八

御軍用御備御札ニ付人馬数書上帳 安政五年二月 鳴

海村庄屋下郷保之介他七名 鳴海御陣屋 竊帳一冊 一六九

愛知郡鳴海村人数改帳 安政五年二月 鳴海村庄屋下郷

保之介他七名 鳴海御陣屋 竊帳一冊 一七四

愛知郡鳴海村人数書上帳・百姓家数牛馬書上帳・御軍用御備御札ニ付人馬数書上帳・奉公人改帳(下調帳)

安政五年二月 竊帳一冊 一六九

奉公人改帳 安政五年二月 扣名前同所 鳴海村庄屋下郷

保之介他七名 鳴海御陣屋 竊帳一冊 一六八

宗門改帳

慶応貳寅年宗門根帳(下郷弥兵衛家分) (慶応二年)

愛知郡鳴海村院指番人穢多宗門御請合一札 明治二年三月 竊帳一冊 一三四

月 当村浄土宗誓願寺他一ヶ寺 庄屋衆中

宗門御改帳文言等扣見合留 (明治二年) 己四月 下郷 竊帳一冊 一六四

弥兵衛扣 年番組頭村井太平二

(院指・番人・非人・穢多名前書上) (明治初年) 一丁 一四七

奉公人・被官百姓宗門帳

宗門帳(下郷家奉公人) 文化三年三月 誓願寺他二十ヶ寺 竊帳一冊 一六五

下郷勘左衛門殿

宗門帳(下郷家奉公人) 文化九年三月 誓願寺他十ヶ寺 竊帳一冊 一八六

下郷次郎八殿

宗門帳(下郷家奉公人) 文化十一年三月 誓願寺他八ヶ寺 竊帳一冊 一八六

下郷次郎八殿

宗門帳(下郷家奉公人) 文化十五年三月 誓願寺他七ヶ寺 竊帳一冊 一八六

下郷次郎八殿

宗門帳(下郷家奉公人) 文政二年三月 誓願寺他十一ヶ寺 竊帳一冊 一八六

下郷次郎八殿

被官百姓宗門帳(当所新田百姓) 文化九年三月 誓願寺 竊帳一冊 一八七

他十ヶ寺 下郷次郎八殿

質屋人別書上

質屋人別書上一件 明治元年十二月 鳴海庄屋所 竊帳一冊 一六二

寺手形他

御断中上候御事(鳴海村無高百姓太郎左衛門後家之世倅權四郎、去冬当地を罷出) 延宝六年二月 太郎左衛門後家五人 一通 一六二

与喜兵衛他五名 村瀬平左衛門様

請合申手形之事(南野村八左衛門世倅弥三郎、鳴海宿本町平八郎家借家) 天和二年正月 本町五人与庄六他四名 金右衛門殿 一通 一六三

差出シ申寺手形之事(愛知郡南野村八郎右衛門世倅弥三郎、鳴海本町平八郎家借屋) 天和二年正月 愛知郡南野村高田宗

淨徳寺 八郎右衛門殿五人 一通 一六四

差出シ申一札之事(熱田宿田中町彦八郎世倅長左右衛門、鳴海相原町善四郎方江入聲ニ付) 天和二年二月廿六日 五人

与平吉他三名 金右衛門殿他一名 一通 一六五

差出シ申一札之事(熱田宿田中町彦八郎男子長左衛門、村送り状) 天和二年二月廿六日 田中町庄屋孫右衛門他四名 鳴

海庄屋九右衛門殿他一名 一通 一六六

差出シ申寺手形之事(熱田宿田中町彦八郎男子長左衛門、寺送り状) 天和二年二月廿六日 法花宗名古屋駿河町法輪寺

鳴海あいばら町平七殿 一通 一六七

一札(參河国碧海郡高浜村石原茂兵衛娘すへ縁付) 正徳三年十二月 三州碧海郡高浜村親石原茂兵衛他四名 尾州名古屋船人

町村瀬長左衛門殿 一通 一六八

(當時無音信無宿之由、元名古屋駿河町綿屋市兵衛倅源次郎断簡) (年代未詳)

一通 一六九

宗門自分一札

自分一札之面々并組々差出候人別調繋 安政五年二月十三日 鳴海村庄屋 竊帳一冊 一六五

被官百姓宗門帳(当所新田百姓) 文化十五年三月 誓願寺

他十一ヶ寺 下郷次郎八殿 竊帳一冊 一六六

被官百姓宗門帳(中新田・細根屋敷百姓) 文政二年三月 瑞泉寺他三ヶ寺 下郷次郎八殿 竊帳一冊 一六七

被官百姓宗門帳(赤松新田・徳重新田・當利金新田・ハツ松新田・明願屋敷・細根屋敷・朝日出新田百姓、山花町・相原町川端) 文政二年三月 誓願寺他十一ヶ寺 下郷次郎八殿 竊帳一冊 一六八

他所様之者人別書上帳 天保九年二月 鳴海村庄屋下郷 竊帳一冊 一六九

弥兵衛他一名 鳴海御陣屋 竊帳一冊 一七〇

覺(他所様無音信之者届) 文久三年二月 三組龜造 庄屋衆様 一丁 二〇三

(安吉懸り人富三郎、城州伏見辺ニ相様) 文久三年二月 一丁 二〇五

組九郎兵衛(宛名未詳) 文久三年二月 竊帳一冊 一七〇

他所様人別音信有無書上帳(控) 文久三年二月 鳴海 竊帳一冊 一七一

村庄屋下郷弥兵衛 鳴海御陣屋 竊帳一冊 一七二

他所様人別書上 文久四年正月 本組他 竊帳一冊 一七三

他所様 文久四年正月 丹組 庄屋衆様 竊帳一冊 一七四

他所様人別音信有無書上帳(控) 文久四年二月 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛 鳴海御陣屋 竊帳一冊 一七五

鳴海村庄屋文書

村政

御川留

寛政以前

寛政年以前古願連御用留(表紙) (寛政年間) 下郷光雄

寛文七年末三月從公義被仰出(道心者等所々百姓与五人組合に付き) (寛文七年)末三月十八日

寛文八申年五月相触(吉利支丹宗門儀につき) (寛文八年)申五月八日

元禄十丑年從御国出候御触書写(尾州濃州宿々ニ而旅人病人有之ニ付取扱覚書) 元禄十年三月廿八日 鳴海御代官加藤市郎兵衛様御触有之 笠寺村江致願達致候

享保十八丑年從道中御奉行出候御触書之写(宿々ニ而旅人病人又ハ倒死者有之節相届候儀) 享保十八年五月 筑後・飛騨

明和四亥從公義出候御触写(宿を取候旅人煩候ハ、相届候儀) 明和四年十二月

定(徒党・強訴・逃散禁止) 明和七年四月(幕府奉行ノ尾州徳川家 成瀬隼人正・竹腰山城守 (正徳元年五月日ノ定ヲ含ム)

文化

寛(出水之節諸色御改) 文化十五年三月 鳴海庄屋梶野佐郎九

御普請方御役所

文政

文政二年卯十二月御見取戌新田免割目録写 文政二年十二月 (朱筆)五十七

一札(松平越前守様御領分越州福井在前屋村百姓重郎右衛門梓新五郎、宿村送り) (文政三年カ) 江川太郎左衛門御代官所幾州庵原郡由井宿名主代与頭元八郎ノ国々御關所御役人衆中様

乍恐奉願上候御事(私家之儀享保年下郷次郎太ノ分家、此節金廿五兩献上仕度) (文政五年)年正月 鳴海村下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋 (朱筆)一

(御触書到来ニ付廻状) (文政五年カ)二月十一日 下郷弥兵衛他一名ノ坂野儀八郎様他五名

本紙写(献金ノ者名前) (文政五年カ)二月十一日 鳴海陣屋ノ鳴海村庄屋 (朱筆)一

乍恐奉願上候御事(当宿裏扇川通南堤ニ百姓家再〇取建住居仕度) 文政五年十一月 鳴海村庄屋松崎嘉十郎他五名ノ鳴海御役所

(安永八亥年大洪水之留書写) (文政五年)年十一月 鳴海村

乍恐御達申上候御事(当村盜賊村預ニ付、番取締付置) (文政十年)亥正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ノ鳴海御役所 (朱筆)一

寛(盜諸色預り置) (文政十年)亥正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名ノ鳴海御役所

乍恐御達申上候御事(盜難届) (文政十年)亥正月 鳴海村相原

町善太郎ノ鳴海御役所 庄屋・与頭奥印 (朱筆)一

乍恐(盜難届) (文政十年)亥正月 鳴海村茂右衛門ノ藤波三位様 (朱筆)四

寛(盜賊持出し候諸色、請取) (文政十年)二月廿六日 鳴海村茂右衛門ノ鳴海御役所 (朱筆)五

乍恐奉願上候御事(縁付候娘家内、懸リ人ニ仕度) (文政十年)亥正月 鳴海村下郷弥兵衛ノ鳴海御役所 (朱筆)八

乍恐奉願上候御事(同郡石佛村惣吉仲辰之助養子眞請申度) (文政十年)亥正月 鳴海村常次郎ノ鳴海御役所 (朱筆)七

乍恐御達申上候御事(当村市藏、讃岐国金毘羅山江参詣仕度、往来一札願) (文政十年)亥二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御役所 (朱筆)八

寛(鶏三羽受取) (文政十年)亥二月十七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ宛名未詳 (朱筆)九

乍恐御尋ニ付御達申上候御事(名古屋表油商人ノ油買請小買仕候者名前) (文政十年)亥二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御役所 (朱筆)十、十一

御尋ニ付以書付御達申上候御事(医師武陵氏由緒書) (文政十年)亥二月 鳴海本道外科金瘡医師武陵正健ノ鳴海御役所 右村庄屋下郷弥兵衛奥印 (朱筆)十二

乍恐御達申上候御事(流木無御座候) (文政十年)亥二月廿八日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御役所 (朱筆)十三

乍恐御達申上候御事(流木無御座候) (文政十年)亥二月廿八日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御役所

乍恐御達申上候御事(柴田新田外江流木有之旨) (文政十年)亥二月晦日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御役所 (朱筆)十四

鳴海村庄屋文書

乍恐御達申上候御事(繼立人足貨錢) (文政十年)亥三月 鳴
海村庄屋下郷弥兵衛他一名。鳴海御役所 一丁 一七
差出申一札之事(凡三拾人程も寄合博奕いたし) 文政十年三
月六日 作町取暖人増七他二名。和吉殿 (朱書)廿一 一丁 一六
差出申一札之事(凡三拾人程も寄合博奕いたし) 文政十年三
月六日 作町取暖人増七他二名。和吉殿 一丁 一六
乍恐奉願上候御事(私儀病身ニ付、寄合医師小林亮察殿屋
敷江引越申度) (文政十年)亥四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他
海御役所 (朱書)廿二 一丁 一五
乍恐奉願上候御事(私儀病身ニ付、寄合医師小林亮察殿屋
敷江引越申度) (文政十年)亥四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他
海御役所 (朱書)廿二 一丁 一五
乍恐御達申上候御事(信州中稲郡嶋田村菊蔵親子三人連ニ
而當宿泊候處、忤病氣差発り) (文政十年)亥五月十四日 信州
嶋田庄屋下郷弥兵衛他一名。鳴海御役所 (朱書)廿四 一丁 一四
差出申一札之事(忤病氣全快) (文政十年)亥五月十四日 信州
中稲郡嶋田村百姓菊蔵の尾州棟御領鳴海宿御役人衆中様
乍恐奉願上候御事(私弟小八郎、鉄砲塚町ニ別家) (文政十
年)亥五月 鳴海村中嶋町十四郎。鳴海御役所 (朱書)廿五 一通 一五
乍恐奉願上候御事(下男不奉公仕候ニ付、願上、熟談事) (文政十
年)亥五月 鳴海村長左衛門。鳴海御役所 (朱書)廿六 一丁 一六
乍恐御達申上候御事(知多郡小野浦村浜手江流寄候船ニ付、
存当り候者無御座候) (文政十年)亥六月 鳴海村庄屋下郷弥
兵衛。鳴海御役所 (朱書)廿七 一丁 一七

乍恐奉願上候御事(天白川砂渡普請) (文政十年)亥六月 鳴
海村庄屋下郷弥兵衛他四ヶ村庄屋。鳴海御役所 (朱書)廿八 一丁 一八
乍恐奉願上候御事(天白川砂渡普請) (文政十年)亥六月 鳴
海村庄屋下郷弥兵衛他三ヶ村庄屋。鳴海御役所 一丁 一七
覚(木綿わた人等預り) (文政十年)六月十七日 鳴海村庄屋下
郷弥兵衛。丹羽松吉様他一名 (朱書)廿九 一丁 一六
乍恐奉願上候御事(瓦焼細工小家取建申度) (文政十年)亥六
月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他四郎。鳴海御役所 右村庄屋下郷弥兵衛他
一名奥印 一丁 一五
乍恐御達申上候御事(岩倉之者諸色差置、行衛相知不申候)
(文政十年)亥六月晦日 鳴海宿ちとせや文左衛門。鳴海御役所
右庄屋下郷弥兵衛他一名奥印 (朱書)三十一 一丁 一四
乍恐御達申上候御事(加木屋村盜賊止宿為致候ニ付、横須
賀陣屋へ呼出) (文政十年)亥六月 右村庄屋下郷弥兵衛他一
名。鳴海御役所 (朱書)三十二 一丁 一三
乍恐御達申上候御事(材木流寄無御座候) (文政十年)亥六月
鳴海村庄屋下郷弥兵衛。鳴海御役所 (朱書)三十三 一丁 一二
乍恐御達申上候御事(當所庄八儀、令盜候段不届ニ付、四
拾段之上生所鳴海村差塞名古屋払) (文政十年)亥九月廿四
日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名。鳴海御役所 (朱書)三十九 一丁 一七
乍恐奉願上候御事(知多郡大高村枝郷中之郷喜兵衛姪いき
養子ニ貫請申度) (文政十年)亥八月 鳴海村枝郷前之庵清吉
。鳴海御役所 (朱書)四十 一丁 一六
乍恐御達申上候御事(御用狀繼立) (文政十年)亥九月廿日 鳴
海(村)庄屋下郷弥兵衛。鳴海御役所 (朱書)四十一 一丁 一五
乍恐御達申上候御事(知多郡古見村浜江渡海船流寄候ニ付、
一丁 一四

村中吟味仕候) (文政十年)亥九月廿日 下郷弥兵衛。鳴海御
役所 (朱書)四十二 一丁 一三

乍恐御達申上候御事(當村長兵衛儀、御私之者弟伊助差置
候段、不埒ニ付過意申度) (文政十年)亥九月十九日 鳴海
村枝郷前之庵与頭源七。 一丁 一三

乍恐御達申上候御事(當村枝郷前之庵長兵衛儀、無宿弟伊
助かくまい置候段、不埒ニ付過意申度) (文政十年)亥九月
廿日 下郷弥兵衛他一名。鳴海御役所 一丁 一三

文政十一年正月十四日 林斧十郎
乍恐奉願上候御事(質品返金引替ニ相戻候様) (文政十年)亥
十一月 鳴海医師山栗亭同居人親九八郎。鳴海御役所 (朱書)
四十九 五丁 一五

乍恐御達申上候御事(伊勢太神御嶽山祭り) (文政十年)亥十
一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名。鳴海御役所 (朱書)五十 一丁 一四

差出申一札之事(當所源四郎後家倅茂右衛門儀病死致候ニ
付、引導願) 文政十年十一月 鳴海村親源四郎後家つき他親
類・五人組。南野村光照寺御役所 (朱書)五十一 一丁 一三

乍恐御達申上候御事(當村源四郎儀、名和村外藏差置候一
件) (文政十年)亥十一月廿一日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名
。鳴海御役所 (朱書)五十二 一丁 一三

乍恐御達申上候御事(當村源四郎儀、帳外者外藏差置候一
件) (文政十年)亥十二月 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛他一名。鳴
海御役所 一丁 一三

乍恐御達申上候御事(讃岐国金毘羅山へ參詣ノ百姓、當宿
ニ而病氣ニ付、宿村送り) (文政十年)亥十一月廿四日 鳴海
村庄屋下郷弥兵衛。鳴海御役所 (朱書)五十三 一丁 一三

鳴海村庄屋文書

(廿一武藏男一人宿致、包預ケ置、風呂屋を罷帰不申)
(年代未詳) 一通 一七

乍恐奉願上候御事(私儀、病身老年ニ付、當宿兒玉代助并
倅源右衛門差入組一件等取暖之儀御免願) (文政十年)亥
十月 鳴海村下郷弥兵衛。鳴海御役所 (朱書)五十八 一丁 一六

乍恐奉願上候御事(養子縁組之儀御出濟願) (文政十年)亥十
二月 鳴海村兒玉代助。鳴海御役所 (朱書)五十九 一丁 一五

乍恐以書付御答申上候御事(南柴田新田外新開之義ニ付)
(文政十年)亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他五名。鳴海御役所
差出申候一札之事(其御村方持分山之内入込背伐仕候ニ
付一札) 文政十年十二月 平手新田庄屋平左衛門他一名。鳴
海村庄屋下郷弥兵衛他二名 一通 一四

〔御用留〕 文政十一年正月・二月、丑六月・十二月 鳴海
村庄屋下郷弥兵衛 (朱書)「壹」百十八 (二〇九) 五丁 一五

他所稼之者人別書上帳 文政十一年二月 鳴海村庄屋下郷弥兵
衛他一名。鳴海御役所 (朱書)十六 一丁 一四

乍恐御達申上候御事(扇川砂渡願) (文政十一年)子二月 鳴
海村庄屋下郷弥兵衛他二名。鳴海御役所 (朱書)三十一 一丁 一三

乍恐奉願上候御事(扇川砂渡願) (文政十一年)子三月 下郷弥兵
衛他二名。鳴海御役所 (朱書)三十二 一丁 一三

乍恐奉願上候御事(御前酒御用願) (文政十一年)子三月 鳴海
村下郷弥兵衛。御小納戸御役所 (朱書)三十三 四丁 一四

乍恐奉願上候御事(麦成米納振替願) (文政十一年)子四月
下郷弥兵衛他九名。鳴海御役所 (朱書)三十四 一丁 一三
覚(番貨錢・文度代等) (文政十一年)子四月 鳴海村庄屋下郷
一丁 一三

11.11.2017

乍恐御達申上候御事（盜難厩）（文政十一年）子七月 鳴海村村
郷前之庵善藏（朱筆）五十

乍恐御達申上候御事〔盜難屋〕 〔文政十一年〕子七月 鳴海村杉
郷前之庵長左衛門の鳴海御役所 〔朱筆〕「五十一」

鳴海村枝郷前之庵長左衛門^三鳴海御役所
乍恐御達申上候御事^三被盜取候品々^三弘直路^三見^三積書^三
十一年^三子八月^三

乍恐御達申上候御事(被盜取候品々売払直見積書)(安政
十一年)子八月 鳴海村枝郷前之庵長左衛門_六鳴海御役所

覺(盜難屆) 文政十一年八月五日 瑞泉寺^六 宿衛役人衆中^七 須^三
 第「五十二、五十三」

乍恐御達申上候御事(天白川堤ニ小家懸ケいたし罷在候之食共為立退申候)(文政十一年)子九月朔日 鳴海村庄屋下郷

弼兵衛ハナハチ御普請ハナハチ大御所ハナハチ 二丁 三六
乍恐御達申上候御事ハナハチ〔当村氏神東宮社境内二おひて神の祭

相勤申度（文政十一年）子九月
明津村屋上（筑前長門）御役所（永華）「五十九」

申候）（文政十一年）子九月十四日 鳴海村下郷弥兵衛子鳴海御

御触写(日光御門主御通行候間、火之元掃除等入念候様)
二丁
(文政十一年)子十月十三日 庄屋、東西前之庵小鳴海組頭衆中

御馳写〔寺社・勘定奉行衆被相渡候書付〕（文政十一年）子十
三丁 二五

月廿七日 庄屋寺社御衆中・東西前小与頭衆中
(是主正還方等出是故亭上之義) (文政十一年)十月 御普請方

全明近世能合品屋與作上之件

1000

乍恐御達申上候御事 飴并錢被盜取、此節飴箱見當り）（文
政十二年）子十一月廿九日 鳴海村枝郷前之庵壽藏○鳴海御役所

奉願上候御事〔拙僧儀 愛知郡等寺村茲雲院江移轉仕度〕
 文政十二年十一月 愛知郡鳴海村真言宗東福院 鳴海御役所
 四丁 三

乍恐奉願上候御事〔笠寺一山東光院弟子大光儀東福院後住
一丁 三

所 (朱筆「二」)

文政十二年正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名長久寺方丈

御取扱〕 文政十二年正月 奥州白川郡棚倉領流村庄屋長山鴨之助也一名名國々御關所御役人様中

乍恐奉願上候御事（私倅弥七引越申度）
（文政十二年カ）
 相 一丁 三七

乍恐奉願上候御事（養子願雛形） （文政十二年カ） （朱筆「七」）
一丁 三七

乍恐奉願上候御事〔當所瑞泉寺扣定納山之松木透伐枝下シ
丁 三

仕度（文政十二年）丑正月
吟海村庄屋下、御旁兵衛、石、從村方
御陣屋（朱筆）「九」

覺(当所瑞泉寺扣定納山之松木透伐枝下シ仕度)(文政十二
年)丑正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛(御林方御陣屋

乍恐奉願上候御事〔當村持分御山之内銘々自分指定綿山之
内ニ而松木透伐枝下シ仕度〕（文政十二年）正月 鳴海村

乍恐奉願上候御事(御林之内松枯木凡六十本伐採願) (文政 一丁 三)

一五

乍恐御達申上候御事(天満宮神事届) (文政十二年丑二月廿五日) 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御役所 (朱巻二廿六)

乍恐御達申上候御事(加州石河郡城守町村喜兵衛弟淨心、步行難相成難波之由) 文政十二年二月廿五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御役所

乍恐御達申上候御事(被仰渡候牛之儀ニ付御達申上候) 文政十二年二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御役所

乍恐御達申上候御事(御尋之解、流シ候もの無御座候) (文政十二年)丑二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御役所 (朱巻二廿九)

乍恐御達申上候御事(紀州様奥陸尺石倉甚古殿病死ニ付葬式願) (文政十二年)丑二月晦日 鳴海宿西尾伊右衛門他一名、鳴海御役所 (朱巻三十三)

乍恐御達申上候御事(他所稼之者三名、去夏已來無音信) (文政十二年)丑二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御役所

乍恐奉願上候御事(御前酒御用願) (文政十二年)丑二月 鳴海村庄下郷弥兵衛、御小納戸御役所

乍恐書付を以奉申上候御事(御用状式通大ニ濡候付、御免被成下置候様) (文政十二年)丑三月五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御役所

乍恐御達申上候御事(当所如意寺境内金毘羅大権現於神前、挑灯神楽捧申候) (文政十二年)丑三月九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御役所 (朱巻三十二)

乍恐書付を以御訴詔奉申上候(為替金利足滞出入并新田用水引差候御願) (文政十二年)丑三月 名古屋宮町中嶋屋勘助、鳴海御陣屋 (朱巻三十二)

一丁 二六
一丁 二六
三枚 二七
一丁 二八
一〇丁 二六

候)	(文政十二年)丑四月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛 ノ 鳴海御役所	一丁	三八
乍恐御達申上候御事(助藏儀、病氣全快、一昨四日晚焼村仕候)	(文政十二年)丑四月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛 ノ 鳴海御役所	一丁	三八
所				
乍恐奉願上候御事(買請米積下)	(文政十二年)丑四月	鳴海村	一丁	三〇
(米穀仲買)源四郎 ノ 鳴海御役所				
乍恐御達申上候御事(盜難届)	(文政十二年)丑四月十二日	鳴	一丁	三三
海村四郎兵衛 ノ 鳴海御役所	(永享三十九)			
乍恐御達奉申上候御事(盜難届)	(文政十二年)丑五月廿四日		一丁	三三
鳴海村善左衛門 ノ 鳴海御役所	(永享四十)			
乍恐奉頼上候御事(私弟友吉、熱田宿伝馬町長三郎方江糞子二遣し申度)	(文政十二年)丑五月	鳴海村根古町仙十郎 ノ 鳴海御役所	一丁	三四
	(永享四十一)			
乍恐奉願上候御事(熱田正覚寺門前江引越申度)	(文政十二年)丑五月	鳴海村枝郷前之庵武兵衛 ノ 鳴海御役所	二丁	三五
乍恐奉再願候御事(熱田正覚寺門前江引越申度)	(文政十二年)丑五月	鳴海村枝郷前之庵武兵衛 ノ 鳴海御役所	二丁	三六
送一札之事(鳴海村百姓弥三三八老母り急儀、其御村清右衛門方江懸り人二参度旨)	文政十二年五月	鳴海村組頭兼藏他四名 ノ 知多郡須佐村御役人衆中	一丁	三七
	(永享四十三)			
乍恐御達申上候御事(盜難届)	(文政十二年)丑五月七日	鳴海	三丁	三八
村松崎嘉十郎 ノ 鳴海御役所	(永享四十四)			
乍恐御達申上候御事(盜難届)	(文政十二年)丑五月七日	鳴海	一丁	三九
(村)松崎嘉十郎 ノ 鳴海御役所				
乍恐奉伺上候御事(奥州白川郡柳倉領流村百姓庄吉、宿村			一丁	四〇

送り) (文政十二年) 丑六月十六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛と鳴海御役所 (朱筆) 四十五	一丁	三三
送り状之事 奥州白川郡流村百姓常左衛門倅庄吉、村送り) 文政十二年六月十七日 尾州鳴海村庄屋下郷弥兵衛と有松村より奥州流村迄宿村御役人衆中	一丁	三四
送り状之事 奥州白川郡流村百姓常左衛門倅庄吉、村送り) 文政十二年六月十七日 尾州鳴海村庄屋下郷弥兵衛と有松村より奥州流村迄宿村御役人衆中	一丁	三四
午恐御達申上候御事 (大風ニ付倒木并枯木之分御見分之上伐取之儀) (文政十二年) 丑五月 鳴海村下郷弥兵衛と往還方御役所 (朱筆) 四十六	一丁	三三
午恐奉願上候御事 (高札覆柱根等朽腐ニ付、修覆願) (文政十二年) 丑五月 鳴海宿問屋近藤佐衛他三名と鳴海御役所 (朱筆) 四十七	一丁	三三
拾取賄出金) 文政十二年六月 鳴海村丸屋源四郎跡後見源右衛門と鳴海御役所	四丁	三三
午恐奉願上候御事 (佐兵衛居宅書入一件) (文政十二年) 丑七月 鳴海村佐兵衛と鳴海御役所 (朱筆) 六十二	六丁	一六三
預り申背松葉之事 文政十二年八月 愛知郡鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名と御林方御陣屋 (朱筆) 六十七	一丁	三五
預り申山賊雜物之事 文政十二年八月 愛知郡鳴海村下郷弥兵衛他二名と御林方御陣屋 (朱筆) 六十八	一丁	三六
指上申一札之事 (当村持分黒石不入御林之内ニ而枯木并倒木伐採) 文政十二年八月 愛知郡鳴海村山割民右衛門他三名と御林方御陣屋 (朱筆) 七十三	一丁	三六
覚 (高札場覆等書上) (文政十二年) 丑八月 鳴海宿	四丁	三七

海 (村) 枝郷前之庵長左衛門と鳴海御陣屋	一丁	三六
午恐御達申上候御事 (当村如意寺境内金毘羅權現神前おゐて、挑灯并神楽捧申度) (天保六年) 未三月九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛と鳴海御陣屋	一丁	三六
午恐奉願上候御事 (帳外私甥利右衛門、掃村仕候付面ハ、宗門改帳面江書載申度) (天保六年) 未三月 鳴海村善左衛門と鳴海御陣屋	一丁	三六
奉願上候御事 (私伴鍵太郎儀得度為仕度) 天保六年三月 愛知郡鳴海村東光院と鳴海御陣屋	二丁	三三
午恐御達申上候御事 (氏神東宮八幡両社江雨乞祈願仕候) (天保六年) 未三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛と鳴海御陣屋	一丁	三三
午恐御達申上候御事 (又々氏神江雨乞祈願) (天保六年) 未三月 鳴海 (村) 庄屋下郷弥兵衛と鳴海御陣屋	一丁	三四
覚 (御鷹匠衆御用ニ付木銭代請取) (天保六年) 未三月廿二日 鳴海宿下里弥兵衛と服部芳三郎様	一丁	三四
覚 (御鷹御用ニ付木銭代請取) (天保六年) 未三月廿二日 鳴海宿下里弥兵衛と小澤與三郎様他一名	一枚	三六
午恐御達申上候御事 (盜賊物買取候兩人、掃村被仰付事済) (天保六年) 未四月六日 鳴海宿庄屋安二郎と御勘定所	一丁	三七
御請書之事 (全宿御医師御用ニ付、生真蛇拾本名古屋表江差出候) (天保六年) 未五月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛と鳴海御陣屋	一丁	三八
(惣山・御林・定納山書上) (天保六年) 未閏七月 右 (鳴海) 村庄屋下郷弥兵衛他一名と鳴海御陣屋	三丁	一四八
午恐御達申上候御事 (八幡宮ニ而湯立神楽捧申度) (天保六年) 未八月廿五日 鳴海 (村) 庄屋下郷弥兵衛と鳴海御陣屋	一丁	三九

井挑灯棒申度	(天保七年)申三月九日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
覺(商人)古手類商売仕来申候	(天保七年)申三月	三組下郷弥兵衛	一丁	三三
乍恐奉願上候御事(古手商売相動申度)	(天保七年)申三月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(当村持分御林并定納山之内吟味)	(天保七年)申三月	鳴海村庄屋松崎嘉十郎他一名御林方御陣屋	一丁	三三
覺(背林預り、山賊之儀ハ追而吟味之上差出)	(天保七年)申四月	鳴海(村)庄屋郷弥兵衛加藤正平様他二名	一丁	三三
差出シ申候御事(当村之者背伐仕候ニ付、此以後一切背林為致申間敷候)	(天保七年)申四月	相原村庄屋富藏他一名	一丁	三三
鳴海御庄屋中様			一丁	三三
乍恐御達奉申上候御事(商人盜賊之品買求候段達御聽、御吟味之上遠方留)	(天保七年)五月廿六日	鳴海村庄屋代号頭太右衛門	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(当村諏訪社祭祀ニ付、神樂湯立棒申度)	(天保七年)申七月廿六日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
覺(無宿盜賊番賣金錢等請取、番人和吉江相渡)	(天保七年)申七月	鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
(当申年八拾九歳已上之者有無当陣屋江可申出候)	(天保七年)八月七日	鳴海陣屋	一丁	三三
(米穀等買取候質屋、石数等相改、陣屋江可申出候)	(天保七年)八月九日	三喜右衛門	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(氏神八幡宮江挑灯棒申度)	(天保七年)		一丁	三三
申八月十四日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	鳴海御陣屋	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(当村神明宮祭祀之儀神樂湯立棒申度)	(天保七年)申八月廿六日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(八拾九歳以上之者改、はつ当申年九拾歳)	(天保七年)申八月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
(去秋以来米麦を初出津被差留候処、隠積等いたし候者も有之哉ニ付触)	(天保七年)九月朔日	三喜右衛門	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(八幡宮江挑灯棒差遣、神樂棒申度)	(天保七年)申九月三日	鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
(福君様御下向ニ付触)	(天保七年)九月五日	庄屋	一丁	三三
(酒造元入差留方之儀ニ付達)	(天保七年)九月廿一日	三喜右衛門	一丁	三三
(出穀背之者見訂訴出候者之儀ニ付触)	(天保七年)九月廿一日	三喜右衛門	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(御普請場所之内打切申候場所)	(天保七年)申九月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
乍恐奉願上候御事(大雨ニ而打切申候場所普請願)	(天保七年)申九月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(当村持分御林并定納山之内、山抜倒木等無御座候)	(天保七年)申九月	鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(当年麦作至而之違作ニ付飯料之外余分持合之者無御座候)	(天保七年)申九月	鳴海(村)庄屋松崎嘉十郎他一名	一丁	三三

乍恐奉願上候御事(私共組合甚兵衛儀帳外願)	(天保七年)申九月	鳴海村枝郷前之庵甚兵衛組合物代源三郎他一名	一丁	三三
(穀物出方御差留背之者之儀ニ付触)	(天保七年)十月十二日	三喜右衛門	一丁	三三
(高佃之ちく蘭類一切売買致間敷候)	(天保七年)十月十二日	三喜右衛門	一丁	三三
(米価高料之内穀物類出商ひ之儀不相成候)	(天保七年)十月十二日	三喜右衛門	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(如意寺境内金毘羅權現神前におゐて、神樂并挑灯棒申度)	(天保七年)申十月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
乍恐差上申御請書之事(江戸表江積下シ酒荷之儀)	(天保七年)申十月	鳴海村下郷次郎八他五名	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(盗品買取候古手屋商売之者無御座候)	(天保七年)申十月	鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
乍恐奉願上御事(大豆五拾石、熱田平野屋新兵衛方江売渡、来月朔日大高村新七船江積入差遣申度)	(天保七年)申十月	鳴海村忠七	一丁	三三
乍恐奉願上候御事(大豆三拾石、名古屋萬屋卯兵衛方江売渡、来ル十三日大高村新七船江積入差遣申度)	(天保七年)申十一月	鳴海村安藏	一丁	三三
(下リ酒間屋共此度諸国酒造蔵石之儀ニ付触)	(天保七年)申十一月	町役人	一丁	三三
(諸国酒造蔵石御趣意)	(天保七年)霜月十八日	酒間屋中	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(盗難届)	(天保七年)申十二月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
(此節米価各別高直ニ而盜賊も有之ニ付触)	(天保七年)十二月廿三日	三喜右衛門	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(今般宅軒私借受、渠風呂立候而病人ニ為入申度)	(天保七年)申十二月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
弥助見分書付(去月上旬於袋井宿病死)	(天保七年)十二月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(印形紛失ニ付改)	(天保八年)正月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(当村野村屋惣七儀、旅人盗物預り、吟味中病死)	(天保八年)二月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(盗難届)	(天保八年)二月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(盗難届)	(天保八年)三月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(盗難届)	(天保八年)三月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
御救米代金割渡組々々高寛	(天保八年)三月朔日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
(救荒雜食果等)	(天保八年)三月十一日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
御達申上候御事(当村修験東順儀出奔)	(天保八年)三月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三
乍恐御達申上候御事(当村如意寺境内金毘羅權現神前におゐて神樂并挑灯棒申度)	(天保八年)三月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	三三

乍恐御達申上候御事(私親類濃州厚見郡加納村助藏、私引請當村江惜宅) (天保八年九月三日 鳴海村八百助、鳴海御陣屋)	一丁	四四
乍恐御達申上候御事(當村之内、被盜取候者無之) (天保八年九月三日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋)	一丁	四五
乍恐御達申上候御事(御救米被下置冥加至極) (天保八年九月三日 鳴海村庄屋松崎嘉十郎他六名、鳴海御陣屋)	二丁	一六〇
乍恐奉願上候御事(私二男庄九郎、熱田新々田江為引越百姓為仕度) (天保八年九月三日 鳴海村庄八、鳴海御陣屋)	二丁	一七三
乍恐御達申上候御事(米穀所持之者御改) (天保八年九月三日 庄屋松崎嘉十郎他二名、鳴海御陣屋)	三丁	一七七
乍恐御達申上候御事(當宿御用懸医師永坂大進儀死去) (天保八年九月四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋)	一丁	四六
乍恐御達申上候御事(御尋之木綿入等被盜取候者無之) (天保八年九月四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋)	一丁	四七
乍恐奉願上候御事(古手商売渡世取締役之儀、私江被仰付被下置候様) (天保八年九月五日 鳴海村知八、鳴海御陣屋)	二丁	一七四
乍恐奉御達申上候御事(大脇村源九郎、米壹石四升三河泉田村安左衛門方へ売払) (天保八年九月七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋)	一丁	四八
乍恐御達申上候御事(下郷弥兵衛他三名、御勘定所江呼出シ) (天保八年八月廿二日 右(鳴海)村庄屋松崎嘉十郎、鳴海御陣屋)	二丁	一七五
延享三丙寅年日記(巡見衆通行) (天保八年九月廿九日 弥兵衛、保之介様)	一丁	四九
(中納言様從二位大納言昇進) (天保八年九月四日)	一丁	四三

乍恐御達申上候御事(大風雨ニ而人家凡三百軒程倒家相成) (天保八年九月八日 鳴海村庄屋松崎嘉十郎他一名、鳴海御陣屋)	一丁	四〇〇
乍恐御達申上候御事(去ル十四日大風雨之節、倒家) (天保八年九月八日 右(鳴海)村庄屋松崎嘉十郎他一名、鳴海御陣屋)	一丁	一六六
乍恐奉願上候御事(去ル十四日大風雨ニ而倒木ニ相成申候付、奉願上候御事) (去ル十四日大風雨ニ而倒木ニ相成申候付、伐採申度) (天保八年九月八日 愛知郡鳴海村如意等、鳴海御陣屋)	一丁	一六九
乍恐奉願上候御事(去ル十四日大風雨之節、當村扣社境内ニ而倒木相成申候ニ付、伐採申度) (天保八年九月八日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋)	二丁	一七〇
乍恐奉願上候御事(去ル十四日大風雨之節、諏訪社境内ニ而倒木相成候ニ付伐採申度) (天保八年九月八日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋)	二丁	一七〇
乍恐奉願上候御事(當宿問屋場破損所修復願) (天保八年九月八日 鳴海宿問屋近藤佐兵衛他三名、鳴海御陣屋)	四丁	一七九
乍恐奉願上候御事(公義御大札御用ニ付、今十九日御勅使様當宿御泊) (天保八年九月八日 鳴海宿問屋近藤佐兵衛他三名、鳴海御陣屋)	二丁	一七三
乍恐御達申上候御事(鳴海村端はつ當西九拾老茂) (天保八年九月八日 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋)	一丁	一七五
覺(葉蘭老株、中村字市様へ獻上候) (天保八年九月十二日 鳴海村下郷弥兵衛、鳴海御陣屋)	一丁	四三
御用写(宿々おゐて証文人足支度等手当) (天保八年九月十日)	二丁	四三

五日 御徒目付前嶋専八郎、熱田・鳴海間屋・庄屋・年寄・組頭立(御陶器老可被下置与之御事候) (天保八年九月 林源蔵、下郷弥兵衛方)	一丁	四四
御請書之御事(御陶器老拜願) (天保八年九月 鳴海村下郷弥兵衛、林源蔵様)	一丁	四三
(天保八年九月十六日夕、御陶器請書并金百疋中村字市殿江差出申候) (天保八年九月十六日)	一丁	四六
乍恐御達申上候御事(當村扣小嶋海兩社之破損箇所) (天保八年九月九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋)	一丁	四七
乍恐奉願上候御事(定納山之御木伐取申度) (天保八年九月九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、御林方御陣屋)	二丁	四八
乍恐奉願上候御事(別紙之通、御林方御陣屋江御願申上度) (天保八年九月九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋)	一丁	四九
乍恐奉願上候御事(古手類商売相始申度) (天保八年九月九日 鳴海村市右衛門、鳴海御陣屋)	二丁	四〇
乍恐奉願上候御事(古手類商売相始申度) (天保八年九月九日 鳴海村庄治郎、鳴海御陣屋)	一丁	四二
覺(舟老艘受取) (天保八年九月九日 木庭村庄屋喜助、鳴海村御役人衆中)	一丁	四三
乍恐御尋ニ付奉申上候御事(當宿之者共豊川江參詣致度) (天保八年九月九日 庄屋四人、吉田五郎八様他一名、付、名前書)	二丁	四三
乍恐御達申上候御事(病氣流行之砌氏神八幡宮江心願懸相慎、右為礼挑灯掃申度) (天保八年九月九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋)	一丁	四四
覺(新御殿植木入用有之ニ付、葉蘭一株献上) (天保八年)	一丁	四五

乍恐御達申上候御事(御尋之車無御座候) (天保八年九月九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋)	一丁	四六
乍恐御達申上候御事(當村伊兵衛、無宿弥右衛門ニ被相頼、着類等置置候由) (天保八年九月九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋)	一丁	四七
乍恐御達申上候御事(當村米屋共米小売之儀) (天保八年九月十一日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋)	一丁	四八
御請書之事(木敷御改之上、伐採) (天保八年九月十一日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、伊藤傳三郎殿)	二丁	四九
乍恐御達申上候御事(當村初藏、無宿盜賊助、盜物買取) (天保八年九月十一日 鳴海村庄屋代与頭金三郎、鳴海御陣屋)	一丁	四〇
乍恐御請書之事(五軒屋新田藤右衛門儀、三州イカヤ村増右衛門江背売いたし) (天保八年九月十一日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋)	一丁	四二
乍恐書付を以奉申上候御事(大脇村源九郎背米、番人和吉江被下置) (天保八年九月十二日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋)	一丁	四三
往來一札之事(拙寺旦那舟山権右衛門儀、讃州金毘羅江參詣仕候) (天保九年正月 羽州米沢置賜郡若山村松園寺、宿々問屋村々名主衆中)	一丁	四三
送り状之事(羽州米沢置賜郡若山村舟山権右衛門宿村送り) (天保九年 尾州愛知郡鳴海村名主下郷弥兵衛、三州池鯉鮒宿より羽州置賜郡若山村迄宿村御役人衆中)	二丁	四四
乍恐奉願上候御事(平手新田百姓銘々自分扣定納山ニ而透伐枝下共為仕度) (天保九年戊戌正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、御林方御陣屋)	三丁	四五

乍恐奉願上候御事(親善八病死仕候ニ付、私弟兩人熱田新田江引越申度)(天保九年)戊二月 鳴海村庄屋次郎、鳴海御陣屋	一丁	四六
乍恐奉願上候御事(知多郡大高村本右衛門二男吉次、私方江養子ニ貰受申度)(天保九年)戊二月 鳴海村江枝郷前の庵兵吉、鳴海御陣屋	一丁	四七
乍恐奉願上候御事(捨子、私方江養子ニ貰請申度)(天保九年)戊二月 鳴海村枝郷前の庵榮助、鳴海御陣屋	一丁	四八
乍恐奉願上候御事(當村瑞泉寺末寺同所光明寺後住之儀)(天保九年)戊二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名、鳴海御陣屋	一丁	四九
乍恐御達申上候御事(當村響願寺境内天満宮神前おゐて神案并挑灯捧申度)(天保九年)戊二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	五〇
乍恐奉願上候御事(私所持之米麦、知多郡大井村嘉七江売渡)(天保九年)戊二月 鳴海村安藏、鳴海御陣屋	一丁	五一
戊年相用申候酒造道具明桶之覚(天保九年)戊二月 前之庵、長左衛門、(宛名未詳)	一丁	五二
乍恐奉願上候御事(東光院隱居弟子深光与申僧、當村東福院看住ニ居申度) 天保九年三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名、鳴海御陣屋	一丁	五三
奉願上候御事(東光院隱居弟子深光、御末寺東福院看住ニ居申度) 天保九年三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名、長久寺方丈	一丁	五四
乍恐御達申上候御事(酒式自樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申度) (天保九年)戊三月三日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	五五
乍恐御達申上候御事(酒式百三拾樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申候)(天保九年)戊三月四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	五六
乍恐御達申上候御事(酒百四拾樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申候)(天保九年)戊三月十四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	五七
乍恐御達申上候御事(酒百四拾樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申候)(天保九年)戊三月十五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	五八
乍恐御達申上候御事(酒百四拾樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申候)(天保九年)戊三月十六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	五九
乍恐御達申上候御事(酒百四拾樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申候)(天保九年)戊三月十九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	六〇
乍恐御達申上候御事(御中間衆屋支度木錢米代請取)(天保九年)戊三月晦日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛、泰勢太郎様御支配人衆様	一丁	六一
乍恐御達申上候御事(如意寺境内金毘羅權現ニおゐて神案并挑灯捧申度)(天保九年)戊三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	六二
乍恐御達申上候御事(如意寺境内金毘羅權現ニおゐて神案并挑灯捧申度)(天保九年)戊三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	六三
乍恐御達申上候御事(當村枝郷小鳴海源藏、信州善光寺江參詣仕度、往來一札相願申候)(天保九年)戊三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	六四

乍恐奉願上候御事(先年之通江戸積仕度)(天保九年)戊三月 鳴海村枝郷前ノ庵長左衛門、鳴海御陣屋	一丁	六五
乍恐御達申上候御事(酒八拾樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申候)(天保九年)戊四月朔日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	六六
乍恐御達申上候御事(盜難屈)(天保九年)戊四月二日 鳴海村傳吉、鳴海御陣屋	一丁	六七
乍恐御達申上候御事(親背亮)(天保九年)戊四月二日 鳴海村番人和吉他三名、鳴海御陣屋	一丁	六八
乍恐御達申上候御事(酒百樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申候)(天保九年)戊四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	六九
乍恐御達申上候御事(酒百七拾樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申候)(天保九年)戊四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	七〇
乍恐御達申上候御事(元船出火ニ而酒荷之内四拾八樽焼失)(天保九年)戊四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	七一
乍恐御達申上候御事(羽州置賜郡若山村舟山權右衛門宿村送り)(天保九年)戊四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	七二
乍恐御達申上候御事(當村枝郷前の庵基助他一名、町方御役所御廻り方御越召捕、名古屋表へ引連)(天保九年)閏四月朔日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	七三
乍恐御達申上候御事(御尋之品々買取候者無御座候)(天保九年)閏四月九日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	七四
乍恐奉願上候御事(當村酒造屋共不用酒造桶御封印御解之儀)(天保九年)戊閏四月 鳴海村庄屋松崎嘉十郎、鳴海御陣屋	一丁	七五
乍恐御達申上候御事(酒式百三拾樽、江戸北新川千代倉次郎兵衛方江積送申候)(天保九年)戊閏四月 前之庵長左衛門、鳴海御陣屋	一丁	七六
乍恐御達申上候御事(田方植付余り苗)(天保九年)戊五月廿四日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	七七
乍恐御達申上候御事(村々々持参仕候苗)(天保九年)戊五月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	七八
乍恐御達申上候御事(失火屈)(天保九年)戊六月八日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	七九
乍恐奉願上候御事(當村扣御林之倒木、いまた売捌不申分も御座候ニ付、運上銀御減シ被成下置候様)(天保九年)戊六月 鳴海村庄屋松崎嘉十郎他三名、御林方御陣屋	一丁	八〇
乍恐奉願上(宗門帳外喜三郎、掃村仕候付、宗門組入願)(天保九年)戊七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	八一
御請書之事(雲雀御鷹野御用ニ付諸費用請取)(天保九年)戊七月 愛知郡鳴海村庄屋——御鷹場御役人衆様	一丁	八二
寛(雲雀御鷹野御用ニ付諸費用請取)(天保九年)戊七月 愛知郡鳴海村庄屋下郷弥兵衛、松田三五郎様他三名	一丁	八三
乍恐御達申上候御事(當成年八拾九歳以上之者御改、鳴海村婦はつ當戊九拾式歳)(天保九年)戊七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	八四
乍恐御達申上候御事(當村与頭太右衛門後役之儀)(天保九年)戊七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	八五
乍恐御達申上候御事(さつま芋被盜取申候)(天保九年)戊八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	八六

月 鳴海村手八、鳴海御陣屋	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(当村扣定納山之内ニおゐて、已後心得違為仕申間敷候) (天保九年)戌八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(瑞泉寺扣定納山内ニ而透伐為仕申度) (天保九年)戌八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(別紙之通御林方御陣屋江奉願上候) (天保九年)戌八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(当宿旅籠屋清九郎儀、為養生手錠御差免被成下置候様) (天保十年)亥九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(近來米価高之時節ニ付触請書) (天保十年)亥九月 米屋彦四郎他十八名(鳴海御陣屋)	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(当宿旅籠屋鉄蔵妻けい、為養生手錠御差免被成下置候様) (天保十年)亥九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(御勘定所御呼出しニ付罷出申候人別名前) (天保十年)十一月三日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(船船老親讓受、御札頂戴仕度) (天保十年)亥十一月八日 鳴海村前之庵太兵衛御船手御役所	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(鶴雄老親御用) (天保十年)亥十一月 鳴海村下郷弥兵衛御陣屋	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(窮民共江施物いたし候ニ付袖巻反被下之候) (天保十年)十一月 愛知郡鳴海村坂野三右衛門他十一名(鳴海御陣屋)	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(拝借金返上納之儀、老ケ年御年延被成下置候様) (天保十年)亥十二月 鳴海村下郷弥兵衛御小納	一丁	四三

乍恐奉願上候御事(当所瑞泉寺扣定納山内ニ而透伐為仕申度) (天保十年)亥七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(別紙之通、御林方御陣屋江奉願上度) (天保十年)亥七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(当宿旅籠屋清九郎儀、為養生手錠御差免被成下置候様) (天保十年)亥九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(近來米価高之時節ニ付触請書) (天保十年)亥九月 米屋彦四郎他十八名(鳴海御陣屋)	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(当宿旅籠屋鉄蔵妻けい、為養生手錠御差免被成下置候様) (天保十年)亥九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(御勘定所御呼出しニ付罷出申候人別名前) (天保十年)十一月三日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御林方御陣屋	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(船船老親讓受、御札頂戴仕度) (天保十年)亥十一月八日 鳴海村前之庵太兵衛御船手御役所	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(鶴雄老親御用) (天保十年)亥十一月 鳴海村下郷弥兵衛御陣屋	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(窮民共江施物いたし候ニ付袖巻反被下之候) (天保十年)十一月 愛知郡鳴海村坂野三右衛門他十一名(鳴海御陣屋)	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(拝借金返上納之儀、老ケ年御年延被成下置候様) (天保十年)亥十二月 鳴海村下郷弥兵衛御小納	一丁	四三

戸御役所	二丁	二五
乍恐奉願上候御事(御林方御陣屋江松木透伐枝下シ願) (天保十一年)子正月 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛御陣屋	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(概蓋式拾老杖、当村金三郎の買入) (天保十一年)子二月八日 鳴海村下郷四郎兵衛御陣屋	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(米代金受取) (年代未詳)子三月七日 前之庵(當尾)久八の下郷弥兵衛御陣屋	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(鳴海村近藤佐兵衛他一名、病氣ニ付御能拜見難罷出) (天保十一年)子三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御陣屋	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(鳴海村枝郷前之庵ぬい・孫やゑ、格別難波可手寄方無之) (天保十一年)子三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御陣屋	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(御參府之節、村々馬持共之内為御冥加可差出志之者ハ無之) (天保十一年)子三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御陣屋	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(当村如意寺境内金毘羅權現於神前、神楽并挑灯相捧申度) (天保十一年)子三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御陣屋	一丁	四三
御役銀附之船數覚 天保十一年十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御陣屋	一丁	四三
覚(定納山下刈米代共) (天保十一年) 鳴海村	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(当村番人和吉伴徳次郎・母共、私諸事引受親分ニ相成御百姓ニ仕度) (天保十一年)子十二月 鳴海村善蔵御陣屋	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(当村番人和吉伴徳次郎老人私引受御百姓ニ仕度) (天保十二年)丑閏正月 鳴海村善蔵御陣屋	一丁	四三

乍恐奉願上候御事(当村番人和吉伴女房娘共家内不残、私諸事引受親分ニ相成御百姓ニ仕度) (天保十二年)丑二月 鳴海村善蔵御陣屋	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(宿中火元掃除人念不敬之儀無之様可相心得候) (天保十二年)子正月廿二日 鳴海村下郷弥兵衛御陣屋	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(平手新田定納山内ニ而透伐枝下共為仕度) (天保十二年)丑閏正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御陣屋	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(私縁類同郡長拳村金左衛門伴弥右衛門・同女房、当村借宅引越申度) (天保十二年)丑二月 鳴海村半七御陣屋	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(熱田御所町社人大原吉太夫伴吉次郎、養子ニ貫請相統為仕度) (天保十二年)丑二月 鳴海村半七御陣屋	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(熱田材木町之内中嶋ニ住居罷有候懸リ人武三郎、養子ニ貫請相統為仕度) (天保十二年)丑二月 鳴海村との御陣屋	一丁	四三
乍恐奉願上候御事(私懸り人藤七、名古屋伏見町之内、懸り人ニ遺申度) (天保十二年)丑三月 鳴海村いく御陣屋	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(去酉年大風雨之節、倒家ニ相成候人別之内独身之者) (天保十二年)丑二月 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛御陣屋	一丁	四三
乍恐御尋ニ付以書付奉申上候(当駅茶屋商売并井屋藤助の商売筋之訳奉申上候) 天保十四年五月 鳴海宿役人惣代間屋	一丁	四三

近藤佐兵衛他一名、松井助左衛門様他一名	二丁	一七五
差出申御請書之事(御山御締之規定) 天保十四年六月	一丁	二〇四
天保十四年苗字帶刀之儀ニ付御改革有之同年御触書之写(天保十四年八月晦日 藤富三郎、別紙村々庄屋)	二丁	一七五
乍恐奉差上御請書之事(御林山御締之儀ニ付) 天保十四年九月	四丁	三三三
月 鳴海村締役庄屋兼松崎嘉十郎他十六名、御林方御陣屋		
乍恐奉願上候御事(私夫下郷弥兵衛儀取替金返済方違約)(弘化元年九月辰六月 鳴海村下郷弥兵衛後家、鳴海御陣屋)		
弘化		
弘化式巳中島橋御修復棟札之写 弘化二年四月廿五日 御普請奉行野呂瀬庄左衛門・小池良次郎他十五名	二丁	一四八
乍恐御達申上候御事(当村持分御林之内字篠之風野火出来)(弘化四年)未三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、御林方御陣屋	二丁	一六五
乍恐奉願上候御事(春日井郡土器野新田佐兵衛酒造米石高、私江談請申度)(弘化四年)未十月 下郷次郎八出店鳴海村五郎八、鳴海御陣屋	一丁	一五三
御書付写(鳴海村五郎八、年寄役并二庄屋見習申付候) 弘化四年十一月三日 御代官渡辺源六郎様御手代加藤七左衛門様、差添庄屋坂野三右衛門	一丁	一五三
乍恐御達申上候御事(五郎八、弥兵衛ト改名)(弘化四年)未十二月 鳴海村年寄庄屋見習兼五郎八事弥兵衛、鳴海御陣屋	三丁	一六四
嘉 永		
乍恐奉願上候御事(私所持之酒造米石高、下郷次郎八江談	二丁	一七〇

り渡申度)(嘉永元年)申九月 鳴海村弥兵衛、鳴海御陣屋	二丁	一七〇
乍恐奉願上候御事(当村弥兵衛所持之酒造米石高、私へ譲り受申度)(嘉永元年)申九月 鳴海村下郷次郎八、鳴海御陣屋	二丁	一五七
乍恐御請旁奉願上候御事(已後問屋場締り向之儀勘弁之趣)(嘉永二年)西閏四月 鳴海宿問屋次郎左衛門他三名、鳴海御陣屋	三丁	一五四
差出申御請書之事(組内ニおゐて盗賊無宿之類一切無御座候) 嘉永二年五月 下々ミ平助五人組合次助他八名、庄屋見習年寄役兼弥兵衛殿	二丁	一五八
乍恐奉願上候御事(鳴海宿御伝馬役相統方)(嘉永二年)西九月 鳴海宿問屋弥兵衛他四名、鳴海御陣屋	三丁	一五五
寛(酒造米石高、遣ひ道具御渡シニ相成候分)(嘉永二年)西十月 鳴海村弥兵衛、鳴海御陣屋	三丁	一六一
乍恐御敷願奉申上候御事(鳴海宿御伝馬相統金三百拾両之儀)(嘉永三年)戊正月 鳴海宿問屋次郎左衛門他三名、鳴海御陣屋	一丁	一六三
乍恐御達旁御願奉申上候(鳴海宿初六ヶ宿問屋共出府)(嘉永三年)戊二月 嘉永式酉年分御往米御結立人馬書上帳(嘉永三年)戊二月 鳴海宿問屋弥兵衛他四名、大御代官御役所	三丁	一六六
寛(鳴海宿伝馬役)(嘉永三年)戊二月 鳴海宿問屋	一丁	一五九
[字相原町弥兵衛家内人数・奉公人書上](嘉永三年)戊二月	二丁	一七二
乍恐御請旁御願奉申上候(鳴海宿初六ヶ宿割増御手当金之儀)(嘉永三年)戊六月 鳴海宿問屋惣代弥兵衛他五名、太田助次郎様他三名御役所	八丁	一五〇
月懸銭圖引之仕法(嘉永三年)戊六月 六ヶ宿問屋共	四丁	一六八

永久讓渡申田地之事 嘉永三年七月 田地譲り主下郷弥兵衛他二名、清吉殿	三丁	一六四
証文之事(金子借用) 嘉永三年十月十九日 下郷弥兵衛、御取次服部源吉殿	一丁	一六一
永久讓渡申田地之事 嘉永三年十月 田地譲り主下郷弥兵衛他三名、桑名屋善兵衛殿	四丁	一六三
永久讓渡申田地之事 嘉永三年十月 田地譲り主下郷弥兵衛他二名、清吉殿	六丁	一六三
乍恐奉願上候御事(当宿役人出入筋江抱り御勘定所江被召出中、琉球人參府ニ付仕埋役可被仰付哉)(嘉永三年)戊十月 問屋次郎左衛門仕埋問屋格年寄、三郎他二名、鳴海御陣屋	一丁	一五三
永代譲り渡申田地之事 嘉永三年十一月 田地譲り主下郷弥兵衛他一名、米屋嘉兵衛殿	四丁	一六五
乍恐奉願上候御事(私所持之酒造米石高千三百廿式石三斗、当村下郷次郎八江談渡申度)(嘉永三年)戊十一月 鳴海村弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	一六四
乍恐奉願上候御事(当村弥兵衛所持之酒造米石高千三百廿式石三斗、今般私へ譲受申度)(嘉永三年)戊十一月 鳴海村下郷次郎八、鳴海御陣屋	三丁	一六三
譲り渡申田地之事 嘉永三年十二月 田地譲り主下郷弥兵衛他二名、相原村甚左衛門殿	一丁	一六六
譲渡申田地之事 嘉永三年十二月 田地譲り主下郷弥兵衛他二名、勘左衛門殿	二丁	一六七
譲渡申田地之事 嘉永三年十二月 田地譲り主下郷弥兵衛他二名、荒木屋長三郎殿	三丁	一六八
永久讓渡申田地之事 嘉永三年十二月 田地譲り主下郷弥兵衛	四丁	一六八

他一名、大嶋官左衛門殿	二丁	一六九
永代讓渡申田地之事 嘉永四年四月 譲り主下郷弥兵衛他二名、丹々伊左衛門殿御取次	二丁	一六九
永々讓渡申田地之事 嘉永四年四月 譲り主下郷弥兵衛他二名、桑名屋源兵衛殿	二丁	一六〇
乍恐御敷願奉申上候御事(御金奉行江転役ノ渡辺源六郎様、鳴海御代官江御掃役願)(嘉永四年)亥四月 鳴海御陣屋御支配所村々惣代鳴海村下郷次郎八他、宛名未詳	二丁	一六五
乍恐御請旁奉願上候御事(三州桑子村伴吉、米代金不渡出入三付)(嘉永四年)亥六月 鳴海村下郷次郎八他、二名、鳴海御陣屋	五丁	一六七
讓渡申田地証文之事 嘉永四年十月 鳴海村丹下兵三郎他一名、野並村榮次郎殿	三丁	一六八
御敷申口上之覚(当村方御年貢未進之儀)(嘉永五年)子五月(鳴海村)弥兵衛他一名、庄屋衆様	二丁	一六四
御触書写(戸部笠寺天王神声流之節神声迎トして相越間敷候)(嘉永五年)六月十七日 鳴海陣屋、鳴海村初庄屋	一丁	一六五
御書付写(鶴民江施物いたし候由相聞奇特之事) 嘉永五年十一月 愛知郡鳴海村弥兵衛	一丁	一七三
乍恐御達申上候御事(鳴海宿村問屋庄屋隔番勤方人別之儀)(嘉永六年)丑五月 鳴海宿年寄下郷次郎八、鳴海御陣屋	二丁	一六九
乍恐御達申上候御事(長々照統候付当村田方早魁)(嘉永六年)丑七月 鳴海村庄屋下郷保之助他一名、鳴海御陣屋	四丁	一七〇
差出申御請書之事(此分ニ差置候ては末々宿可及衰微と今般役人共寄評議) 嘉永六年八月(差出人・宛名未詳)	七丁	一六七
差出申御請書之事(旅籠屋職業江付敷宿之儀) 嘉永六年八月	二丁	一六八

旅籠屋締役・同職一統々(宛名未詳)

差出申御請書之事(祭札道具其外都而印付候品并不正之品物已後一切買取申間敷旨) 嘉永六年八月 質屋々(宛名未詳) 一丁 一六九
御敷申上候口上覚(宿助郷人足共御払金勘定高多分之間違ひ有之) (嘉永六年) 丑八月 練藏他八名御役頭中様 三丁 三二
御師縫目之節御陣屋江差上候連判一札之写 嘉永六年八月 二丁 三二
愛知郡鳴海村庄屋弥兵衛他一名御代官吉田助次郎様御手代野間六郎様

乍恐奉願上候御事(扇川北堤江当村百姓五人者居宅取建分家為仕申度) (嘉永六年) 丑九月 鳴海村庄屋下郷保之助他二名鳴海御陣屋 二丁 三二
口上覚(当村金兵衛持高之内書入) (嘉永六年) 丑十一月 鳴海村庄屋清兵衛他二名前正傳守様 二丁 三二
御書付写(海岸守裁許方添役申付候) 嘉永六年十一月廿四日 二丁 三二
(御代官吉田助次郎様御手代) 愛知郡鳴海村弥兵衛

乍恐奉願上候御事(松木伐採) (嘉永六年) 丑十一月 鳴海村下郷弥兵衛御林方御陣屋 二丁 三二
覚(当村高之内貴殿御扣方より為助成金三拾兩請取) (嘉永六年) 丑十一月 鳴海村庄屋下郷保之助他四名横江八郎右衛門殿 一丁 二二三
御敷申上候口上(去丑年分給料先借) (嘉永七年) 寅三月 廣四丁 三九七
介(鳴海問屋宛力)

御敷申上候口上(去丑年分給料先借) (嘉永七年) 寅三月 廣三丁 三九六
介(鳴海問屋宛力) 二丁 二〇六
覚(神沢池塘扣築立御普請請負) (嘉永七年) 寅四月廿一日 相原村幸右衛門他一名鳴海庄屋衆様

乍恐奉願上候御事(新雨池之儀築立方) (嘉永七年) 寅四月 一丁 四〇一
鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名御林方御陣屋 二丁 四〇三
御内々奉敷候口上(御給料増被下置候儀) (嘉永七年) 寅五月 二丁 四〇三
書役新右衛門他一名(宛名未詳)
(御備御用ニ付、差紙) (嘉永年間) 十二月廿二日 (鳴海陣屋) 鳴海村下郷次郎八他七名 一丁 二〇七

安政

御触書写(当夏已來異国船渡來ニ付、禁裏より熱田大宮江折禱被仰付候) (安政元年) 十二月十九日 鳴海陣屋々鳴海村初村々庄屋 一丁 二〇九
差出申一札之事(私儀本家同居引離分宅) 安政二年正月 太右衛門他三名御本家伊藤大庵殿 一丁 二〇九

乍恐御敷願奉申上候御事(私祖父下郷勘左衛門代拜借仕候御役所金之儀) (安政二年) 十一月九日 鳴海村下郷次郎八御小納戸御役所 四丁 二四二
乍恐御敷願奉申上候御事(祖父下郷勘左衛門并ニ私拜借返納金、尚又一ヶ年御年延被成下置候様仕度) (安政三年) 十一月(廿四日) 鳴海村下郷次郎八御小納戸御役所 四丁 二四二
乍恐奉願上候御事(下郷勘左衛門身上相統方之儀) (年代未詳) 申十二月 下郷勘左衛門親類善右衛門他五名酒井七左衛門様御役所 五丁 二四二

乍恐奉願上候御事(私祖父下郷左衛門代拜借金返上方、御年延被仰付被下置候様) (年代未詳) 酉十一月 鳴海村下郷次郎八御小納戸御役所 三丁 二四五
乍恐奉願上候御事(私祖父下郷勘左衛門、御殿御祠堂御用 二丁 二四四

銀拝借之儀

人衆様

(年代未詳) 戌十月 下郷次郎八要田御殿御役

乍恐御敷願奉願上候御事(拜借金年限、年延願) (安政二年) 卯十一月 鳴海村下郷保之助他三名御小納戸御役所 二丁 三三

乍恐奉願上候御事(当秋不作并普請所等影敷村下用懸り相嵩候ニ付、御小納戸御役所江御敷願奉申上度候) (安政二年) 十一月 鳴海村下郷保之助他三名御陣屋 一丁 三九六
乍恐奉願上候御事(新蔵後家なべ難決ニ付御手当願) (安政三年) 辰三月 鳴海村庄屋下郷保之助他二名鳴海御陣屋 二丁 四九六
讓り渡申田地之事 安政三年四月 田地讓主下郷金兵衛他二名吉井友右衛門様 五丁 一六五

吉井野崎借用金地所付替証文写 安政三年五月 田地讓主下郷金兵衛他二名吉井友右衛門様 四丁 一六四
(金瘡御用相成生真蛇捕方之触) (安政三年) 五月廿七日 鳴海陣屋々左之村々庄屋 三丁 三〇〇

借用申金子之事(村方普請入用ニ付借用) 安政三年六月 庄屋下郷保之助他三名善兵衛殿 一丁 二〇三
乍恐御達申上候御事(当宿村問屋庄屋隔年勤之儀) (安政三年) 辰六月 鳴海宿村惣年寄見習下郷次郎太他一名鳴海御陣屋 二丁 三〇一

乍恐奉願上候御事(普請願) (安政三年) 辰六月 鳴海村庄屋下郷保之助他二名鳴海御陣屋 二丁 三〇二
覚(去卯年分御役竹代請取) (安政三年) 辰六月 鳴海陣屋々鳴海村 一丁 三〇三
乍恐御達申上候御事(雨乞祈禱仕候ニ付、氏神江挑灯相捧申度) (安政三年) 辰六月十六日 鳴海村庄屋弥兵衛々鳴海御陣 一丁 三〇四

屋

覚(生真蛇式正) (安政三年) 六月十八日 大府村々鳴海村御庄屋衆中様 一通 六二四

覚(真蛇式正奉差上候) (安政三年) 辰六月十八日 込高新田庄屋基右衛門々鳴海御陣屋 一丁 六二五

覚(御陣屋真蛇御用ニ付、真蛇拾貳疋差上候) (安政三年) 辰六月十九日 愛知郡番掛村庄屋孫兵衛々鳴海村御庄屋衆中 一丁 六〇八
送り書附之御事(金瘡御用ニ付、生真蛇四疋差出) 安政三年六月廿日 右村(知多郡吉川村)孫三郎々鳴海村御庄屋衆様 一丁 二〇六

覚(生真蛇八疋差上候) (安政三年) 辰六月廿日 大高村庄屋孫六々鳴海村御庄屋衆 一丁 六〇五
乍恐御達申上候御事(生真蛇七拾九疋、御触通廿五ヶ村々取集) (安政三年) 辰六月廿日 鳴海村庄屋弥兵衛々鳴海御陣屋 一丁 六〇六

差出申候御事(生真蛇四疋) (安政三年) 辰六月廿日 知多郡長草村々鳴海御庄屋衆中様 一丁 六〇九
覚(生真蛇四本差上申候) (安政三年) 辰六月廿日 桶廻間村庄屋清右衛門々鳴海御陣屋 一丁 六二〇

覚(生真蛇四疋差出申候) (安政三年) 辰六月 半月村庄屋基之右衛門々鳴海村御庄屋衆中 一丁 六二一
送り状(生真蛇式本) (安政三年) 辰六月 植田村庄屋弥六々鳴海御陣屋 一丁 六二六

乍恐御達申上候御事(生真蛇四疋差上申候) (安政三年) 辰六月 横根村庄屋善右衛門々鳴海御陣屋 一丁 六二七
復送り書付之事 (安政三年) 辰六月 赤池村庄屋々鳴海御庄屋衆中様 一丁 六二八

差上申送状之事(生真蛇式正) (安政三年) 辰六月 木之山村庄 一丁 六二九

屋卯右衛門、鳴海村御庄屋衆中
送り書不來分(嶋田村他七ヶ村、生真むし拾八疋) (年代未詳)
一丁 六〇
乍恐御達申上候御事(盜品直段見積書) (安政三年)辰六月廿
一丁 六二
日 鳴海村安五郎、半田小兵衛様御庄屋
乍恐御請書之事(先達而被盜取候品、被返下、請取) (安政三年)辰六月廿日 鳴海村爲藏、半田小兵衛様御庄屋
一丁 六三
乍恐御達申上候御事(天白川堤高草等取方之儀) (安政三年)辰六月 鳴海村庄屋弥兵衛、御普請方御役所
一丁 六三
覚(上小田井村長善寺江村中志之族より差出候錢四拾八文) (安政三年)辰六月 鳴海村庄屋弥兵衛、鳴海御陣屋
一丁 六三
乍恐御達申上候御事(盜難届) (安政三年)辰六月 鳴海村安五郎、半田小兵衛様御庄屋
一丁 六三
乍恐御達申上候御事(當村氏神東宮大明神祭礼之儀) (安政三年)辰六月 鳴海村庄屋弥兵衛、鳴海御陣屋
一丁 六三
乍恐御達奉申上候御事(占たらひ老ツ買受売払) (安政三年)辰六月 鳴海村又四郎、寺社御奉行所
一丁 六四
乍恐御達申上候御事(雨乞祈禱仕候ニ付、挑灯相捧申度) (安政三年)辰七月朔日 鳴海村庄屋弥兵衛、鳴海御陣屋
一丁 六五
御書付(軍留之儀) (安政三年)辰七月十四日 (差出人未詳) 天白橋守笠寺村作右衛門
一丁 六六
覚(知多郡乙川村豊次郎入檻中諸入用、番人和吉江相渡申候) (安政三年)辰七月十五日 鳴海村庄屋弥兵衛、鳴海御陣屋
一丁 六七
御差紙写(召喚) (安政三年)七月十五日 吉(田)助次郎、鳴海村弥兵衛他一名
一丁 六八
〔新待賢門院薨去ニ付、鳴物三日之間停止〕 (安政三年)七月

十六日
覚(無宿盜賊民三郎初入檻中支度代等、番人和吉江相渡申候) (安政三年)辰七月十七日 鳴海村庄屋弥兵衛、鳴海御陣屋
一丁 六九
御触書写(別紙之通寺社奉行衆・御勘定奉行衆より触) (安政三年)七月十七日 鳴海御陣屋、別紙村々庄屋
一丁 七〇
〔鳴海村下郷次郎八・下郷次郎太各別旧家之儀、猶更嚴敷候約いたし候様可心懸候) (安政三年)辰七月
一丁 七一
乍恐御達申上候御事(字根古屋天神山おゐて多人数相集博奕興行罷在候休相見候) (安政三年)辰七月 鳴海村庄屋弥兵衛、鳴海御陣屋
一丁 七二
乍恐御達奉申上候御事(盜品力) (安政三年)辰七月 鳴海村庄屋
一丁 七三
覚(切所普請人足代等) (安政三年)辰七月 南野村庄屋、鳴海村庄屋中様
一丁 七四
乍恐御達申上候御事(天白川堤ニ出生候竹木茂高草刈取掃除) (安政三年)辰八月 鳴海村庄屋弥兵衛、御普請方御役所
一丁 七五
乍恐奉願上候御事(停次郎太江家督相讓申度) (安政三年)辰九月 下郷次郎八、鳴海御陣屋
一丁 七六
乍恐奉願上候御事(當村扣天白川通堤御普請相済、御金下附願) (安政三年)辰九月 鳴海村庄屋弥兵衛、御普請方御役所
一丁 七七
乍恐御達申上候御事(當村天白川中堤并三藤川堤御普請取懸り申度) (安政三年)辰九月 鳴海村庄屋弥兵衛、御普請方御役所
一丁 七八
乍恐御達奉申上候御事(當村兵三郎、坂野儀八郎江抱り出入) (安政三年)辰九月 鳴海村庄屋下郷保之助他二名、鳴海御陣屋
一丁 七九

乍恐御達申上候御事(平御林之内松虫喰枯木伐取方之儀取懸り申度) (安政三年)辰九月 鳴海村庄屋弥兵衛、御林方御陣屋
一丁 八〇
乍恐御達申上候御事(當村餐願寺境内金毘羅殿神前おゐて提灯相捧、神楽を奏申度) (安政三年)辰九月 鳴海村庄屋弥兵衛他一名、鳴海御陣屋
一丁 八一
乍恐御達申上候御事(當村茂間堂神事之儀) (安政三年)辰九月 鳴海村庄屋弥兵衛他一名、鳴海御陣屋
一丁 八二
演説覚(鳴海御陣屋下村々江金式万七千六百兩当辰年、拾ヶ年之間、一ヶ年ニ式千七百六拾兩ツ、年々上納可仕) (安政三年)辰九月 (鳴海御陣屋) 〆(鳴海御陣屋下村々江)
一丁 八三
覚(去々寅年御田米川出運賃等諸入用受取) (安政三年)辰十月十四日 鳴海村庄屋弥兵衛、鳴海御陣屋
一丁 八四
乍恐御達申上候御事(知多郡成岩村伊平娘ちゑ病氣ニ付御届) (安政三年)辰十月十五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御役所 (朱書)七十二
一丁 八五
覚(御膳搦上納) (安政三年)辰十月十八日 鳴海村庄屋弥兵衛、廣井御藏御役所
一丁 八六
覚(信高甚之丞停定次郎召捕ニ付、鳥目頂戴仕候) (安政三年)辰十月廿一日 番人和吉他二名、御當番御庄屋衆様
一丁 八七
乍恐奉願上候御事(私親類越前福井御城下 観音町ニ罷在候多吉、私懸り人ニ仕、當村江為引越、百姓為致度) (安政三年)辰十月 鳴海村吉右衛門、鳴海御陣屋
一丁 八八
借用申金子之事 安政三年十一月 鳴海村増右衛門、あゐ定七
一丁 八九
乍恐御請書之事(先達而被盜取候品々、今般御返被下、頂

戴仕候) (安政三年)辰十一月廿一日 鳴海村爲藏、横須賀御陣屋
一丁 九〇
乍恐御達申上候御事(當宿旅籠屋米屋喜兵衛儀、盜賊、諸色預り、押籠被付候) (安政三年)辰十一月廿二日 鳴海村庄屋弥兵衛他一名、鳴海御陣屋
一丁 九一
〔線姫君様御逝去ニ付、鳴物者七日停止普請者不苦段、從公義御触有之候) (安政三年)十一月廿三日
一丁 九二
覚(當村、伊勢江奉納御初穂米) (安政三年)辰十一月廿四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、熱田宿栢樓屋七殿
一丁 九三
覚(御初穂米等受取) (安政三年)辰十一月廿四日 尾州御定宿・東海道宮宿栢樓屋七、鳴海宿御庄屋下郷弥兵衛様
一丁 九四
写(別紙之通、寺社奉行衆、御勘定奉行衆よりの触) (安政三年)十一月廿四日 鳴海御陣屋、鳴海村初庄屋
一丁 九五
差上申御請書之事・御状写(其村黒末川運上銀上納) (安政三年)十一月廿四日 鳴海御陣屋、鳴海村庄屋へ
一通 九六
〔黒末川運上銀請取) (安政三年)辰十一月廿六日 鳴海御陣屋、鳴海村
一丁 九七
乍恐御達申上候御事(當村爲藏被盜取候品々、今般御返被下候) (安政三年)辰十一月廿七日 鳴海村庄屋弥兵衛他一名、鳴海御陣屋
一丁 九八
讓渡中家屋鋪証文事 安政三年十一月 鳴海根古屋町讓主山口屋丹六他二名、八事山御役所御取次横田村横地権盛殿
一丁 九九
御尋ニ付乍恐御達申上候御事(當村酒造屋共桶屋職肝煎等相済居、御作事方鑑札請居候由) (安政三年)辰十一月 鳴海村庄屋弥兵衛、鳴海御陣屋
一丁 一〇〇
覚(酒造米力) (安政三年)辰十一月 鳴海村庄屋
一丁 一〇一

乍恐御請書差上候御事(先達而被盜取候品々、今般御返被下置、奉請取候)	(安政三年)辰十一月	鳴海村前之庵分弥三郎	横須賀御陣屋	二丁	六六
乍恐御達申上候御事(当村前之庵分弥三郎被盜候大金、代銭ニ而今般御返被下候)	(安政三年)辰十一月	鳴海村庄屋弥兵衛他一名	鳴海御陣屋	一丁	六九
乍恐御達申上候御事(盜難届)	(安政三年)辰十一月	鳴海村前之庵分幾結政治郎	鳴海御陣屋	一丁	六〇
質流相渡申田地之事	安政三年十二月	田地譲リ主山口友三郎他二名	鳴海上中町米屋加兵衛殿	一通	六二
覚(去卯年鳴海村初置米錢請取)	安政三年十二月	鳴海陣屋	鳴海村庄屋	二丁	六四
譲リ渡申家屋敷証文之事	安政三年十二月	鳴海本町家屋敷譲リ主[]屋甚吉他二名	八事山御役寮植田村取次横地極蔵殿	一丁	二〇四
借用申金子之事	安政三年十二月	惣年寄下郷次郎太他七名	三組善兵衛殿	二丁	五〇六
譲渡申屋敷地之事	安政四年二月	鳴海村庄屋下郷保之介他四名	相原町初蔵殿	一丁	五〇八
乍恐奉願上候御事(私本家下郷次郎太江戸表出店取締候付、私儀同道相越申度)	(安政四年)巳二月	鳴海村庄屋弥兵衛	鳴海御陣屋	二丁	五〇七
差上申一札之事(運上場之儀等)	安政四年三月	愛知郡鳴海村庄屋弥兵衛	鳴海御陣屋	一丁	六六
乍恐御請書之事(人別改)	(安政四年)巳三月	鳴海村庄屋惣代弥兵衛他三名	鳴海御陣屋	一丁	六六
覚(無宿者老人私)	(安政四年)巳四月廿六日	鳴海村庄屋弥兵衛	(宛名未詳)	二丁	二七六

乍恐御請奉申上候御事(去ル寅年徳山五兵衛様江用達仕置候金子之儀)	(安政四年)巳四月	鳴海村前之庵分源兵衛後家他一名	寺社御奉行所	一丁	六七	
乍恐御達申上候御事(私儀下郷次郎太江戸店用ニ付、彼地江罷下、当十一日帰村仕候)	(安政四年)巳四月	鳴海村庄屋弥兵衛	鳴海御陣屋	一丁	六八	
乍恐御達申上候御事(氏神おゐて五穀成就御祈禱仕候客、付而者挑灯相捧申度)	(安政四年)巳四月	鳴海村庄屋弥兵衛他一名	鳴海御陣屋	一通	七五	
廻状(生真蛇御用)	(安政四年)五月廿七日	鳴海庄屋	嶋田村他十九ヶ村庄屋衆中	一丁	六九	
写(新海池運上銀上納)	(安政四年)閏五月六日	鳴海陣屋	鳴海村庄屋	一丁	二〇六	
覚(文政十二年七月麦金引当調達米切手請取)	安政四年閏五月廿九日	下郷保之介	御同役中様	一丁	二〇九	
覚(辰冬下用取替元金受取)	安政四年閏五月廿九日	下郷善右衛門	庄屋御衆中	一通	二〇〇	
覚(下用制請取)	安政四年閏五月晦日	前之庵	長左衛門	村方庄屋様	一通	二〇一
覚(去辰冬取かへ金受取)	安政四年閏五月晦日	桑名屋善兵衛	御村方	二丁	五二〇	
乍恐御達申上候御事(鳴海村枝郷前之庵分文四郎儀家内妻共共私)	(安政四年)巳閏五月	鳴海村庄屋弥兵衛他一名	鳴海御陣屋	二丁	五二三	
預り申講金一札之事	安政四年閏五月	鳴海村惣年寄下郷次郎太	要講御帳元大黒屋利兵衛殿	二丁	五二二	

質流譲渡申家屋敷之事	安政四年六月	譲主前之庵清吉他一名	作組御町内中	二丁	二七六	
乍恐奉願上候御事(普請願)	(安政四年)巳六月	鳴海村庄屋下郷保之助他一名	鳴海御陣屋	二丁	五三三	
(水火災之節取調書付難形)	(安政四年)六月	寺社奉行所	借用申金子之事	二丁	五五六	
借用申金子之事	安政四年七月	組頭惣代與之八他六名	米屋嘉兵衛殿	一丁	二〇五	
借用申金子之事	(山方砂留御普請人足代)	安政四年七月	庄屋下郷保之助他四名	下郷幾久三郎殿	一丁	二〇六
乍恐奉願上候御事(当村藤川堤御普請所之儀)	(安政四年)巳七月	鳴海村庄屋弥兵衛	御普請方御役所	一丁	六〇〇	
乍恐御達申上候御事(欠払候文四郎儀、行方相分り不申候)	(安政四年)巳七月	鳴海村庄屋弥兵衛	御普請方御役所	一丁	六〇三	
乍恐奉願上候御事(藤川通堤等普請願)	(安政四年)巳七月	鳴海村庄屋弥兵衛	御普請方御役所	一丁	六〇五	
乍恐御達申上候御事(当廿二日出水ニ而藤川通堤ニ生立候小松七本伐取)	(安政四年)巳七月	鳴海村庄屋弥兵衛	御普請方御役所	一丁	六〇七	
(往還並村枯松代、御普請方役所江上納)	(安政四年)七月廿二日	鳴海村	御普請方	一丁	五四四	
(寺社奉行衆よりの触写)	(安政四年)七月廿六日	吉(田)助次郎	別紙村々庄屋	二丁	五五二	
乍恐御達申上候御事(当村諏訪大明神例祭之儀)	(安政四年)巳七月	鳴海村庄屋弥兵衛	鳴海御陣屋	一丁	五七二	
乍恐奉願上候御事(猪、田畑作物等食荒候ニ付、退治願)				一丁	五八二	

乍恐奉願上候御事(鳴海宿村六役名前書上)	(安政四年)巳七月	鳴海宿村惣年寄下郷次郎太他一名	鳴海御陣屋	二丁	五九
乍恐奉願上候御事(相原村持分扇川通堤普請之儀)	(安政四年)巳七月	鳴海村庄屋下郷保之助他四名	鳴海御陣屋	一丁	五〇
乍恐御達申上候御事(鳴海宿村六役名前書上)	(安政四年)巳七月	鳴海宿村惣年寄下郷次郎太他一名	鳴海御陣屋	二丁	五二
乍恐奉願上候御事(普請願)	(安政四年)巳七月	鳴海村庄屋下郷保之助他一名	鳴海御陣屋	二丁	五三
覚(拾得物届)	(安政四年)巳七月	鳴海(村)庄屋	(鳴海陣屋宛カ)	一丁	七七
乍恐御達申上候御事(当村八幡宮例祭之儀)	(安政四年)巳八月	鳴海村庄屋弥兵衛他一名	鳴海御陣屋	一丁	五三
乍恐御達申上候御事(当村田方・畑方共昨夜之強風ニ而吹倒)	(安政四年)巳八月	鳴海村庄屋加藤平左衛門他二名	鳴海御陣屋	一丁	六四
乍恐御達申上候御事(猪狩捕方)	(安政四年)巳八月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名	御林方御陣屋	一丁	六六
書簡控(綿屋市兵衛悻源次郎儀猶又乱心ニ付、御引取被成下候様)	(安政四年)九月十日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名	丸山村角右衛門様他二名	一丁	六七
乍恐御達申上候御事(当村寶願寺境内金毘羅大権現前おゐて、神楽奏提灯相捧申度)	(安政四年)巳九月	鳴海村庄屋弥		一丁	六八

兵衛、鳴海御陣屋	一丁	六九
乍恐御達申上候御事(名古屋永安寺町萬屋和七の預り置申候質物一条)(安政四年)巳九月 鳴海村庄屋代与頭丹六の鳴海御陣屋	一丁	六八
乍恐御達申上候御事(当村浅間堂神事之儀)(安政四年)巳九月 鳴海村庄屋兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	六八
乍恐御達申上候御事(盜難届)(安政四年)巳九月 鳴海村又四郎、鳴海御陣屋	一丁	六八
乍恐奉願上候御事(当村持分御山之内百姓自分扣定納山ニ而松木透伐枝下シ仕度)(安政四年)巳九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、御林方御陣屋	一丁	六八
讓渡申田地之事(下郷金石衛門分) 安政四年十月 庄屋下郷保之助他六名、山花町文吉殿	一丁	六八
差上申済口証文之事(千代倉)屋又九郎母之法儀) 安政四年十月 出願人ミつ他十一名、庄屋御衆中様	四丁	二〇四
書簡(御用米五拾石、いつれニも六斗壹升五合ならては御弘難成)(安政四年)十月廿四日 神谷市左衛門、柏木弥兵衛様	一通	六八
覚(御蔵米五拾石、相場ニ而當節御弘)(安政四年)巳十月 鳴海村文吉、鳴海御陣屋	一丁	六八
預申頼母子金子之事 安政四年十月 金子預り主久野清吉他二名、青山氏頼母子御陣中	一丁	二〇〇
覚(御蔵米老石御弘)(安政四年)巳十月 鳴海村助藏、鳴海御陣屋	一丁	六八
乍恐御達申上候御事(御用米五拾石御弘方)(安政四年)巳十月 鳴海村庄屋弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	六八
乍恐奉願上候御事(当年之儀出付ニ而突入悪敷)(安政四年)	一丁	六八

巳十月 鳴海村庄屋下郷保之助他五名、鳴海御陣屋	一丁	六八
乍恐奉願上候御事(当村御年貢米之儀)(安政四年)巳十月 鳴海村庄屋下郷保之助他三名、鳴海御陣屋	一丁	六八
乍恐奉願上候御事(当御陣屋御用米之儀)(安政四年)巳十月 鳴海村嘉兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	六八
乍恐御達申上候御事(当御陣屋御用米之儀)(安政四年)巳十月 鳴海村庄屋弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	六八
乍恐御内々奉歎願候御事(私本家下郷次郎太扣地所不取散様御結筋)(安政四年)巳十月 下郷次郎太親頼鳴海村庄屋弥兵衛、御小納戸御役所	七丁	二七三
乍恐奉願上候御事(当村御年貢米之儀)(安政四年)巳十月 鳴海村庄屋良之助他五名、鳴海御陣屋	二丁	二〇六
御弘居一条ニ付諸入用割賦(安政四年)	一丁	六八
乍恐御達申上候御事(永安寺町万屋和七質物一条之儀)(安政四年)巳十月 鳴海村前之庵分源兵衛他三名、鳴海御陣屋	二丁	六八
覚(御蔵米五拾石御弘)(安政四年)巳十月 鳴海村米屋嘉兵衛、鳴海御陣屋	二丁	六八
(其村雨池以相渡候間手任銀持、可能出候)(安政四年)十月十日 坂方役所、鳴海村庄屋	一丁	六八
差出申御請書之事(御陣屋御用古納米五拾石)(安政四年)巳十月廿五日 米屋甚兵衛、(鳴海陣屋宛カ)	一丁	六八
巳年御弘居米代金請取之扣(安政四年)十月廿八日	二丁	六八
覚(御弘居米代請取)(安政四年)十一月十一日 片岡喜平治、吉田助次郎殿	一丁	六八
覚(御追放者男老人、当宿東端ニ而御弘)(安政四年)巳十一月	一丁	六八

月十三日 鳴海村庄屋弥兵衛、松本八太郎様他一名	二丁	六八
覚(秋葉大権現御祭礼御供米料致宿附候)(安政四年)巳十一月十六日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛代為藏、圓通寺御役所	一丁	六八
乍恐御達申上候御事(当村瑞泉寺境内秋葉権現ニおゐて、神楽代奏、挑灯相捧申度)(安政四年)巳十一月 鳴海村庄屋弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	六八
送り状之事(伊勢江安米等積送り)(安政四年)巳十一月十六日 尾州鳴海宿、高松田數馬、尾州宮宿栢屋喜七殿他二名	一丁	六八
覚(去辰年陣屋御用米五拾石御弘代上納請取)(安政四年)巳十一月廿日 鳴海陣屋、鳴海村庄屋	一丁	六八
十一月廿八日御弘居米代金取立上納(安政四年)十一月廿八日	五丁	三三
乍恐奉差上候御請書之事(当村下郷次郎太儀借財多出来、風聞有之ニ付、夫々取調申候) 安政四年十一月 鳴海村庄屋下郷保之助他七名、鳴海御陣屋	三丁	六八
乍恐奉願上候御事(格別之御操合ヲ以御金三百兩、来年暮迄拝借)(安政四年)巳十一月 鳴海村惣年寄下郷次郎太他七名、鳴海御陣屋	三丁	六八
覚(御膳米料神納)(安政四年)巳十一月 圓通寺知事、矢口村世話方治郎兵衛	一通	六八
乍恐奉願上候御事(悪米ニ而酒造米等ニ相成不申、式百石之儀、御蔵納被成下候様) (安政四年)巳十一月 鳴海村庄屋下郷保之助他五名、鳴海御陣屋	二丁	六八
乍恐奉願上候御事(傳兵衛、日雇稼渡世四拾人程之肝煎被為御付被下置候様) (安政四年)巳十一月 (鳴海村庄屋弥兵衛) 鳴海御陣屋	二丁	六八

乍恐御達申上候御事(御普請所之儀)(安政四年)巳十一月 鳴海村庄屋弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	六八
村検見見鏡覚(安政四年)巳十一月 鳴海村惣年寄、庄屋	三丁	六八
安政四年巳年御物成廣井於御蔵請取通 安政四年十二月三日 鳴海方代野村司馬三 付、封筒	一通	六八
覚(安米四俵等相渡可申候)(安政四年)巳十二月四日 尾州御定宿、東海道宮宿栢屋喜七、鳴海御庄屋下郷弥兵衛様	一丁	六八
覚(当村)伊勢江奉納御初穂米)(安政四年)巳十二月四日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛、熱田宿栢屋喜七殿	一丁	六八
覚(御陣屋借用金受取)(安政四年)巳十二月十日 庄屋惣代金三郎他一名、下郷幾久太郎殿	一丁	六八
覚(御弘居米代等受取)(安政四年)巳十二月十日 下郷幾久三郎	一丁	六八
覚(巳年御年貢金銀請取)(安政四年)巳十二月十一日 鳴海陣屋、鳴海村庄屋	一通	六八
覚(去辰年村々置米払残之分上納請取) 安政四年十二月廿日 鳴海陣屋、鳴海村庄屋	一通	六八
(明廿一日朝五半時当人可能出候) (安政四年)十二月廿日 鳴海陣屋、鳴海村庄屋	一丁	六八
差出申書付之事(用水溝敷地米) 安政四年十二月 下郷弥兵衛、中井源七殿	一丁	六八
拝借仕金子之事(村方普請要用ニ付拝借) 安政四年十二月 鳴海村拝借主下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋 付、覚	一丁	六八
乍恐以書付御請書奉差上候御事(馬役之者相統筋候付調達金) 安政四年十二月 金子預り惣代鳴海村下郷善右衛門他一名	一丁	六八

借用申金子之事 安政四年十二月 借主水谷万助他三名、有松村七右衛門殿御取次	一丁 二五七
寛(御蔵米上納) (安政四年)已十二月 鳴海村庄屋弥兵衛、御陣屋	一丁 二五五
寛(已)年当村御年貢米之内船積上納分請取) (安政四年)已十二月 鳴海村庄屋弥兵衛、廣井御蔵御役所	一丁 二五八
午恐御達申上候御事(御蔵納上納) (安政四年)已十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁 二五七
(御家中之藏候約之触) (安政四年)十二月 寺社奉行所	三丁 二四〇
借用申金子之事(金子致借用、御年貢御皆済仕候) 安政四年十二月 鳴海村惣年寄下郷次郎太他十一名、服部外郎殿他八名	三丁 二四四
(御勝手向必至御差支ニ付、村々一同御借財引請申上、依之俸銀太郎身分江村由字帶刀差免候) (安政四年)十二月 (地方御勘定奉行衆) 愛知郡鳴海村惣年寄海岸守裁許役下郷次郎太	一丁 二五五
拝借仕金子之事 安政四年十二月 鳴海村惣年寄下郷次郎太他十一名、鳴海御陣屋	二丁 二〇六
(御勝手向必至御差支ニ付、村々一同御借財引請、依之一代切宗門自分一札差免候、苗字帶刀共一代切) (安政四年)十二月 (地方御勘定奉行衆) 愛知郡鳴海村六役庄屋宿村締役下郷保之助	一丁 二〇七
午恐御達申上候御事(苗字御免) (安政四年)已十二月 鳴海村下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁 二〇八
明和四年、安永八、亥年拝借金返納取集一条 (安政四年)已十二月	二丁 二〇六

(御勝手向必至御差支ニ付、村々一同御借財引請、依之一代切帶刀宗門自分一札差免候) (安政四年)十二月 (地方御勘定奉行衆) 愛知郡鳴海村間屋締役庄屋海岸守裁許役加藤平左衛門	一丁 二〇九
(御勝手向必至御差支ニ付、村々一同御借財引請、依之一代切帶刀宗門自分一札差免候) (安政四年)十二月 (地方御勘定奉行衆) 愛知郡鳴海村年寄下郷四郎兵衛	二丁 二〇一
(御勝手向必至御差支ニ付、村々一同御借財引請、依之一代切苗字差免候) (安政四年)十二月 (地方御勘定奉行衆) 愛知郡鳴海村年寄庄屋海岸守裁許役弥兵衛	一丁 二〇三
(枇杷池井領米之儀) (安政四年)十二月晦日 大高村庄屋、鳴海村御庄屋御衆中	一丁 二〇三
寛(已)年当村方御年貢米之内船積、廣井御蔵江相廻申候) (安政四年)已十二月 鳴海村庄屋弥兵衛、堀川船御番所	一丁 二〇四
午恐御達申上候御事(已)年当村御年貢米船積、廣井御蔵江相廻申候) (安政四年)十二月 鳴海村庄屋弥兵衛、廣井御陣屋	一丁 二〇五
(御勝手向必至御差支ニ付、一同御借財引請、依之玄孫代迄五代熨斗目着用差免候) (安政四年)十二月 (地方御勘定奉行衆) 下郷善右衛門	一丁 二〇八
借用申金子之事 安政四年十二月 借主仁左衛門他一名、長三郎殿御取次	一丁 二〇九
寛(去々寅年伝馬新田積金去辰十二月迄元利金) (安政四年)已十二月 金子預り惣代鳴海村下郷善右衛門他一名、鳴海御陣屋	一丁 二〇九
午恐奉願上候御事(当村御年貢御皆済筋江付、下郷善右衛門初、金貳百五拾兩借用) (安政四年)已十二月 鳴海村惣年寄惣代下郷幾久郎他二名、鳴海御陣屋	一丁 二〇三

寛(已)年村方御年貢米船積上納) (安政四年)已十二月 鳴海村庄屋弥兵衛、廣井御蔵、鳴海方御役人衆棟	一丁 二〇三
寛(当村御年貢米廣井御蔵江積居) (安政四年)已十二月 鳴海村庄屋代左衛門、堀川船御番所	一丁 二〇三
午恐奉願上候御事(去已)年御年貢御皆済筋江付、下郷善右衛門初、金貳百五拾兩借用) (安政四年)已十二月 鳴海村惣年寄惣代下郷次郎太他二名、鳴海御陣屋	一丁 二〇四
火消人別 (安政四年)已年、式拾九人	一丁 二〇六
寛(已)米納入用受取) (安政四年) 藏方惣代平長兵衛、下郷弥兵衛	一丁 二〇三
組頭役割 (安政四年)	二丁 二〇一
安政五年御用留頭書 安政五年 鳴海村	一三丁 二〇五
(手越六条砂入絵図面扣) 安政五年二月 愛知郡鳴海村	二枚・一丁 二〇九
寛(納米相渡) (安政五年)三月十一日 米屋惣兵衛、柏木氏	一通 二〇〇
山屋敷御願申上候場所図面(鳴海村持御林字篠之風) 安政五年三月 鳴海村	一丁 二〇五
山屋敷御願申上候場所図面(鳴海村定納山字大形山) 安政五年三月 鳴海村	一丁 二〇六
山屋敷御願申上候場所図面(鳴海村持御林字諸木) 安政五年三月 鳴海村	一丁 二〇七
山屋敷御願申上候場所図面(鳴海村持御林字鍋山) 安政五年三月 鳴海村	一丁 二〇八
御状写、其村山屋敷証文相渡候間、庄屋・組頭、当陣屋江	一丁 二〇九

可罷出候) (安政五年)四月廿六日 御林方陣屋、鳴海村庄屋	二丁 二〇九
山屋敷御証文写(愛知郡鳴海村定納山之内山屋敷之事) 安政五年四月 水權平、右(鳴海)村庄屋	二丁 二〇九
山屋敷御証文写(愛知郡鳴海村御林定納山之内屋敷之事) 安政五年四月 水權平、右(鳴海)村庄屋	二丁 二〇九
(山屋敷御願申上候場所図面・下郷次郎太扣定納山) (安政五年四月) 鳴海村	一丁 二〇七
(山屋敷御願申上候場所図面・下郷次郎太扣定納山) (安政五年四月) 鳴海村	一丁 二〇七
(山屋敷御願申上候場所図面・下郷次郎太扣定納山) (安政五年四月) 鳴海村	一丁 二〇七
牛毛荒井村江渡ス分 (年代未詳)	二丁 二〇二
午恐奉願上候御事(扇川通相原村堤、下中嶋橋迄普請願) (安政五年)年四月 鳴海村庄屋下郷保之介他四名、鳴海御陣屋	一丁 二〇三
午恐奉願上候御事(扇川通砂渡普請) (安政五年)年四月 鳴海村庄屋下郷保之介他四名、鳴海御陣屋	二丁 二〇一
譲渡申候御事(安政五年五月 譲主下郷四郎兵衛他一名、根組町内御衆中) (安政五年)五月十四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁 二〇五
書簡控(当村文吉、御村方惣十江拘り候出入一条) (安政五年)五月廿一日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、小山村庄屋加藤喜三郎様	三丁 二〇九
定式御普請所仕様書写 鳴海村 (安政五年)年五月 御懸り	一丁 二〇四

青山祐四郎様他一名 〔昨十七日夕八ツ時過異国船壹艘横浜村沖合江淀泊〕（安政五年）六月十八日 程ヶ谷宿問屋清太夫（朱筆）「七十六」	二丁	一七〇
覚（無宿盜賊徳太郎初入檻中支度代、番人和吉江相渡候）（安政五年）六月廿四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	一五五
覚（知多郡岩滑村次郎吉入檻中諸入用、番人和吉江相渡申候）（安政五年）六月廿七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	一五六
乍恐御達申上候御事（扇川通定式御普請所之儀）（安政五年）六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	一五七
覚（破牢いたし逃去候大野村無宿盜賊文之助初骨折搦捕候付、番人江褒美相渡申候）（安政五年）六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	一五八
御尋ニ付御達申上候御事（鳴海村天白川内午新出添ニ有之候塞所御尋ニ付取調）（安政五年）六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	一五九
覚（新雨池以雀共入用）（安政五年）六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	一六〇
〔新雨池自普請〕（安政五年）（御勘定奉行衆）鳴海村庄屋・組頭・頭百姓	一通	一六一
質流相渡申居宅之事 安政五年七月 家宅議主兵三郎他一名、坂野濱次郎殿	二丁	一六二
為取替置一札之事（拙者亡夫同姓儀八郎、貴殿江前々取替金數口有之） 安政五年七月 同姓儀八郎、坂野濱次郎、兵三郎殿	二丁	一六三
為取替置一札之事（貴殿御亡父御同姓儀八郎殿、前々御恩	二丁	一六三
借金數口有之） 安政五年七月 当人兵三郎他二名、坂野濱次郎殿	二丁	一七二
乍恐御達旁奉願上候御事（坂野濱次郎亡父同姓儀八郎、兵三郎江懸り候金談出入一條）（安政五年）七月 訴留入坂野義八郎、坂野濱次郎、相手方兵三郎他三名、鳴海御陣屋	一丁	一七三
差出申書付之事（次兵衛儀升右衛門抱奉公人大吉連出候一條） 安政五年七月 本組嘉兵衛他二名、（宛名未詳）	一通	一七四
覚（黒米搗代等）（安政五年）七月八日 締方、御村方庄屋衆中様	一通	一七五
覚（御蔵米）（安政五年）七月十四日 米屋締方、庄屋衆中様	一丁	一七六
覚（納米金）（安政五年）七月十八日 米屋締方、御庄屋衆中様	一丁	一七七
乍恐御達申上候御事（田方之儀大痛相成、畑方之儀も同様大損ニ相成）（安政五年）七月 鳴海村庄屋下郷保之助他四名、鳴海御陣屋	一丁	一七八
差出申一札之事（御林山御締筋之儀ニ付） 安政五年八月 平手新田庄屋清兵衛他一名、鳴海村御庄屋中・御組頭中	二丁	一七九
乍恐御達申上候御事（御林山御締筋之儀ニ付規定） 安政五年八月 鳴海村与頭太兵衛他十名（朱筆）「百四十六」	二丁	一八〇
覚（寺中取調候処施物等無御座候） 安政五年八月 圓明寺	一丁	一八三
覚（去ル卯年大風出水等ニ付施物等無御座候） 安政五年八月 東福院	一丁	一八四
御達申上候御事（去卯年大風雨之節施物等之儀者差出シ不申候）（安政五年）八月 鳴海村神明社人菊田備前	一丁	一八五
覚（去ル卯年大風雨ニ付施物一切不仕候）（安政五年）八月 愛知郡鳴海村誓願寺	一丁	一八五

覚（八拾九歳ニ相成候者無御座候） 安政五年八月 光明寺	一丁	一八六
口上之覚（年八十九歳已上之者無御座候）（安政五年）八月 愛知郡鳴海村高田宗万福寺	一丁	一八七
口上之覚（当寺ニおゐて八十九歳已上之者無御座候）（安政五年）八月 愛知郡鳴海村高田宗万福寺	一丁	一八八
覚（八拾九歳以上之者施物等差出候儀無御座候）（安政五年）八月 成海神社主牧野為太郎	一丁	一八九
〔御年寄渡辺新右衛門様御下リニ付先触〕（安政五年）八月朔日 問屋、庄屋衆様（朱筆）「七十八」	二丁	一九〇
乍恐御達申上候御事（待味之者、当村清助俸光蔵及打擲候ニ付御座）（天保五年）八月二日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名、鳴海御陣屋	二丁	一九一
覚（三州碧海郡高棚村治三郎入檻中諸入用、番人和吉江相渡申候）（安政五年）八月五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	一九二
覚（知多郡桑村勇之助入檻中諸入用、番人和吉江相渡申候）（安政五年）八月六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	一九三
乍恐御願奉申上候御事（浄瑠璃あやつり人形興行仕度）（安政五年）八月 鳴海村藤三郎、鳴海御陣屋（朱筆）「八十二」	一丁	一九四
乍恐御請奉差上候御事（人形興行）（安政五年）八月 鳴海村藤三郎、鳴海御陣屋	一丁	一九五
乍恐御達申上候御事（人形興行）（安政五年）八月十二日 鳴海村藤三郎、鳴海御陣屋	一丁	一九六
〔砂入年數引場所地直出来候哉〕（安政五年）八月十七日 鳴海陣屋、鳴海村庄屋（朱筆）「八十三」	一丁	一九七
覚（鳴海村納米受取手渡ス）（年代未詳）	一丁	一九八
乍恐御達申上候御事（往還道草刈取方）（安政五年）八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	一九九
神澤池自普請取立ニ付御褒美御書付之写 安政五年九月廿日（御代官吉田助次郎他御手代一名）鳴海村庄屋・組頭・頭百姓	一丁	二〇〇
乍恐奉敷願候御事（難法仕候ニ付、当年年々御免相御用捨被成候様）（安政五年）九月 鳴海村六役庄屋兼下郷弥兵衛他九名、鳴海御陣屋	五丁	二〇一
〔酒代金〕（安政五年） 鳴海村	一丁	二〇二
乍恐奉願上候御事（濃州安八郎脇野村医師千葉春庵俸三と申者、私引受当村方江為引越申上度）（安政五年）九月廿四日 愛知郡鳴海村新三郎、鳴海御陣屋	二丁	二〇三
差出申御請一札之事（追放被仰付候孫蔵儀、立掃博奕仕候風聞有之ニ付） 安政五年十月 子や他親類・組合他八名、（鳴海陣屋宛）	二丁	二〇四
乍恐御達旁奉願上候御事（生所御構無宿孫蔵儀、此節立掃博奕仕候風聞有之、吟味仕候）（安政五年）十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他四名、鳴海御陣屋（朱筆）「九十六」	二丁	二〇五
御願申上候御事（御尋之当組彦兵衛儀、行衛相分り不申候）（安政五年）十月八日 彦兵衛親類吉他五名、庄屋中様	一丁	二〇六
〔已年置米三拾式石五斗請取〕（安政五年）十月 鳴海陣屋、右村（鳴海村）庄屋	一通	二〇七
御払居米損勘定（安政五年）十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	二丁	二〇八
覚（白米四石八斗五升、下郷善右衛門、新田人別斗リニ御座候）（安政五年）十月 三組頭善兵衛、庄屋衆様	一丁	二〇九
預リ申頼母子金之事 安政五年十月 預り主山□□丹六他三名	二丁	二一〇

4 万福寺頼母子御連中 (朱筆「百二」)
乍恐御達申上候御事(松平肥前守様御家老鍋嶋周防様、当
取止宿相成、金子及紛失候)(安政五年)午十月廿四日 鳴
海宿間屋秋之介他二名、鳴海御陣屋 (朱筆「百四」)
御差紙写(鳴海宿間屋他召換)(安政五年)十一月六日 鳴海陣
屋、鳴海村庄屋 (朱筆「百五」)
乍恐御請書之事(盜難届)(安政五年)午十一月 鳴海村十兵衛
、鳴海御陣屋
乍恐御達申上候御事(当村御年貢米船積廣井御蔵江相廻申
候)(安政五年)午十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋
覚(当村御年貢米廣井御蔵江積届)(安政五年)午十一月 鳴海
村庄屋下郷弥兵衛、堀川船御番所
乍恐御達申上候御事(当村御年貢船積、廣井御蔵江相廻申
候)(安政五年)午十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋
乍恐御達申上候御事(当村御年貢船積、廣井御蔵江相廻申
候)(安政五年)午十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋
乍恐奉願上候御事(旧冬御年貢御皆済筋江付、拜借金奉願
上候処、残金之儀ハ今老ケ年御年延被成下置様)(安政五
年)午十一月 鳴海村惣年寄下郷次郎太他七名、鳴海御陣屋
(朱筆「百九」)
覚(馬賃銭刳銭利金請取)(安政五年)十二月 鳴海陣屋、鳴海
村庄屋 (朱筆「百十九」)
拜借仕金子之事(安政五年)十二月 鳴海村惣年寄下郷次郎太他十
一名、鳴海御陣屋
借用中金子之事(安政五年)十二月 与頭惣代与之八他十一名、下
郷善右衛門殿他八名

乍恐御達申上候御事(盜難届)(安政五年)午十二月朔日 鳴海
村新三郎、鳴海御陣屋 (朱筆「百三十一」)
請取申午年間屋料米之事(安政五年)十二月 鳴海宿間屋秋之介
他四名、今川要作様 (朱筆「百三十五」)
請取申御伝馬人足御縫飛脚米之事(安政五年)十二月 鳴海宿
間屋秋之介他五名、今川要作様
覚(村方御年貢米上納)(安政五年)午十二月 鳴海村庄屋下郷
弥兵衛、廣井御蔵江、鳴海方御役人衆様
覚(当村御年貢米之内廿八石五斗積戻)(安政五年)午十二月
鳴海村庄屋下郷弥兵衛、堀川船御番所
〔京都〕江戶表迄御差下囚人・御差添京都町御奉行所御与
力・御同心御通行ニ付先触)(安政五年)午十二月 鳴海宿
間屋平右衛門、鳴海御陣屋 (朱筆「百三十六」)
覚(宿内緒筋ニ付被仰渡候ケ條書請書)(安政五年)午
乍恐御達奉申上候御事(盜難届)(安政五年)午
乍恐御達申上候御事(安政式卯秋大水高汐江付施物之品々
御改)(安政五年)午
〔松伐取願断簡〕(安政五年)午(鳴海)惣年寄下郷次郎太他十名
、御林方御陣屋、付、仮表紙
万 延
乍恐御達申上候御事(当村枝郷前之庵与頭源七儀退役)(万
延元年)申三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋
〔酒他所積之儀ニ付触〕(万延元年)十二月十八日 三喜右衛
門、別紙村々庄屋

文 久

〔綿油他所売差留之触〕(文久元年)二月十八日 鳴海陣屋、
別紙村々庄屋
乍恐御達申上候御事(鳴海宿嘉兵衛娘きぬ他二名、名古屋
御救小屋ニ罷在候)(文久元年)五月廿七日 鳴海村庄屋下郷
弥兵衛、鳴海御陣屋
〔御城下江登子又ハ懸り人相成居候者共人数名前取調可申
達候)(文久元年)六月
乍恐御達申上候御事(当村諏訪社祭礼ニ付、挑灯差遣、湯
立神楽申度)(文久元年)西七月廿五日 鳴海村下郷弥兵衛
、鳴海御陣屋
乍恐御達申上候御事(大風雨ニ而損所并倒木出来仕候ニ付、
御見分之上御普請仕度)(文久元年)西八月六日 鳴海村庄屋
下郷弥兵衛、往還方御役所
質流永代護渡家屋敷土蔵裏座敷之事(文久二年)四月 譲り主
丸屋助九郎他二名、成田又九郎殿御取次
讓渡申敷地米之事(文久二年)五月 譲り主小組甚吉他一名、坂
野三右衛門殿御取次 (朱筆「二印」「三印」)
〔若年寄平岡丹波守殿明日十日鳴海通行之管候間、作法克非
礼之儀無之、無手拔様可相心得候)(文久二年)八月九日
金(森)五郎兵衛、鳴海村四ヶ村庄屋
乍恐奉願上候御事(私代之通知一郎江年頭御目見被為仰付、
宗門自分一札帶刀苗字共御免被成下置候様)(文久二年)
戊辰八月 鳴海村(御勘定所油御用達)服部外八郎、鳴海御陣屋
乍恐奉願上候御事(御上洛ニ付、手越川通り浚御普請)(文

久二年)戌九月 鳴海村庄屋下郷惣太郎他二名、鳴海御陣屋
乍恐御達申上候御事(御上洛御用ニ付、飼葉・大豆・草鞋
・馬沓・縄、村内ニ匿置)(文久二年)戌十月 鳴海村庄屋惣
代下郷次郎左衛門他一名、鳴海御陣屋
乍恐御達申上候御事(養父勝蔵跡相統一件)
(文久二年)戌十一月 鳴海村前之庵分勝四郎他九名、鳴海御陣屋
乍恐御達申上候御事(下郷次郎八方、殿様御
成之節諸費用)(文久二年)
覚(守刀等紛失届)(文久三年)正月三日 白金御附役
御触書之写(別紙之趣其村々修験江不洩様可申通辞候)(文
久三年)正月十六日 半小兵衛、別紙村々庄屋
乍恐御達申上候御事(当村氏神八幡宮詫宣ニ付、氏子中、
挑灯相持申度)(文久三年)亥正月十七日 鳴海村庄屋下郷弥
兵衛他一名、鳴海御陣屋
乍恐御達申上候御事(上有知御支配所おいて椿木苗植付方
之儀)(文久三年)亥正月 愛知郡鳴海村庄屋加藤平左衛門他一
名、鳴海御陣屋
乍恐御請書奉差上候御事(当村下郷善右衛門、質商完讓請
之儀)(文久三年)亥正月 鳴海村周右衛門、鳴海御陣屋
乍恐奉願上候御事(質屋職、当村周右衛門江讓渡申度)(文
久三年)亥正月 鳴海村下郷善右衛門、鳴海御陣屋
乍恐奉願上候御事(質屋職此度江讓渡受)(文久三年)亥正月
鳴海村周右衛門、鳴海御陣屋
乍恐御達申上候御事(有増地直出来ニ付、御年貢可相勧筈)
(文久三年)亥正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋
乍恐御達申上候御事(御普請所之儀)(文久三年)亥正月 鳴

様

村庄屋下郷弥兵衛ゝ鳴海御陣屋

一丁 八七五

(地方御勘定奉行衆) 愛知郡鳴海村下郷次郎太

衆中様

乍恐御達申上候御事(当村林左衛門病氣ニ付、上州草津江為湯治相越申度)(文久三年)亥六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	六三
借用申金子之事 文久三年六月 金子借用主永井松右衛門他一名	一丁	六四
荒木屋良助殿御取次		
借用申金子之事 文久三年六月 金子借用主永井松右衛門他一名	一丁	六五
荒木屋良助殿御取次		
(御預ケ之鉄鉋之儀、決而相試等之儀致間敷候)(文 一枚・一通 久三年)六月三日 鳴海陣屋、海岸守裁許役初鳴海・相原庄屋	一丁	六七
(時千代様御卒去ニ付、鳴物者今日より三日停止)(文久三年)六月八日		
(別紙之通相触候様、寺社奉行衆・御勘定奉行衆被申間候条)	一丁	六八
(文久三年)六月九日 半小兵衛、別紙村々庄屋		
(戸部・笠寺、天王神流之節、神迎として相越間敷候)	一丁	六九
(文久三年)亥六月十日 半小兵衛、鳴海村他、村庄屋		
書簡控(人撰之内番掛村甚兵衛儀病氣足痛)(文久三年)六月十二日 下郷弥兵衛、中根八郎様	一丁	七〇
乍恐御達申上候御事(酒造商売向要用ニ付、江戸表江罷下、昨日帰着)(文久三年)亥六月廿七日 鳴海村寺嶋嘉平、鳴海御陣屋	一丁	七一
乍恐御達申上候御事(当村天白川扇川両川ニ有之堤上ニ雉本小右衛門方物置有之処、手狭ニ付)(文久三年)亥六月鳴海村庄屋下郷弥兵衛、御普請方御役所	一丁	七二
乍恐御達申上候御事(当村如意寺境内金毘羅神前ニおゐて、掃燈灯神案を奏申度)(文久三年)亥六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	七三

乍恐奉願上候御事(古手屋締役之儀、当村野村善兵衛跡役、与頭傳七江被仰付下置候様)(文久三年)亥六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	六二
(鳴海村服部知八郎隠居之儀承届)(文久三年)亥六月	一丁	六三
乍恐奉願上候御事(米四拾五俵・餅米五俵、知多郡樽見村久蔵江完払)(文久三年)亥六月 鳴海村清三郎、鳴海御陣屋	一丁	六四
乍恐以書付奉申上候(水野権平様御屋敷江罷出候一件)(文久三年)亥六月 鳴海村下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	三丁	四七
差出申一札之事(猿尾堤内江物置場取建ニ付一札) 文久三年七月 牛毛荒井村雄本東太夫他二名、鳴海村御庄屋下郷弥兵衛他二名	三丁	六六
御請書(御陣屋修復) 文久三年七月 下組大工小七他一名、下郷弥兵衛殿他一名	一丁	六八
(米穀等出津留、背之者有之旨申出候ハ、早速可訴出候)	一丁	六九
(文久三年)亥七月十一日 鳴海陣屋、別紙村々庄屋		
(其村々堤江出立候竹木并茨高草共刈取掃除取懸リ、八月十五日迄ニ出来堤、書付を以可申出候)(文久三年)七月廿六日 御普請方役所、別紙村々庄屋	一丁	七三
覚(男老入当宿東端ニて追放)(文久三年)亥七月廿七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、町御奉行所	一丁	七四
乍恐御達申上候御事(当村東福院儀金錢紛失)(文久三年)亥七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一通	七五
御達申上候事(盜難届)(文久三年)亥七月 鳴海村東福院、寺社御奉行所	一丁	七六
乍恐御達申上候御事(当村諏訪大明神祭礼ニ付、神祭式執行申度)(文久三年)亥七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴	一丁	七八

海御陣屋

乍恐御達申上候御事(鳴海村助左衛門他三名、米糖買入候儀ニ付、町奉行所江呼出)(文久三年)亥七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	八三
覚(異国致交易候族可加天誅者也) 文久三年八月 浪土政所讓渡申屋敷地之事 文久三年八月 屋敷讓主村部屋三蔵他一名、久野為吉殿	一丁	八四
亥春不時御普請所配賦 文久三年八月 半小兵衛借用申金子之事 文久三年八月 庄屋惣代下郷録太郎他一名、久野為吉殿	一丁	八五
質流讓渡申田地之事 文久三年八月 讓主相組太左衛門他二名、下郷善右衛門殿	一丁	八六
(正木宗兵衛儀岐皇奉行被仰付候)(文久三年)八月七日 御普請方、(鳴海村他)	一丁	八七
(与頭中ニ者宿内掃除火之元入念候様)(文久三年)八月九日 庄屋所、下郷右衛門八殿他十一名	一通	八八
覚(御蔵米)(文久三年)亥八月九日 米屋中	一丁	八九
乍恐御達申上候御事(当村八幡宮例祭執行仕度)(文久三年)亥八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	九〇
乍恐御達申上候御事(改名)(文久三年)亥八月 鳴海村良右衛門事小島長作、鳴海御陣屋	一丁	九一
乍恐御達奉申上候御事(盜難届)(文久三年)亥八月 鳴海村中嶋町助九郎、鳴海御陣屋	二丁	九二
生所書之事(鈴木春之丞様御百姓愛知郡部田村清左 一丁・一通 八〇)	一丁	九三

乍恐奉願上候御事(五穀豊熟為祈念之来月朔日私共引受ニ而寄相撲為致申度)(文久三年)亥八月 鳴海村前之庵吉蔵他三名、鳴海御陣屋	一丁	八八
口演(来月九月朔日、当所八幡森ニおいて花角力興行仕候間、御光来之程奉待上候)(文久三年)八月 世話人・取持・頭取・前之庵勸進元花車吉蔵(端裏書) 下郷弥兵衛様	木版一通	八九
乍恐御達申上候御事(当村神明宮祭礼之儀神祭式執行仕度)(文久三年)亥八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	九〇
乍恐御達申上候御事(当村八幡宮祭礼ニ付、挑灯相撲、湯立神楽奉し申度)(文久三年)亥八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	九一
(穢多并惣内手下之者共衣類等規制)(文久三年)八月	一丁	九二
乍恐奉願上候御事(私扣字中根松木三百本拔伐仕度)(文久三年)亥八月 鳴海村坂野三右衛門、鳴海御陣屋	一丁	九三
乍恐御達申上候御事(盜難届)(文久三年)亥八月 鳴海村市蔵、海(村)庄屋下郷弥兵衛、町御奉行所	二丁	九四
乍恐御達申上候御事(当村手越川通不時御普請浚取懸リ申度)(文久三年)亥八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	九五
乍恐奉願上候御事(扇川通御浚願)(文久三年)亥八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	二丁	九六
(静姫様御名御改、理性院様御忌日ニ付寺社奉行所より触)(文久三年)九月三日 鳴海陣屋、村々庄屋	二丁	九七
(御陣屋銃跡人別)(文久三年)亥九月四日 下郷弥兵衛、(鳴海	一丁	九八

陣屋宛々	一丁	六三
覚(御生魚桶煮ツ、旧臘前大納言様御上国江付御出取之節、御宿ニ相残居不申哉御尋) (文久三年)亥九月八日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御方堀方堀川勇二郎様他一名	一丁	六六
〔村々之者共願達筋等ニ付陣屋江罷出候節、郷宿ニて休泊等いたし可申届候〕 (文久三年)九月十三日 鳴海陣屋別紙村々庄屋	一丁	六六
覚(御蔵米) (文久三年)亥九月十七日 米屋中	一丁	六〇
乍恐奉願上候御事(当村番人和吉因窮為助成、私共引請、相撲興行為仕度) (文久三年)亥九月 鳴海村引受人徳右衛門他一名鳴海御陣屋	一丁	六五
乍恐奉願上候御事(当村番人和吉因窮ニ付為助成、私共引請、寄角力興行為仕度) (文久三年)亥九月 鳴海村引受人徳右衛門他一名鳴海御陣屋	一丁	六六
口上(米ル八日鳴海浅間堂おるて花相撲興行為仕候間、御見物御来駕之程奉待上候) (文久三年)九月 頭取宮川庄七・清見山辰三郎・君々源佐之石エ門/作町若イ者・中老・惣世話人中・惣相撲中・ナルミ勲進元和吉	一丁	六七
乍恐奉願上候御事(私儀農間筆墨紙蠟燭等商売仕候処、御役所御用達被仰付候様) (文久三年)亥九月 鳴海村鈔之介・鳴海御陣屋	一丁	六八
乍恐奉願上候御事(私所持酒造米石高貳百五拾石、同村下郷次郎左衛門江譲り渡申度) (文久三年)亥九月 鳴海(村)下郷善右衛門・鳴海御陣屋	一丁	六三
乍恐奉願上候御事(下郷善右衛門所持酒造米石高貳百五拾石、私江譲り請申度) (文久三年)亥九月 鳴海村下郷次郎左	一丁	六六
御預中蔵物之事 文久三年十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名御林方御陣屋	二丁	六六
乍恐奉願上候御事(當時宿村御用多必至難決ニ付、上納之儀者御赦免被成下) (文久三年)亥九月 鳴海村下郷善右衛門他一名鳴海御陣屋	二丁	六三
〔其村当御年貢米之儀、知多郡御払居取扱人共々先納金差出候趣) (文久三年)亥九月 鳴海村	二通	六三
御預り中山賊之事(鳴海村百姓三名、御林江入込松背伐仕候) 文久三年十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名御林方御陣屋	一丁	六三
御預中蔵物之事 文久三年十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名御林方御陣屋	二丁	六六
乍恐奉願上候御事(当宿元本陣西尾伊右衛門扣ニ御座候所、替地被仰付被下置候様) 文久三年十月 愛知郡鳴海村庄屋	二丁	六六
乍恐御達申上候御事(当村浅間堂神事ニ付、湯立神楽を奏、組々挑灯相捧申度) (文久三年)亥九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御陣屋	一丁	六三
〔此元堂上方并浪人駄之者ニ決而取合申間敷候、若心得違一味いたし候へ者朝敵と相成重罪を蒙り候) (文久三年)九月	一丁	六三
〔出張御用守馬医名前) (文久三年)九月	一丁	六三
覚(船業いたし候者人数取調) (文久三年)亥九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋	二丁	六九
〔当月十三日上使を以、大納言様御願之通御隠居被仰出) (文久三年)九月 寺社奉行所(鳴海陣屋宛々)	一丁	六三
〔大納言様御願之通御隠居、元千代様江御家督被仰出候) (文久三年)九月 寺社奉行所	三丁	六三
乍恐奉願上候御事(當時宿村御用多必至難決ニ付、上納之儀者御赦免被成下) (文久三年)亥九月 鳴海村下郷善右衛門他一名鳴海御陣屋	二丁	六三

下郷弥兵衛他二名御林方御陣屋	一丁	六六
覚(敷地米) 文久三年十月 鳴海村下郷弥兵衛他二名千秋加賀守様御役人衆中	一丁	六三
御預り申松割木之事 文久三年十月 愛知郡鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名御林方御陣屋	一丁	六三
〔村々之内持合罷在候具足并弓鉄砲刀剣類等、方今之時勢ニ付、他領江渡候儀者差留候間) (文久三年)十月七日 鳴海陣屋別紙村々庄屋	一丁	六四
〔木灰之儀、硝石製造必用之品柄ニ付、当分之内他所差留候) (文久三年)十月七日 鳴海陣屋別紙村々庄屋	一丁	六五
覚(御囲米御払代請取) (文久三年)亥十月十七日 鳴海陣屋別紙村々庄屋	一通	六六
鳴海村庄屋	一丁	六七
〔亥九月十五日入十月八日まで、鳴海村みか入鑑費用) (文久三年)亥十月 鑑番和吉	一丁	六七
乍恐奉願上候御事(春麦、知多郡横須賀町方与助江壳渡候) (文久三年)亥十月 鳴海村助右衛門・鳴海御陣屋	一丁	六九
乍恐奉願上候御事(御伏替願) (文久三年)亥十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋	二丁	六三
鳴海村車地橋両橋合丸石垣 (文久三年)亥十月 何村誰々往還方	三丁	六五
愛知郡鳴海村亥秋定式御普請所配賦 文久三年十一月 半小兵衛右(鳴海)村庄屋・組頭	一丁	六六
永々譲渡申家屋敷之事 文久三年十一月 譲り主儀助他四名助蔵殿	二丁	六六
借用申金子之事(当亥年村請御払居米上納入用ニ付借用) 文久三年十一月 庄屋惣代下郷次郎他三名下郷善右衛門殿	一丁	六六
〔亥年分請取) 文久三年十一月 鳴海陣屋・鳴海村	一通	六五
乍恐御達奉申上候御事(盜難届) (文久三年)亥十一月十日 鳴海村津屋榮助他一名鳴海御陣屋	二丁	六四
〔当亥年酒造江付、別紙之通、他所米買入等御締筋之儀被仰渡候) (文久三年)亥十一月十四日 庄屋所寺鳴嘉平殿他五名	一丁	六六
〔近米生糸之儀交易筋江付、追々高値ニ相成難決之者も不少哉) (文久三年)十一月十七日 鳴海陣屋別紙村々庄屋	一丁	六五
〔吟味之訳有之、当分之内材木出津差留候) (文久三年)十一月十九日 鳴海陣屋別紙村々庄屋	一丁	六五
〔当亥年定金納・餅米等御直段如斯、米ル廿九日可致上納候) (文久三年)十一月廿五日 鳴海陣屋・鳴海・嶋田庄屋 付、書簡	一丁・二通	六三
覚(蔵入用) (文久三年)亥十一月廿九日 蔵方清右衛門他二名下郷弥兵衛様	一通	六六
〔当年酒造之儀ニ付触) (文久三年)十一月 半小兵衛・村々庄屋	三丁	六三
乍恐御請書之事(当亥年酒造五分造之内式分五厘ハ他所買入米を以造立候筈) (文久三年)亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御陣屋	一丁	六三
覚(楮苗式千本受取) (文久三年)亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋	一丁	六四
〔當時米穀初諸色高直之折柄、万物可成丈御国内ニ潤沢為致度) (文久三年)十一月	一丁	六五
乍恐御達申上候御事(加藤平左衛門儀、去々酉年御臺様御下向之節、濃州大瀧宿おるて不調法之節有之、押籠)	一丁	六六

〔文久三年〕亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋	一丁	六〇
乍恐御達申上候御事〔当村手越川不時御普請之儀〕〔文久三年〕亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋	一丁	六〇
乍恐演舌書之覚〔南柴田新田外海辺新開之儀〕〔文久三年〕亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他五名・鳴海御役所〔金巻〕六十式	三丁	六〇
覚〔当村文左衛門取懸入りか入鑑中入用取立、番人吉江相渡〕〔文久三年〕亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋	一丁	六〇
乍恐奉願上候御事〔当村御年貢米之儀〕〔文久三年〕亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋	一丁	六〇
乍恐御達申上候御事〔当村御年貢米御蔵納〕〔文久三年〕亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋	一丁	六〇
乍恐奉願上候御事〔米品至而悪敷御私居米、引受人無御座候ニ付、知多郡人別引受、御私居米之外御蔵納取斗申度〕〔文久三年〕亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋	一丁	六〇
乍恐奉願上候御事〔私所持酒造米石高三百貳拾貳石八斗、知多郡有脇村神谷惣助江譲り申度〕〔文久三年〕亥十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋	二丁	六〇
覚〔納米〕〔文久三年〕亥十一月 鳴海村庄屋助蔵・鳴海御陣屋	一丁	六〇
覚〔納米〕〔文久三年〕亥十一月 鳴海村庄屋助蔵・鳴海御陣屋	一丁	六〇
覚〔納米〕〔文久三年〕亥十一月 鳴海村庄屋助蔵・鳴海御陣屋	一丁	六〇
覚〔納米〕〔文久三年〕亥十一月 鳴海村庄屋助蔵・鳴海御陣屋	一丁	六〇
借用申金子之事 文久三年十二月 金子借主鳴海村下郷保之介他四名・高麗屋新三郎殿	二丁	六〇
寺院御法度之条々・社家御法度之条々 文久三年十二月 小池良次郎・竹中彦左衛門	一六丁	六〇

批把池井領〔并料米請取〕 文久三年十二月 大高村庄屋山口繁松他一名・下郷弥兵衛採	一丁	二六
奉公人請状之事〔愛知郡鳴田村源八娘こま〕 文久三年十二月 鳴田村奉公人親源八他一名・下郷弥兵衛殿	一丁	二六
奉公人請状之事〔愛知郡八事村清助〕 文久三年十二月 八事村引受人利兵衛他二名・下郷弥兵衛殿	一丁	二六
質流渡渡申地所之事 文久三年十二月 地所讓主平左衛門跡目実太郎他六名・山口吉左衛門殿	二丁	六〇
奉公人請状之事〔娘きぬ当亥拾七歳、当冬御年貢ニ差詰、巷ヶ年御奉公ニ差出〕 文久三年十二月 相原村奉公人親政右衛門他一名・下郷弥兵衛殿	一丁	六〇
覚〔当亥年人馬賃銭別銭利金請取〕 文久三年十二月 鳴海陣屋・鳴海村庄屋	一通	六〇
乍恐御請書奉差上候御事〔宿方馬役之者相統筋〕 文久三年十二月 金子預り惣代鳴海村下郷弥兵衛他一名・鳴海御陣屋	一丁	六〇
覚〔佐馬新田積金〕 文久三年十二月 金子預り惣代鳴海村下郷弥兵衛他一名・鳴海御陣屋	一丁	六〇
善右衛門他一名・鳴海御陣屋	一丁	六〇
拜借仕御金之事〔当亥年村方引受御私居米代上納入用ニ付、奉願上拜借〕 文久三年十二月 拜借主鳴海村庄屋惣代下郷弥兵衛他四名・鳴海御陣屋	一丁	六〇
〔出張御用守馬医・馬医締方申付候〕 〔文久三年〕十二月七日 鳴海陣屋・別紙村々庄屋	三丁	六〇
覚〔入鑑中諸入用、番人吉江相渡〕 〔文久三年〕亥十二月八日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋	一通	六〇
覚〔取立直段両ニ四斗五升替〕 〔文久三年〕亥十二月九日 庄屋御触書之事〔取立直段両ニ四斗七升替〕 〔文久三年〕亥十二月	一丁	六〇

廿一日 地方役場

〔江戸表江越下候御国産物稀無之品、伊勢屋藤左衛門儀取締役申付相成〕 〔文久三年〕十二月廿二日 鳴海陣屋・別紙村々庄屋	一丁	六〇
〔下郷善右衛門他五名所持酒造米内訳〕 〔文久三年〕亥十二月 乍恐御達申上候御事〔千賀与八郎様御家来伊奈伴蔵殿御越之節継立入足〕 〔文久三年〕亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御役所	三丁	六〇
〔出火之時、遠見所おゐて太鼓半鐘打方〕 〔文久三年〕十二月 鳴海陣屋・別紙村々庄屋	三丁	六〇
乍恐奉願上候御事〔当村百姓扣定納山透伐等之儀〕 〔文久三年〕亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋	一丁	六〇
乍恐奉願上候御事〔当村百姓自分扣定納山にて透伐枝下仕度〕 〔文久三年〕亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・御林方御陣屋	一丁	六〇
乍恐御達申上候御事〔御産物較下地木綿御改ニ付、有松村・御陣屋へ差出候願書写〕 〔文久三年〕亥十二月 有松村紋取締役竹口左兵衛他三名・鳴海御陣屋	二丁	六〇
乍恐奉差上御請書之事〔酒造屋人別之者共銘々困米俵書上〕 〔文久三年〕亥十二月 大行下郷善右衛門他五名	四丁	六〇
乍恐御達申上候御事〔被官百姓豊助失火届〕 〔文久三年〕亥十二月 下郷次郎太・鳴海御陣屋	一丁	六〇
乍恐御達申上候御事〔傳七儀清右衛門与改名〕 〔文久三年〕亥十二月 鳴海村組頭古手屋緒傳七事清右衛門・鳴海御陣屋	一丁	六〇
乍恐奉願上候御事〔元千代様被為遊御家督候ニ付、御祝儀献上仕度〕 〔文久三年〕亥十二月 鳴海村西尾藤八・鳴海御陣屋	一丁	六〇

覚〔亥年分請取〕 〔文久三年〕十二月 鳴海陣屋・鳴海村庄屋	一通	六〇
覚〔当亥年御年貢御私居代金請取〕 〔文久三年〕亥十二月 鳴海陣屋・鳴海村	一通	六〇
乍恐奉願上候御事〔当村伊左衛門初三人之者共御林江入込不埒之筋御吟味〕 〔文久三年〕亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名・御林方御陣屋	二丁	六〇
乍恐御數願奉申上候御事〔当村伊左衛門初三人之者共御林江入込不埒之筋御吟味〕 〔文久三年〕亥十二月 鳴海村組頭全左衛門他二名・御林方御陣屋	二丁	六〇
乍恐奉願上候御事〔当村持分百姓扣定納山綿筋且猪鹿為防番小舎取建方之儀〕 〔文久三年〕亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛・鳴海御陣屋	二丁	六〇
〔御年貢米請取〕 〔文久三年〕亥十二月 鳴海陣屋・鳴海村	四通	六〇
亥年免割目録 〔文久三年〕	二丁	六〇
亥年免割目録 〔文久三年〕	二丁	六〇
鳴海村・南野村立合〔以・欄修繕費、人足代〕 〔文久三年〕	四丁	六〇
御預り申背伐株之事〔当村持分不入御林并御林之内背伐〕 〔文久三年〕	一丁	六〇
口上之覚〔相組次郎右衛門より借財賦立之留記〕 〔文久三年〕	三丁	六〇
乍恐奉願上候御事〔貢加金〕 〔文久三年〕 相原村庄屋小三郎・鳴海御陣屋	八丁	六〇
讀渡申畑地之事〔故治助儀、地方支配數年出精之勤功ニ依り、今般讀渡〕 文久四年正月 下郷次郎太他一名・平組治助殿	三丁	六〇

元治

〔此度入納言様御附大奥女中之内ニ御男子様御誕生被遊候〕	一丁	九五
〔元治元年〕正月十八日 鳴海陣屋ノ別村々庄屋		
〔田地起返ニ付違写〕 〔元治元年〕正月廿一日 鳴海陣屋ノ鳴海村初庄屋	一丁	九五
乍恐御達申上候御事〔寺嶋嘉平・下郷周兵衛改名〕 〔元治元年〕子正月 鳴海村寺嶋嘉兵衛・下郷清兵衛ノ鳴海御陣屋	一丁	九五
乍恐奉願上候御事〔今般依台命御上京、其上西国筋江可被為遊御出陣、右等之御軍費〕 〔元治元年〕子正月 右村々惣代下郷弥兵衛他三名ノ鳴海御陣屋	二丁	一〇四
〔石川甚威御普請奉行被仰付候〕 〔元治元年〕二月十四日 往還方役所ノ別紙村々庄屋	一丁	九〇
覚〔下郷次郎左衛門方江取集候銅葉〕 〔元治元年〕二月十九日	三丁	九八
乍恐御達奉申上候御事〔借用金取落候〕 〔元治元年〕子二月	二丁	九七
鳴海村根古屋町吉五郎ノ鳴海御陣屋		
乍恐奉願上候御事〔山屋敷御振替〕 〔元治元年〕子二月 鳴海村願主下郷次郎太他一名ノ御村方御陣屋	一丁	九六
乍恐御達奉申上候御事〔盜難屈〕 〔元治元年〕子二月 鳴海村洗物屋彦右衛門ノ鳴海村御陣屋	一丁	九三
御歎願申上候口上之覚〔質屋職之儀〕 〔元治元年〕子二月 質屋職締役成田又九郎他十二名ノ御庄屋衆中	五丁	九三
〔銅唐金并鍋釜鉄漬類賈廻り他所売いたし候者有之哉〕 〔元治元年〕二月 寺社奉行所	一丁	九元
乍恐奉願上候御事〔越中国佐右衛門私引受 当村江引越百姓	二丁	一〇四

為成立申度)	(元治元年)子二月	愛知郡鳴海村与平治、鳴海御陣屋	三丁	一〇〇〇
乍恐奉願上候御事(当村字朝日出江引越申度)	(元治元年)子二月	鳴海村相組分善七、鳴海御陣屋	一丁	一〇〇六
乍恐奉願上候御事(京都七条屋張屋喜藏所迄罷登申度)	(元治元年)子二月	鳴海村海岸裁許添役西尾藤八、鳴海御陣屋	一丁	一〇〇六
預り申頼母子金子之事	元治元年三月	下郷弥兵衛、品川氏繁榮講御連中	一通	二〇〇九
写(此度神奈川表江英国軍艦渡來重大之事件書翰を以申立)	(元治元年)三月四日		一丁	九六五
(別紙之通支配所寺社之繋江相触之候様、寺社奉行衆より触)	(元治元年)三月	鳴海陣屋、別紙村々庄屋	二丁	九六四
乍恐奉願上候御事(山屋敷)	(元治元年)三月	鳴海村庄屋下郷保之介他二名、御林方御陣屋	二丁	九六六
御触写(万物直段當時稀成高価相成)	(元治元年)三月		三丁	九六二
覚(扇川敷下渡)	(元治元年)子三月	相原村庄屋、鳴海御庄屋衆中棟	一丁	一〇〇二
差上申一札之事(定納山之内ニ番小屋取建申度)	元治元年四月		一丁	一〇〇〇
月	鳴海村庄屋代組頭長兵衛、御林方御陣屋		一通	九五五
覚(御寄附受納)	(元治元年)四月九日	八事山納所、下郷弥兵衛様他一名	一丁	九六八
覚(知多郡長草村松左衛門入櫓中諸入用、番人和吉江相渡)	(元治元年)子四月十三日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	九六九
乍恐御達申上候御事(此頃照込ニて氏神江雨天祈禱仕候)	(元治元年)子四月十七日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	九六九
覚(無稻彦次郎初入櫓中支度代、番人和吉江相渡)	(元治元		一丁	九六九

鳴海村庄屋文書

年)子四月廿日	下郷弥兵衛 ^ノ 鳴海御陣屋	
御尋ニ付	乍恐御達申上候御事(郷宿・商人宿)	(元治元年)子
四月	右(鳴海)村庄屋下郷次郎左衛門他一名 ^ノ 鳴海御陣屋	
乍恐御達申上候御事(盜難届)	(元治元年)子四月	鳴海村前之
庵分組頭理太郎 ^ノ 鳴海御陣屋		
乍恐御願奉申上候事(古手商売御鑑札頂戴仕度)	(元治元年)	
子四月	鳴海村ヨ組作藏他十六名 ^ノ (鳴海陣屋宛カ)	
奉差上候一札之事(私父弥右衛門儀御屋敷様御馬方御仲間		
衆与不斗取合之筋出来候)	元治元年五月	鳴海村前之庵分
弥左衛門 ^ノ 志水甲斐御役人衆中様		
乍恐御達申上候御事(拾得物届)	(元治元年)子五月	鳴海村民
藏 ^ノ 鳴海御陣屋		
乍恐御請書奉差上候御事(古手商売御鑑札頂戴仕)	(元治元	
年)子五月	鳴海村周右衛門他十七名 ^ノ 鳴海御陣屋	
(御葉國人参売弘所被申付候ニ付御届)	(元治元年)子五月	
鳴海村茂十郎 ^ノ (鳴海村庄屋下郷弥兵衛宛カ)		
差出申一札之事(渡世元手金借用)	元治元年六月	大津屋源
八他二名 ^ノ 大津屋仁兵衛殿		
借用申金子之事	元治元年六月	金子借用主大津屋茂十郎他二
名 ^ノ 小口屋清右衛門殿		
差出申一札之事(私庶兄源八成立筋之儀ニ付)	元治元年六月	
大津屋伊兵衛他一名 ^ノ 下郷弥兵衛殿他二名		
(地方御勘定奉行衆よりの触)	(元治元年)六月十八日	鳴海陣
屋 ^ノ 別紙村々庄屋		
賞(御蔵米)	(元治元年)子六月廿二日	米屋中 ^ノ 御村方庄屋衆中
乍恐御達申上候御事(当村東宮大明神身曾賣被)	(元治元年)	

六月廿九日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	九九
乍恐奉願上候御事(菜種三拾俵、知多郡樽水村常三郎江壳渡)	(元治元年)子六月 鳴海村清三郎、鳴海御陣屋	一丁	一〇〇
乍恐奉差上候御詣書之事(私儀村方三藏、質屋職讓受)	(元治元年)子六月 鳴海村庄兵衛、鳴海御陣屋	一丁	一〇〇
乍恐奉願上候御事(金子紛失)	(元治元年)子六月 鳴海村吉五郎、鳴海御陣屋	二丁	一〇〇
乍恐奉願上候御事(同村庄兵衛江質屋職讓渡申度)	(元治元年)子六月 鳴海村三藏、鳴海御陣屋	一丁	一〇〇
乍恐奉願上候御事(同村三藏より質屋職讓受)	(元治元年)子六月 鳴海村庄兵衛、鳴海御陣屋	一丁	一〇一
乍恐奉願上候御事(当村持分天白川通橋上下堤内方江近年生松繁茂仕、田方差障相成)	(元治元年)子六月 鳴海村下郷弥兵衛、御普請方御役所	一丁	一〇二
乍恐御達申上候御事(盜難届)	(元治元年)子六月 鳴海村卯兵衛、鳴海御陣屋	一丁	一〇三
奉公人請狀之事(娘はま乳母奉公)	元治元年七月 三州碧海郡深間村奉公人親茂七他二名、下郷弥兵衛殿	一丁	一〇四
覚(乙川村文次郎入檻中諸入用、番人和吉江相渡)	(元治元年)子七月十一日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	一〇五
乍恐御達申上候御事(氏神江雨乞祈禱)	(元治元年)子七月十二日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	一〇六
〔織田大作儀、鳴海御代官被仰付候〕	(元治元年)七月十八日 鳴海陣屋、別紙村々庄屋	一丁	一〇七
乍恐御達申上候御事(雨天祈禱)	(元治元年)子七月十九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名、鳴海御陣屋	一丁	一〇八

〔前大納言様長州征伐被蒙御惣督候節兵糧米〕 元治元年七月廿八日	八丁	二〇六	覚〔当村方外山佐吉方、其御村助蔵方江米売渡〕 (元治元年) 子八月廿一日 東阿野村庄屋半兵衛、鳴海村御庄屋衆中	一丁	二〇三
覚〔白米請取〕 (元治元年) 子七月晦日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、東阿野村御用先鳴海方御手代衆様	一丁	二〇七	覚〔米受取、荷主外山佐吉〕 (元治元年) 子八月廿一日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、東阿野村御庄屋衆中	一通	二〇三
乍恐奉願上候御事〔万一狼藉者等入込候節心得方〕 (元治元年) 子七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	二〇八	乍恐御達申上候御事〔当村八幡宮神託ニ付、今夕挑灯相捧申度〕 (元治元年) 八月晦日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	二〇五
〔物価之儀ニ付、公儀よりの触〕 (元治元年) 七月 鳴海御陣屋、別紙村々庄屋	二丁	二〇九	乍恐御達申上候御事〔八幡宮江笛太鼓打囃子献灯為仕申候〕 (元治元年) 子八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	二〇六
乍恐奉願上候御事〔作小屋式軒取立申度〕 (元治元年) 子七月 鳴海村西尾藤八、鳴海御陣屋	一丁	二〇三	乍恐御達申上候御事〔御普請所之儀〕 (元治元年) 子八月 愛知郡鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	二丁	二〇八
乍恐御達申上候御事〔当村諏訪大明神例祭〕 (元治元年) 子七月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	二〇四	乍恐御達申上候御事〔盗難届〕 (元治元年) 子八月 鳴海村松五郎、鳴海御陣屋	二丁	二〇八
〔筑波山追々戦ひ相成、松平左京方物頭三人即死、其外手負数不知〕 (元治元年) 七月	一丁	二〇五	乍恐御達申上候御事〔当村八幡宮祭礼〕 (元治元年) 子八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	二〇九
乍恐御達申上候御事〔嶋田村他六ヶ村儀、方今之形勢江付非常守方〕 (元治元年) 子七月 右村々惣代鳴海村下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	二〇八	乍恐御達申上候御事〔当村神明宮祭礼〕 (元治元年) 子八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	二〇三
証文之事〔田畑譲渡〕 元治元年八月 徳右衛門他一名、中井信七郎殿	四丁	二〇四	乍恐奉願上候御事〔私所持酒造米式百五十八石、知多郡宮津村善兵衛江譲り渡〕 (元治元年) 子八月 鳴海村小島長左衛門、鳴海御陣屋	一丁	二〇〇
〔明二日前大納言様江上使到着之由候間、村々御師共鉄砲堅為打申間敷候〕 (元治元年) 八月朔日 織田大作、鳴海村他	一丁	二〇九	乍恐御達旁奉願上候御事〔船老艘盗難届〕 (元治元年) 子八月 鳴海村前之庵分服部知一郎、鳴海御陣屋	三丁	二〇三
〔公刃御太切御用物御差下ニ付、寺社奉行所よりの触〕 (元治元年) 八月六日 鳴海御陣屋、鳴海村他四ヶ村庄屋	二丁	二〇〇	乍恐御達申上候御事〔盗難届〕 (元治元年) 子八月 鳴海村前之庵分兵衛、鳴海御陣屋	四丁	二〇七
〔其村々百姓共之内酒作商売致候者之儀、石高何程作候哉、右米買候哉〕 (元治元年) 八月廿日 島居寛右他一名	一丁	二〇二			

覚〔味噌・溜り請取、荷主萩原惣丞〕 (元治元年) 子九月二日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、大野村庄屋平野彦右衛門様	一通	二〇六	乍恐御達申上候御事〔不容易御直書御主意之御事ニ付、村毎ニ申諭候上、早速御達申上候様〕 (元治元年) 子十月 鳴海村下郷四郎兵衛他三十五名、鳴海御陣屋	四丁	二〇一
覚〔味噌・溜り請取、荷主江御引渡〕 (元治元年) 子九月晦日 大野村庄屋平野彦右衛門、鳴海村御庄屋衆中	一丁	二〇六	乍恐奉願上候御事〔操綿三拾本、政十郎米代之方江相渡候〕 (元治元年) 子十月 鳴海村〔煮売茶屋・郷宿渡世〕松兵衛、鳴海御陣屋	一丁	二〇七
乍恐奉願上候御事〔当村坂野三右衛門より質屋職譲受〕 (元治元年) 子九月 鳴海村与右衛門、鳴海御陣屋	二丁	二〇九	譲り渡申定納山之事 元治元年十一月 定納山譲り主長谷川武右衛門他一名、山口幾久三郎殿	一丁	二〇九
乍恐御達申上候御事〔当村惣寄格六役庄屋下郷保之介儀今八日病死〕 (元治元年) 子九月 鳴海村庄屋下郷次郎左衛門、鳴海御陣屋	一丁	二〇六	乍恐御達申上候御事〔綿打渡世次郎蔵宅焼失〕 (元治元年) 子十一月九日 鳴海村庄屋下郷金三郎他一名、鳴海御陣屋	一丁	二〇四
乍恐御達申上候御事〔当村下郷保之介病死仕候付、左之人別今八日より定式之忌請之引籠申候〕 (元治元年) 子九月 鳴海村庄屋下郷次郎左衛門他一名、鳴海御陣屋	一丁	二〇〇	〔其村々之者共所持いたし候大八車之儀他所売不相成候〕 (元治元年) 十一月十一日 鳴海御陣屋、別紙村々庄屋	一丁	二〇三
乍恐御達申上候御事〔当村浅間堂神事〕 (元治元年) 子九月 鳴海村庄屋下郷次郎左衛門他一名、鳴海御陣屋	一丁	二〇四	覚〔米三拾石、東阿野村江相渡〕 (元治元年) 子十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	二〇六
乍恐奉願上候御事〔餅米拾式俵、知多郡浅倉村傳右衛門方江売附申候〕 (元治元年) 子九月 鳴海村徳兵衛、鳴海御陣屋	一丁	二〇四	覚〔東阿野村御固所御入用米揚賣〕 (元治元年) 子十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	二〇三
乍恐奉願上候御事〔当村与右衛門江質屋職譲渡申度〕 (元治元年) 子九月 鳴海村坂野三右衛門、鳴海御陣屋	一丁	二〇五	覚〔広井御蔵日雇賃〕 (元治元年) 子十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	二丁	二〇五
覚〔味噌・溜り相改受取〕 (元治元年) 子十月二日 鳴海村〔締役庄屋兼下郷弥兵衛、大野村庄屋平野彦右衛門様	一丁	二〇三	乍恐奉願上候御事〔古米九拾石、海東郡須成村初右衛門より買請〕 (元治元年) 子十一月 鳴海村服部知一郎、鳴海御陣屋	一丁	二〇七
乍恐御達申上候御事〔当村野村善兵衛後家倅若吉身分江付、苗字御免〕 (元治元年) 子十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	二〇四	〔他国綿買入、貧民共江貸渡、木綿ニ為織立産業ニ為取付、貧民救方専務心得達無之様〕 (元治元年) 十一月 愛知郡鳴海村久野清吉	一丁	二〇六
〔扣地往還添二桁五間梁式間之作小屋式軒取建方之儀〕 (元治元年) 子十月 西尾藤八	二丁	二〇五	〔他国綿買入世話人、左之名前之者共江申付候〕 (元治元年) 十一月 世話人愛知郡番掛新田中嶋金右衛門他三名	一丁	二〇九
			覚〔御囲米之内納米三石、東阿野村江差送り申候〕 (元治元年) 十一月	一丁	二〇〇

年)十一月 鳴海村)庄屋下郷弥右衛門他一名御陣屋	一丁	105
乍恐御請書之事(私扣字境松荒地ニ作小家貳軒取建申度旨奉願上候)(元治元年)十一月 鳴海村西尾藤八〇鳴海御陣屋	一丁	105
乍恐奉願上候御事(米六拾石、海西郡宮路村与七〇買請候)(元治元年)十一月 鳴海村兵助〇鳴海御陣屋	一丁	105
乍恐奉願上候御事(当村持分天白川堤御植松之儀)(元治元年)十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名御普請方御役所	一丁	105
覚(御田米東阿野村江相渡申候)(元治元年)十一月 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛他一名〇鳴海御陣屋	一丁	105
乍恐御達申上候御事(御用御田米之外弥右衛門取扱)(元治元年)十一月 鳴海村庄屋下郷左衛門〇鳴海御陣屋	一丁	105
乍恐奉願上候御事(愛知郡柴田新田永助、入夫ニ買請申度)(元治元年)十一月 鳴海村きし〇鳴海御陣屋	一丁	105
質流渡申地所一札之事 元治元年十二月 地所議主喜代三郎他一名〇山口吉左衛門殿	二丁・一通	105
乍恐奉願上候御事(米五拾石、佐屋村六条新田傳左衛門〇買請)(元治元年)十二月 鳴海村太助〇鳴海御陣屋	一丁	105
〔当節惡徒共市中致暴行、不容易事共取巧ニ付、此程先々御召捕相成候〕(元治元年)十二月	一丁	105
乍恐御達旁奉願上候御事(地直出来不申候間、御見分之上御定引)(元治元年)十二月 右鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名〇鳴海御陣屋	一丁	105
乍恐御達申上候御事(盜難届)(元治元年)十二月 鳴海村平九郎後家〇鳴海御陣屋	二丁	105
乍恐奉願上候御事(当村百姓自分扣定納山ニ而枝打透伐仕度)(元治元年)十二月 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛〇御林方	一丁	105

御陣屋 (付箋)「式号」	一通	105
〔無指光次郎初入檻中支度代等〕(元治元年)	一通	105
〔御上落ニ付触写〕(元治元年)	一通	105
定(役事賃錢)(元治元年)	一通	105
御達申上候御事(熱田前新田宗七并妻子共拙寺江代判被仰付被下置候様)(元治元年)元治二年三月 鳴海園龍寺法潤〇御坊御輪番所	一丁	105

慶 応

乍恐奉願上候御事(愛百俵差送り)他 (慶応元年)丑二月 他 鳴海村平左衛門〇鳴海御陣屋	一五丁	105
覚(知多郡成岩村ひさ入檻中諸入用、番人和吉江相渡)(慶応元年)丑三月廿四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〇鳴海御陣屋	一丁	105
乍恐御達申上候御事(当村藤川池定式御普請渡之儀)(慶応元年)丑三月 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛〇鳴海御陣屋	一丁	105
乍恐奉願上候御事(熱田前新田東之割百姓宗七妻子供、私扣字〇山江為引越申度)(慶応元年)丑三月 鳴海(村)下郷次郎太〇鳴海御陣屋	一丁	105
乍恐御達申上候御事(身曾貴被ニ付、成海神社并八幡宮御旅所江挑灯相捧申度)(慶応元年)丑六月 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛他二名〇鳴海御陣屋	一丁	105
乍恐奉願上候御事(当村番人和吉儀御手当筋敷願)(慶応元年)丑六月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〇鳴海御陣屋	四丁	105
乍恐奉願上候御事(有松村丈助俸直次郎儀私養子ニ買請候處、此度離別)(慶応元年)丑六月 鳴海村土井新三郎〇鳴海	三丁	105

御陣屋	一丁	105
覚(背積船荷人共預り) 慶応元年八月三日 牛毛荒井村庄屋久兵衛〇鳴海村出役御締役人中・村方御役人中	一丁	105
乍恐御請書奉差上候事(盜品請取)(慶応元年)丑九月 鳴海村下郷清兵衛〇御陣屋	一丁	105
差上申御請書之事(中根村魚殺生運上金)(慶応元年)丑十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〇御廣場改方衆様他	一丁	105
乍恐奉願上候御事(御領分高之者共、此節一般於御作事方御鑑札相渡り、御役銀相動候様)(慶応元年)丑十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名〇鳴海御陣屋	二丁	105
乍恐奉願上候御事(御領分高之者共、此節一般於御作事方御鑑札相渡り、御役銀相動候様)(慶応元年)丑十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名〇鳴海御陣屋	二丁	105
乍恐御達申上候御事(当村丹組分組頭武兵衛、全左衛門退役、跡役儀平)(慶応元年)丑十月 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛〇鳴海御陣屋	一丁	105
乍恐御達申上候御事(盜難届)(慶応元年)丑十月 鳴海村小鳴海分久右衛門〇鳴海御陣屋	二丁	105
乍恐御達申上候御事(当村地内笠寺村扣藤川池達井高く築立候付)(慶応元年)丑十一月 鳴海村庄屋取締役庄屋兼下郷弥兵衛他五名〇鳴海御陣屋	三丁	105
乍恐猶奉願上候御事(当村地内笠寺村扣藤川池達井高く築立候付)(慶応元年)丑十一月 鳴海村庄屋取締役庄屋兼下郷弥兵衛他五名〇鳴海御陣屋	三丁	105

御陣屋	一丁	105
一札之事(私父多左衛門与頭在勤中御年貢皆済相滞) 慶応元年十二月 相組久吉他四名〇中嶋金右衛門殿他二名	二丁	105
宗門諸合手形之事(愛知郡南野村仲藏娘この智同郡鳴海村年組半左衛門仲重四郎宗旨) 慶応二年正月 愛知郡鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名〇南野村庄屋立松善兵衛他一名	一通	105
慶応式寅正月下旬亥内様御下付御屋ニ付(地方定使役申付) 慶応二年正月 下郷弥兵衛他三名	三丁	105
〔御老中松平伯耆守殿・阿部豊後守殿京都江之為御使登、鳴海通行ニ付順達〕(慶応二年)正月廿五日 杉七左衛門〇鳴海村他四々村庄屋	一丁	105
乍恐御達旁奉願上候事(天白橋御懸替)(慶応二年)寅正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛〇御普請方御役所	一丁	105
乍恐御達申上候御事(盜難届)(慶応二年)寅正月 鳴海村花井町九郎七〇鳴海御陣屋	二丁	105
乍恐御請書之事(被盜取候品々請取)(慶応二年)寅正月 鳴海村花井町九郎七〇鳴海御陣屋	一丁	105
奉願上候御事(俸助次郎儀明慶与改名家督相統仕度) 慶応二年二月 愛知郡鳴海村東光院〇鳴海御陣屋	二丁	105
奉願上候御事(私儀院役隠居仕度) 慶応二年二月 愛知郡鳴海村東光院〇修験方御支配所	二丁	105
慶応元年丑年村下用建札之写 慶応二年二月 右(鳴海) 村庄屋取締役庄屋兼下郷弥兵衛他十九名〇鳴海御陣屋 付、坂野三右衛門〇下郷弥兵衛宛書簡	七丁・一通	105
覚(竹腰様御使他) (慶応二年)二月廿四日 (鳴海)御本陣〇御庄屋衆様	一丁	105

乍恐御断旁奉申上候御事(盜難届)	(慶応二年)寅二月	鳴海	一丁	二〇六
村喜兵衛	鳴海御陣屋			
乍恐御達申上候御事(盜品見積直段)	(慶応二年)寅二月	鳴海	一丁	二〇九
海村喜兵衛	鳴海御陣屋			
慶応元年丑年御年寅三役限御伝馬役式歩米之外村下用之覚			一二丁	二五九
(慶応二年)寅二月	右(鳴海)村庄屋取締役庄屋兼下郷弥兵衛他十九名	鳴海御陣屋		
覚(鳴海宿百姓入野種吉他三名、遠州秋葉山江參詣)	慶応二年三月	右(鳴海)宿庄屋取締・年寄兼下郷弥兵衛今切御團所御役人御衆中様	一丁	二四三
慶応二年寅年村方有人・慶応二年寅年三月自分一札之面々家人人数之覚	慶応二年三月		三丁	二九四
一札切支丹宗門會議召仕男女相改	慶応二年三月	愛知郡	一丁	二四七
鳴海村下郷弥兵衛	金森五郎兵衛殿			
覚(男三人、当宿東端にて御私)	(慶応二年)寅三月四日	鳴海	一丁	二四九
(村)庄屋下郷弥兵衛	御御定所御役人衆様			
覚(御蔵米)	(慶応二年)寅三月六日	米屋中	一丁	二五〇
乍恐御達奉申上候御事(怪敷風呂敷包届)	(慶応二年)寅三月九日	鳴海村	三丁	二五七
鳴海村	鳴海村			
覚(林相庭)	(慶応二年)寅三月廿七日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	二四三
鳴海御陣屋				
覚(麦苞石陸送取斗)	(慶応二年)寅三月晦日	鳴海村	一丁	二〇八
下郷弥兵衛	大高村御庄屋中			
乍恐御願旁奉申上候御事(牛毛荒井村雉本太左衛門儀	天白川堤之内百問程木材困場拝借奉願候由、御取揚無御座様)		一丁	二〇七
(慶応二年)寅三月	鳴海村庄屋惣代坂野三右衛門他一名	御普請		
方御役所				
水廣ヶ池・神沢池靈替ニ付入用	(慶応二年)寅三月	懸り太平	一丁	二四三
治他一名	御庄屋衆様			
請書(麦拾六俵請取)	(慶応二年)寅三月	山崎村庄屋由右衛門	一丁	二四八
乍恐奉願上候御事(当村瑞泉寺扣同村上町庚申堂守智玉尼儀退堂仕度)	(慶応二年)寅三月	愛知郡鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名	二丁	二四〇
乍恐御達奉申上候御事(盜難届)	(慶応二年)寅三月	鳴海村中	四丁	二五八
鳴町宇兵衛	鳴海御陣屋			
乍恐御願旁奉申上候御事(牛毛荒井村雉本太左衛門儀、天白川堤之内木材困場拝借奉願候由)	(慶応二年)寅三月	鳴海	一丁	二四四
村庄屋惣代坂野三右衛門他一名	御普請方御役所			
覚(穀類相送り)	(慶応二年)寅三月	東阿野村組頭(鳴海村)	一通	二四九
下郷弥兵衛様				
御請書之事(文吉梓音吉、当村出生宗門名前之者ニ相違無御座候)	(慶応二年)四月	右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛	一丁	二四二
方御役所				
御數願奉申上候御事(私怱原助事喜助改心仕ニ付、宗門組入願)	(慶応二年)四月	喜助父健左衛門(宛名未詳)	一丁	二〇六
宗門送一札(当村下郷右衛門八妹ちよ、其御村方林右衛門所江縁付)	(慶応二年)四月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛	一丁	二五九
原村庄屋弥兵衛右衛門殿				
覚(小麦五俵差送り)	(慶応二年)寅四月朔日	鳴海出穀締役下郷弥兵衛他一名	一丁	二一〇
本井戸田村御庄屋中				
乍恐御達申上候御事(撰州西成郡三軒屋村百姓吉藏宿村送			六丁	二五八

覺(搦麦拾壹俵請取) (慶応二年) 寅四月九日 熱田大瀬子町丁 代清吉の鳴海出殺締役衆 覺(小麥拾俵請取) (慶応二年) 寅四月九日 本井戸田村庄屋代 組頭八左衛門の鳴海(村)下郷弥兵衛他一名 覺(大豆八俵、其御村助藏殿より山崎村忠吉方へ相送り) (慶応二年) 寅四月九日 山崎村出殺締役由右衛門の鳴海出殺 締役御衆中様 覺(小麥七俵差送り) (慶応二年) 寅四月十二日 鳴海出津締役 下郷弥兵衛他一名の笠寺村庄屋御衆中 覺(小麥七俵差送り) (慶応二年) 寅四月十二日 鳴海出津締役 下郷弥兵衛他一名の笠寺村庄屋御衆中 覺(小豆五俵他陸送り) (慶応二年) 寅四月七日 鳴海出殺締 役下郷弥兵衛他一名の熱田須賀町御町代中 覺(小豆五俵他相送り) (慶応二年) 寅四月七日 熱田大瀬子町 代清吉の鳴海出殺御締役衆中 覺(古納米陸送り) (慶応二年) 寅四月七日 鳴海出殺締役下 郷弥兵衛他一名の熱田須賀町御町代中 覺(大豆八俵陸送り) (慶応二年) 寅四月八日 鳴海出殺締役 下郷弥兵衛他一名の山崎村御庄屋中 覺(入檻諸入用受取、番人和吉江相渡) (慶応二年) 寅四月八 日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋 覺(蕎麦七俵等陸送り) (慶応二年) 寅四月九日 鳴海出殺役 下郷弥兵衛他一名の置村御庄屋中 覺(裸麦四俵等陸送り) (慶応二年) 寅四月九日 鳴海出殺締 役下郷弥兵衛他一名の山崎村御庄屋中 覺(小麥拾俵陸送り) (慶応二年) 寅四月九日 鳴海村出殺締 役下郷弥兵衛他一名の本井戸田村近藤松右衛門殿 覺(搦麦拾壹俵陸送り) (慶応二年) 寅四月九日 鳴海出殺締 役(搦麦拾壹俵陸送り) (慶応二年) 寅四月九日 鳴海出殺締	役下郷弥兵衛他一名の熱田大瀬子町御町代中 覺(搦麦拾壹俵請取) (慶応二年) 寅四月九日 熱田大瀬子町丁 代清吉の鳴海出殺締役衆 覺(小麥拾俵請取) (慶応二年) 寅四月九日 本井戸田村庄屋代 組頭八左衛門の鳴海(村)下郷弥兵衛他一名 覺(大豆八俵、其御村助藏殿より山崎村忠吉方へ相送り) (慶応二年) 寅四月九日 山崎村出殺締役由右衛門の鳴海出殺 締役御衆中様 覺(小麥七俵差送り) (慶応二年) 寅四月十二日 鳴海出津締役 下郷弥兵衛他一名の笠寺村庄屋御衆中 覺(小麥七俵差送り) (慶応二年) 寅四月十二日 鳴海出津締役 下郷弥兵衛他一名の笠寺村庄屋御衆中 覺(小豆五俵他陸送り) (慶応二年) 寅四月七日 鳴海出殺締 役下郷弥兵衛他一名の熱田須賀町御町代中 覺(小豆五俵他相送り) (慶応二年) 寅四月七日 熱田大瀬子町 代清吉の鳴海出殺御締役衆中 覺(古納米陸送り) (慶応二年) 寅四月七日 鳴海出殺締役下 郷弥兵衛他一名の熱田須賀町御町代中 覺(大豆八俵陸送り) (慶応二年) 寅四月八日 鳴海出殺締役 下郷弥兵衛他一名の山崎村御庄屋中 覺(入檻諸入用受取、番人和吉江相渡) (慶応二年) 寅四月八 日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋 覺(蕎麦七俵等陸送り) (慶応二年) 寅四月九日 鳴海出殺役 下郷弥兵衛他一名の置村御庄屋中 覺(裸麦四俵等陸送り) (慶応二年) 寅四月九日 鳴海出殺締 役下郷弥兵衛他一名の山崎村御庄屋中 覺(小麥拾俵陸送り) (慶応二年) 寅四月九日 鳴海村出殺締 役下郷弥兵衛他一名の本井戸田村近藤松右衛門殿 覺(搦麦拾壹俵陸送り) (慶応二年) 寅四月九日 鳴海出殺締 役(搦麦拾壹俵陸送り) (慶応二年) 寅四月九日 鳴海出殺締	一丁 二四六 一通 四四四 一通 四四六 一丁 二四 一丁 二二五 一丁 二二六 一丁 二二七 一丁 二二八 一丁 二二九 一丁 二四〇 一丁 二四一 一丁 二四二 一丁 二四三 一丁 二四四 一丁 二四五 一丁 二四六 一丁 二四七 一丁 二四八 一丁 二四九 一丁 二五〇 一丁 二五一 一丁 二五二 一丁 二五三 一丁 二五四 一丁 二五五 一丁 二五六 一丁 二五七 一丁 二五八 一丁 二五九 一丁 二六〇 一丁 二六一 一丁 二六二 一丁 二六三 一丁 二六四 一丁 二六五 一丁 二六六 一丁 二六七 一丁 二六八 一丁 二六九 一丁 二七〇 一丁 二七一 一丁 二七二 一丁 二七三 一丁 二七四 一丁 二七五 一丁 二七六 一丁 二七七 一丁 二七八 一丁 二七九 一丁 二八〇 一丁 二八一 一丁 二八二 一丁 二八三 一丁 二八四 一丁 二八五 一丁 二八六 一丁 二八七 一丁 二八八 一丁 二八九 一丁 二九〇 一丁 二九一 一丁 二九二 一丁 二九三 一丁 二九四 一丁 二九五 一丁 二九六 一丁 二九七 一丁 二九八 一丁 二九九 一丁 三〇〇 一丁 三〇一 一丁 三〇二 一丁 三〇三 一丁 三〇四 一丁 三〇五 一丁 三〇六 一丁 三〇七 一丁 三〇八 一丁 三〇九 一丁 三一〇 一丁 三一〇
--	--	--

朱金之儀引替可差出旨)	(慶応二年カ)五月	鳴海陣屋	別
紙村々庄屋			
永々讓渡申田地証文之事	慶応二年六月	田地充渡主永井松右	
衛門他二名	久兵衛殿		
借用申金子之事	慶応二年六月	借用主永井松右衛門他三名	
佐野屋善七殿取次			
前之庵落伏替入用書拔	慶応二年六月	庄屋下郷弥兵衛	
往來一札(鳴海宿百姓藤三郎倅藤助、信州善光寺江參詣)			
慶応二年六月	右宿取緒役下郷弥兵衛他一名	因々御開所御役人	
中棟・宿村御役人衆中			
乍恐御達申上候御事(当村藤三郎倅孝助儀、信州善光寺江參詣)	(慶応二年寅六月)	鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名	鳴海御陣屋
書簡控(津島御祭礼御役船艀艘御雇、御差出被成下度)	(慶		
応二年)六月五日	下郷弥兵衛	加藤五左衛門様他一名	
覚(納米)	(慶応二年)寅六月七日	梅屋利八他二名	御掛り庄屋
衆様			
覚(津嶋御神祭ニ付雇船賃受取)	(慶応二年)寅六月八日	佐	
屋船入徳右衛門	下郷弥兵衛様		
覚(納米)	(慶応二年)とら六月廿八日	ナルミ屋緒方梅屋利八	
他二名	当所庄屋衆様		
乍恐御達申上候御事(盜難届)	(慶応二年)寅六月	鳴海村湯屋	
喜蔵他一名	鳴海御陣屋		
乍恐奉願上候御事(当村樋伏替願)	(慶応二年)寅六月	鳴海	
村庄屋加藤平五郎他二名	鳴海御陣屋		
乍恐御達申上候御事(当村前之庵落伏方之儀)	(慶応二年)		

六二

応二年の八月四日 金(森)五郎兵衛より別紙村々庄屋	一丁	二三八
覚(納米) (慶応二年)寅八月九日 米屋中	一丁	二三八
乍恐御達申上候御事(当村神明宮祭礼之儀) (慶応二年)寅八月十三日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名より鳴海御陣屋	一通	二〇五
覚(納米) (慶応二年)寅八月十四日 米屋中	一丁	四六六
乍恐御達申上候御事(当村八幡宮神事執行) (慶応二年)寅八月十四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名より鳴海御陣屋	一丁	四六六
覚(白米小売直段) (慶応二年)寅八月十四日 油屋甚兵衛より春米屋御衆中様	一通	一七七
乍恐奉差上御請書之事(此度風災ニ付、当村扣往還並松倒木御払御直段等之儀ニ付) (慶応二年)寅八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名より往還方御役所	一丁	二〇五
乍恐奉願上候御事(知多郡半田村新右衛門所持之酒造米石高、私江讓請申度) (慶応二年)寅八月 鳴海村五左衛門より鳴海御陣屋	一丁	二〇〇
乍恐御達申上候御事(徳右衛門・吉五郎、不正之品買求候一件) (慶応二年)寅八月 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛他一名より鳴海御陣屋	二丁	二〇二
乍恐御達申上候御事(当村瑞泉寺稲荷大明神遷宮ニ付、氏子より献灯仕度旨) (慶応二年)寅八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名より鳴海御陣屋	一丁	二三七
乍恐御達申上候御事(当村瑞泉寺稲荷大明神遷宮ニ付、氏子より献灯仕度旨) (慶応二年)寅八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名より鳴海御陣屋	一丁	四三
乍恐御達申上候御事(当村八幡宮祭礼之儀) (慶応二年)寅八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名より鳴海御陣屋	一丁	二三元

乍恐御達申上候御事(拾得物屋)	(慶応二年)寅八月	鳴海村	一丁	一四二
庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋				
乍恐奉願上候御事(米拾五石、篠嶋權太郎江船送取斗申度)	(慶応二年)寅八月	鳴海村久野清吉の鳴海御陣屋	一丁	一四六
乍恐御達申上候御事(大高村山口一郎弟友三郎儀、鳴海村ニ寓居候一件)	(慶応二年)寅八月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名の鳴海御陣屋	一丁	一四九
乍恐御達申上候御事(山番小舎及出火焼失仕候付、取建申度)	(慶応二年)寅九月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛の御林方御陣屋	一通	一四〇
乍恐奉願上候御事(田畑作物不容易損亡ニ付、伝馬銀御免願)	(慶応二年)寅九月	鳴海村庄屋取締役庄屋兼下郷弥兵衛他三名の鳴海御陣屋	二丁	一四四
乍恐伺旁奉差上候御事(鳴海村丹組秋之助他三名、川中桶杯を以水カエ魚殺生之模様)	(慶応二年)寅九月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛他四名の(宛名不詳)	二丁	一四〇
讓渡申家屋敷之事	慶応二年十月	譲り主米屋傳四郎他四名の井筒屋米吉敷	一丁	一四六
預り申頼母子金之事	慶応二年十月	金子預り主下郷弥兵衛他一名の頼母子御連中	一丁	一四七
覚(御蔵米)	(慶応二年)寅十月十七日	当番世話方御村方御庄	一丁	一四五

屋御衆中				
乍恐御達申上候御事(盜難屋)	(慶応二年)寅十月	鳴海村周左衛門の鳴海御陣屋	二丁	一四八
乍恐奉願上候御事(凶作之上先前とは違ひ人氣悪敷、役前長百姓ともおいて取廻兼甚迷惑難波仕候)	(慶応二年)寅十一月	鳴海村惣年寄下郷善右衛門他三名の鳴海御陣屋	二丁	一四三
覚(餅他)	(慶応二年)寅十一月	鳴海村九左衛門の鳴海御陣屋	一丁	一四七
乍恐御達申上候御事(餅廿切程被盜取候儀)	(慶応二年)寅十一月	鳴海村九左衛門の鳴海御陣屋	一丁	一四九
讓渡申家屋敷之事	慶応二年十二月	譲り主岩井屋佐十郎他五名紋七殿	三丁	一四三
借用申金子之事	慶応二年十二月	借用主五左衛門他三名桑名や八兵衛殿御取次	二丁	一四五
沽券状之事	慶応二年十二月	家譲り主下郷弥兵衛他一名の牛毛荒井村文〆殿	一丁	一四三
覚(御蔵米)	(慶応二年)寅十二月七日	米屋当番緒方	一丁	一四二
(御老中井上河内守様御登り御休泊ニ付先触)	(慶応二年)十二月廿六日	当番問屋下郷作太郎の御当番庄屋衆衆	一通	一四五
覚(納米拾石請取)	(慶応二年)寅十二月廿八日	鳴海出穀締役下郷弥兵衛他一名の熱田築地御町代中	一丁	一四七
乍恐御達申上候御事(内藤様御蔵米五拾俵、三州苅屋中島屋善兵衛の買附)	(慶応二年)寅十二月	鳴海村五左衛門の鳴海御陣屋	一丁	一三二
乍恐奉願上候御事(格外之凶作)	(慶応二年)寅十二月	鳴海村惣年寄下郷次郎太他七名鳴海御陣屋	四丁	一三八

乍恐御達申上候御事(鳴海村庄八、去年御相統為御祝儀、重追放御免)	(慶応二年)寅十二月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛の鳴海御陣屋	一丁	一四七
乍恐御達申上候御事(盜難屋)	(慶応二年)寅十二月	鳴海村下郷四郎兵衛の鳴海御陣屋	一丁	一四六
酒造御請書(造高百八拾石三斗着殺)	(慶応二年)寅十二月	右(鳴海)村下郷四郎兵衛の鳴海御陣屋	三丁	一四八
(本文御米之儀、来冬迄拝借被仰付被下置候様)	(慶応二年)寅十二月	鳴海宿庄屋加藤平五郎他五名の鳴海御陣屋	二丁	一四九
乍恐奉願上候御事(当村御物成之内上納殘米百廿六石着御陣屋御困ニ被成下)	(慶応二年)寅十二月	鳴海村惣年寄下郷次郎太他七名鳴海御陣屋	二丁	一四七
乍恐御達申上候御事(大高村清三郎江米穀売払候一件)	(慶応二年)寅十二月	右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛他一名の鳴海御陣屋	一丁	一三三
乍恐御達申上候御事(当村本組分組頭三造儀病氣ニ付退役)	(慶応二年)寅十二月	鳴海村庄屋坂野三右衛門他一名の鳴海御陣屋	一丁	一四六
定納山之内山屋敷之事	慶応二年	水権平の右(鳴海)村庄屋	一丁	一四〇
写(鳴海村源助事健助、去ル午御相統之為御祝儀、中追放御免)	(慶応二年)寅九月		一丁	一三七
宗門請合手形之事(愛知郡南野村新兵衛儀きし聲同郡鳴海村平組助蔵伴藤三郎宗旨)	慶応三年正月	愛知郡鳴海村庄屋下郷弥兵衛他二名南野村庄屋立松善兵衛殿他一名	一丁	一四〇
覚(納米)	(慶応三年)卯正月五日	米屋中當番緒役村方庄屋衆中様	一丁	一四四

覚(納米)	(慶応三年)卯正月十四日	米屋當番村方庄屋衆中様	一丁	一三八
乍恐奉願上候御事(米野村茂右衛門、諸國巡拝罷出候所、病氣ニ付宿村送り)	(慶応三年)卯正月十六日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名の鳴海御陣屋	一丁	一三二
乍恐御達申上候御事(三州本地御蔵米式拾五俵着殺)	(慶応三年)卯正月	鳴海村服部知一郎の鳴海御陣屋	一丁	一三九
乍恐御達申上候御事(三州本地御蔵米式拾五俵着殺)	(慶応三年)卯正月	鳴海村服部知一郎の鳴海御陣屋	一丁	一三八
覚(納米差送り)	(慶応三年)卯正月	出穀締役鳴海(村)下郷弥兵衛他一名の御町代御衆中	一丁	一三三
乍恐御達申上候御事(当村本組分組頭三造儀退役ニ付、跡役之儀次郎吉相動候)	(慶応三年)卯正月	鳴海村庄屋坂野三右衛門他一名の鳴海御陣屋	一丁	一四六
讓渡申家屋敷之事	慶応三年二月	譲り主真屋甚吉後家他五名岩井屋佐十郎殿	二丁	一三九
覚(御蔵米)	(慶応三年)卯二月七日	當番世話方御村方庄屋御衆中	一丁	一三七
乍恐御達申上候御事(窮民共御救筋施行講之儀、御差延仕度)	(慶応三年)卯二月	平手新田庄屋清兵衛他一名の鳴海御陣屋	一丁	一三五
乍恐御請書奉差上候御事(當年柄江付、窮民共救筋之義被仰渡)	(慶応三年)二月	平針村庄屋傳左衛門他一名の鳴海御陣屋	一丁	一三七
送り書(納米)	(慶応三年)卯二月	出穀締役下郷弥兵衛他一名の大瀬子町御町代衆中	一丁	一四四
乍恐奉願上候御事(知多郡名和新田常蔵娘ます、私養女ニ質請申度)	(慶応三年)卯二月	鳴海村半助の鳴海御陣屋	一丁	一四〇

乍恐奉願上候御事(私次男其之助、有松村園藏後家方江入夫ニ差遣申度)	(慶応三年)卯二月	鳴海村本組分伊助、鳴海御陣屋	一丁	二三六
乍恐奉願上候御事(私懸り人庄右衛門後家、相原村源〇郎所へ懸り人ニ差遣申度)	(慶応三年)卯二月	鳴海村市左衛門、鳴海御陣屋	一丁	二三六
乍恐奉願上候御事(当村丹六儀宗門帳組入願)	(慶応三年)卯二月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	二三三
乍恐奉願上候御事(本地村賢藏後家、私懸り人ニ仕度)	(慶応三年)卯二月	鳴海村利右衛門、鳴海御陣屋	一丁	二三三
乍恐奉願上候御事(同郡牛毛荒井村米助、懸り人引請申度)	(慶応三年)卯二月	鳴海村本組分甚藏、鳴海御陣屋	一丁	二三九
乍恐奉願上候御事(牛毛荒井村由右衛門女子ふみ、私懸り人ニ仕度)	(慶応三年)卯二月	鳴海村清次、鳴海御陣屋	一丁	二三三
乍恐奉願上候御事(平針村彦七弟彦重儀、私懸り人ニ仕度)	(慶応三年)卯二月	鳴海村吉兵衛、鳴海御陣屋	一丁	二三六
乍恐御諸君奉差上候御事(当年柄ニ付、村方極窮之者共喰継方)	(慶応三年)卯二月	鳴海村庄屋園藏他二名、鳴海御陣屋	一丁	二三六
乍恐奉願上候御事(名古屋日置東出町下之切家持太助懸り人きせ男子与七、響養子ニ仕相統為致度)	(慶応三年)卯二月	鳴海村安藏後家、鳴海御陣屋	一丁	二五〇
乍恐奉願上候御事(鳴海村御藏入百姓惣兵衛、女房、鳴海村江為引越申度)	(慶応三年)卯二月	鳴海村九蔵、鳴海御陣屋	一丁	二五三
乍恐御達奉申上候御事(盜難届)	(慶応三年)卯二月	鳴海村前之庵分中井信七郎、鳴海御陣屋	一丁	二五四

乍恐再奉願上候御事(伝馬銀堤銀御救筋)	(慶応三年)卯二月	鳴海村庄屋加藤平五郎他三名、鳴海御陣屋	三丁	二〇五
御金器代米、御救米一条	(慶応三年)三月	(鳴海村)庄屋所	五丁	二〇一
御金器を以御救被下置候代米渡判帳	(慶応三年)三月	渡渡申田地之事	五丁	二〇三
渡渡申田地之事	(慶応三年)三月	譲主為八他一名、下郷善右衛門殿	三丁	二四〇
質流渡渡申田地添証文之事	(慶応三年)三月	譲り主徳左衛門他一名、中井治七郎殿	二丁	二〇六
御達申上候御事(納米)	(慶応三年)卯三月十九日	米屋月番、御庄屋御衆中様	一丁	二三〇
御達申上候御事(納米)	(慶応三年)卯三月廿二日	米屋月番、御庄屋御衆中様	一丁	二三五
乍恐御達奉申上候御事(私懸り人次兵衛後家養子、助次郎儀不縁ニ付、実親江差戻)	(慶応三年)卯三月	鳴海村庄左衛門、鳴海御陣屋	一丁	二三九
乍恐御達奉申上候御事(盜難届)	(慶応三年)卯三月	鳴海村中嶋町幸太郎、鳴海御陣屋	一丁	二三七
乍恐御達申上候御事(古道具具又四郎召喚)	(慶応三年)卯三月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	二三三
奉願上候御事(下郷金三郎被召出、元金を以田地差戻候様)	(慶応三年)四月	知多郡有松村抵園寺禪棟、寺社御奉行	一丁	二〇〇
賞(納米)	(慶応三年)卯四月二日	米屋当番、庄屋御衆中	一丁	二三三
賞(納米)	(慶応三年)卯四月十七日	当宿米屋中	一丁	二三七
〔稲葉美濃守殿下り、来ル廿一日鳴海通行ニ付順達〕	(慶応三年)五月十七日	鳴海陣屋、別紙村々庄屋	一丁	二三〇

乍恐奉願上候御事(裸麦廿三石老斗、半田村定吉江差送り申度)	(慶応三年)卯五月廿一日	鳴海村前之庵分弥三郎、鳴海御陣屋	一丁	二三九
乍恐御達申上候御事(当村八幡宮詫宣ニ付、笛太鼓打囃挑灯相持申度)	(慶応三年)卯五月廿五日	鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	二三六
乍恐御達申上候御事(盜難届)	(慶応三年)卯五月	鳴海村右衛門八、御陣屋	一丁	二二七
乍恐奉願上候御事(知多郡横須賀村彦吉所持之酒造米石高、私江讓請)	(慶応三年)卯五月	鳴海村市蔵、鳴海御陣屋	一丁	二三四
讓渡申田地之事	(慶応三年)六月	譲主本組彦作他一名、要助殿	一丁	二〇六
賞(御蔵米)	(慶応三年)卯六月二日	当番世話方、村方御庄屋御衆中	一丁	二三五
賞(御蔵米)	(慶応三年)卯六月十日	当番世話方、御村方庄屋御衆中	一丁	二三六
賞(御蔵米)	(慶応三年)六月十三日	当番世話方、御村方庄屋御衆中	一丁	二三六
賞(御蔵米)	(慶応三年)卯六月十五日	当番世話方、御村方庄屋御衆中	一丁	二三三
賞(納米)	(慶応三年)卯六月十六日	米屋当番、鳴海庄屋御衆中	一丁	二三六
賞(御蔵米)	(慶応三年)卯六月廿三日	当番世話方、御村方庄屋御衆中	一丁	二三三
賞(御蔵米)	(慶応三年)卯六月廿五日	当番世話方、御村方庄屋御衆中	一丁	二三三

賞(御蔵米)	(慶応三年)卯六月廿八日	当番世話方、御村方庄屋御衆中	一丁	二三六
乍恐御達申上候御事(私被盜取品直段)	(慶応三年)卯六月	鳴海村加藤平五郎、御陣屋	一丁	二四一
乍恐御諸君之事(盜難届)	(慶応三年)卯六月	鳴海村加藤平五郎、御陣屋	一丁	二五六
乍恐御達申上候御事(天白川内高草等刈取方之儀)	(慶応三年)卯七月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛、御普請方御役所	一丁	二四〇
乍恐奉願上候御事(鳴海村權治入牢ニ付見舞願)	(慶応三年)卯七月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、徒刑御役所	一丁	二四九
賞(納米)	(慶応三年)卯八月八日	米屋中、村方庄屋御衆中	一丁	二〇一
乍恐御達申上候御事(男老人行倒死骸為取片申度)	(慶応三年)卯八月十六日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	二四九
乍恐御達申上候御事(男老人行倒死骸為取片申度)	(慶応三年)卯八月十八日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	二四九
乍恐御達申上候御事(男坊主老人行倒死骸為取片申度)	(慶応三年)卯八月廿一日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁	二四七
乍恐奉願上候御事(私儀質屋職再興願)	(慶応三年)卯八月	鳴海村下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	二三四
乍恐奉願上候御事(質屋職再興御百姓相続一助ニ仕度)	(慶応三年)卯八月	鳴海村下郷弥兵衛、鳴海御陣屋	一丁	二三九
〔鳴海村市蔵、酒造榎高之内五拾石神酒製造之儀、願之趣承届候〕	(慶応三年)卯八月		一丁	二三三
〔鳴海村市蔵儀、神酒五拾石製造願之趣承届〕	(慶応三年)卯		一丁	二〇〇

八月 鳴海組酒造大行事下郷善右衛門	
乍恐御達申上候御事(八幡宮神歷ニ付、湯立神案奏申度)	一丁 二六
(慶応三年)卯八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	
乍恐御達申上候御事(当村氏神八幡宮祭礼執行仕度) (慶応三年)卯八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(当村八幡宮例年之通、笛太鼓打囃挑灯相捧申度) (慶応三年)卯八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
覚(植田村栄三郎入鑑申入用) (慶応三年)卯八月 鑑番人和吉	一丁 二六
覚(植田村栄三郎入鑑申入用) (慶応三年)卯八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
覚(納米升改メ) (慶応三年)卯九月二日 米屋中当番左衛門他二名、当番庄屋衆	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(神明宮神託之由ニ付、太鼓打囃子挑灯相捧申度) (慶応三年)卯九月五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(大神宮御本社御札天降相成、相祭申度) (慶応三年)卯九月六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(天降之大神宮江裸馬疋差出申度) (慶応三年)卯九月七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(浅間宮祭礼ニ付、神事式執行申度)	一丁 二六

(慶応三年)卯九月十一日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	
乍恐御達申上候御事(津嶋牛頭天王并津妙見宮御札天降相成候付、挑灯相捧篝火を焚相祭申度) (慶応三年)卯九月十二日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(天降相成候大神宮御札祭礼) (慶応三年)卯九月十二日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(東宮大明神并豊川稲荷大明神、天照皇大神宮御札天降相成候付、挑灯相捧篝火ヲ焚相祭申度) (慶応三年)卯九月十二日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(浅間宮神託之儀ニ付、笛太鼓打囃献灯申度) (慶応三年)卯九月十三日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(御札天降相成候付、挑灯を捧相祭申度) (慶応三年)卯九月十六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
書簡(兵隊人別未不足致居候間、此上人撰方ハ行届間敷哉) (慶応三年)卯九月十八日 鳴海村近藤作兵衛他二名、南部役所	一通 二六
乍恐御達申上候御事(太神宮御札天降御座候付、提灯を捧神案を奏相祭申度) (慶応三年)卯九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(天照皇大神宮御札被成天降候ニ付、神案捧ケ申度) (慶応三年)卯九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(天照皇大神宮御札被成天降候付而ハ、挑灯棒ケ且於神前篝火焚申度) (慶応三年)卯九月 鳴海村	一丁 二六

庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	
乍恐御達申上候御事(多賀大社御札天降御座候付、挑灯を捧神案を相奏祭申度) (慶応三年)卯九月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
(鳴海村市蔵、古渡稲荷神酒造高三拾石瓶入之願承届) (慶応三年)卯九月	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(神酒早造願之儀) (慶応三年)卯十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
覚(下米拾石、上押萩村定右衛門船ニ粘廻) (慶応三年)卯十一月十三日 佐屋陣屋	一丁 二六
乍恐奉願上候御事(古米拾石、上押萩村定右衛門、買取船積ニ而着船) (慶応三年)卯十一月十八日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐奉願上候御事(米式拾石、海西郡本部田村恒右衛門、買取米只今着船) (慶応三年)卯十一月十八日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐奉願上候御事(三州岡崎宿紙屋新七伴次郎、私娘ら、所江入聲ニ貰ヒ請申度) (慶応三年)卯十一月 鳴海村成田又九郎、鳴海御陣屋	一丁 二六
質流渡渡申田地之事 慶応三年十二月 田地譲り主上町忠兵衛他一名、藤村屋林蔵殿	一丁 二六
書簡(二条城二十諸侯参集大騒動) (慶応三年)十二月十一日	一丁 二六
(中談儀有之候ニ付召喚) (慶応三年)十二月十九日 鳴 二丁・一通 二六	
海陣屋、鳴海村庄屋	
乍恐奉願上候御事(古米拾石、海西郡上押萩村惣平、買取	一丁 二六

請候処、積船着船) (慶応三年)卯十二月十九日 鳴海村下組分兵助、鳴海御陣屋	
乍恐奉願上候御事(大豆五拾俵、知多郡榎戸村佐平江亮付) (慶応三年)卯十二月十九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(盜難届) (慶応三年)卯十二月廿日 鳴海村下組分兵助、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(古米拾石、海西郡押萩村惣平、買取、只今着船) (慶応三年)卯十二月廿三日 鳴海村下組分兵助、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(当村吉組分組頭与之八儀退役) (慶応三年)卯十二月廿五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御陣屋	一丁 二六
(御下渡金割渡) (慶応三年)卯十二月廿六日 鳴海村	一丁 二六
(盆前納御返済之金子可相渡候ニ付召喚) (慶応三年)十二月廿六日 鳴海陣屋、鳴海村庄屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(拾得物届) (慶応三年)卯十二月 鳴海村長兵衛、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐奉願上候御事(大豆六拾五俵、知多郡半田村藤助方江亮渡) (慶応三年)十二月 鳴海村下組分兵助、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐奉願上候御事(御蔵米四石、浅倉村傳右衛門方江亮渡) (慶応三年)十二月 鳴海村下組分兵助、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐奉願上候御事(当村惣兵衛、質屋職譲請) (慶応三年)卯十二月 鳴海村惣兵衛、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(私儀当村惣兵衛、質物商売譲請之儀) (慶応三年)卯十二月 鳴海村惣兵衛、鳴海御陣屋	一丁 二六
乍恐御達申上候御事(盜難届) (慶応三年)卯十二月 鳴海村津	一丁 二六

屋架助鳴海御陣屋	(慶応三年)卯十二月	鳴海村前之庵	一丁	一三五四
乍恐御請書之事(盜難品)				
分傳兵衛鳴海御陣屋			一丁	一三五五
(盜難品)	(慶応三年)卯十二月	鳴海村前之庵分傳兵衛鳴海御陣屋		
御請書之事(文吉他三名、当村出生宗門名前之者)	(慶応三年)		一丁	一三六〇
年々)右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛御作方御役所			一通	一三六六
覚(上約金)	(慶応三年)	鳴海村他	一丁	一三六九
苅岐守殿御渡書付写(采地之件)	(慶応三年)		一丁	一三六九
讓渡中御見取地之事	慶応四年正月	讓主小組善吉他一名下郷次郎兵衛殿	一通	一三六九
口上(御用向出来、御地頭所へ罷出候様)	(慶応四年)一月五日	一郎代筆下郷様	一丁	一三六九
覚(御蔵米)	(慶応四年)辰正月廿一日	当番世話方御村方庄屋御衆中	一丁	一三六九
(他所完蔵敷差留候品)	(慶応四年)正月廿六日	鳴海陣屋別紙村々庄屋	一丁	一三六九
覚(御蔵米)	(慶応四年)辰正月廿八日	当番世話方御村方庄屋御衆中	一丁	一三六九
乍恐御達申上候御事(他所完蔵留候品々、持合候者無御座候)	(慶応四年)辰正月	鳴海村庄屋下郷弥兵衛鳴海御陣屋	一丁	一三六九
(私儀痛所御座候ニ付、御役所江不出仕)	(慶応四年)辰正月	鳴海村下郷弥兵衛御普請方御役所	一丁	一三六九
永代讓渡中畑地之事	慶応四年二月	茂三郎親譲り主茂右衛門他二名吉組太蔵殿	一丁	一三六九

鳴海村他四ヶ村庄屋			一丁	一三四四
(御領分堂寺中江相触候様、御勘定奉行衆被申間候付、相触候)	(慶応四年)三月廿二日	鳴海陣屋別紙村々庄屋	一丁	一三四四
乍恐御達申上候御事(十助儀御吟味済御免ニ付、召連帰村)	(慶応四年)辰三月	鳴海村与頭清右衛門鳴海御陣屋	一丁	一三四四
(慶応四年)辰三月		南柴田新田内田忠兵衛買請候付、船板爲相廻申度	一丁	一三四四
乍恐奉願上候御事(米五拾石、南柴田新田内田忠兵衛買請候付、船板爲相廻申度)	(慶応四年)辰三月	鳴海前之庵分弥三郎鳴海御陣屋	一丁	一三四四
乍恐奉願上候御事(米五拾石、南柴田新田内田忠兵衛買請候付、船板爲相廻申度)	(慶応四年)辰三月	鳴海前之庵分弥三郎鳴海御陣屋	一丁	一三四四
預り申頼母子之事	慶応四年四月	金子預り主紺屋市蔵他一名植田口口頼母子御連中	一丁	一三四四
乍恐奉願上候御事(米五拾石、南柴田新田内田忠兵衛買請候付、船板爲相廻申度)	(慶応四年)辰三月	鳴海村前之庵分弥三郎鳴海御陣屋	一丁	一三四四
覚(納米)	(慶応四年)辰四月九日	当番米屋御庄屋御衆中	一丁	一三四四
覚(納米)	(慶応四年)辰四月十二日	当番米屋御庄屋御衆中	一丁	一三四四
覚(納米)	(慶応四年)辰四月十四日	当番米屋御庄屋御衆中	一丁	一三四四
乍恐御達申上候御事(盜難品)	(慶応四年)辰四月九日	柴田新田茂右衛門大御代官御役所	一丁	一三四四
(神社之由緒書付可申出)	(慶応四年)閏四月廿四日	鳴海陣屋別紙村々庄屋	一丁	一三四四
覚(納米)	(慶応四年)辰五月十四日	米屋當番村方御衆中様	一丁	一三四四
覚(納米)	(慶応四年)辰五月十六日	米屋當番村方御衆中様	一丁	一三四四

質流ニ讓渡申畑之事	慶応四年二月	譲り主三組勘三郎他一名三組久右衛門殿	一丁	一三五七
永々讓渡申田地証文之事	慶応四年二月	田地譲主永井松右衛門他一名久兵衛殿	一丁	一三五七
預り申頼母子金之事	慶応四年二月	預り主親木助八他五名御連中	一丁	一三五七
乍恐奉願上候御事(私妹竹、三州幡豆郡羽塚村中村平左衛門所江懸人ニ差遣申度)	(慶応四年)辰二月	鳴海村下郷弥兵衛鳴海御陣屋	一丁	一三五七
宗門送一札(拙者妹竹、貴殿方懸人ニ差遣申候)	慶応四年二月	尾州鳴海宿下郷弥兵衛中村平左衛門殿	一丁	一三五七
覚(御蔵米)	(慶応四年)辰二月四日	当番世話方御村方庄屋御衆中	一丁	一三五七
(御老中稲葉民部太輔殿下り、明廿四日鳴海泊り通行ニ付順達)	(慶応四年)二月廿三日	鳴海陣屋鳴海村他四ヶ村庄屋	一丁	一三五七
乍恐御達申上候御事(当村重蔵・儀左衛門後家、召喚)	(慶応四年)辰二月	鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御陣屋	一丁	一三五七
乍恐奉願上候御事(他所完蔵留候品儀)	(慶応四年)辰二月	鳴海村庄屋坂野三右衛門他一名鳴海御陣屋	一丁	一三五七
(客僧寺院ニ爲致滞留候儀ニ付触)	(慶応四年)二月	寺社奉行所	一丁	一三五七
永代讓り渡申家屋之事	慶応四年三月	家譲り主徳兵衛他一名平組次輔殿他一名	一丁	一三五七
(納米)	(慶応四年)辰三月四日	米屋月番	一丁	一三五七
(御上洛ニ付、御道中筋格別之旧家ニ而御由緒茂盛成者有之候ハ、取調可差出旨)	(慶応四年)三月八日	鳴海陣屋	一丁	一三五七
覚(納米)	(慶応四年)辰五月廿四日	米屋當番村方御衆中様	一丁	一三五七
御請書之事(徳川慶喜、天下之形勢を察し、政權を奉帰候ニ付)	(慶応四年)辰五月	何村	一丁	一三五七
乍恐御訴詔奉申上候御事(金談出入)	(慶応四年)五月	右訴訟人坂野三右衛門鳴海御陣屋	一丁	一三五七
讓渡申中家屋敷之事	慶応四年六月	家屋敷譲り主瑞泉寺桑名屋こう殿	一丁	一三五七
覚(納米)	(慶応四年)辰六月二日	米屋中	一丁	一三五七
覚(納米)	(慶応四年)辰六月廿七日	月番緒方米屋中	一丁	一三五七
乍恐御達申上候御事(当村字本川おゐて殺害人有之趣、番人申出)	(慶応四年)辰六月廿八日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御陣屋	一丁	一三五七
乍恐御請書之事(字本川おゐて被切殺候真五郎所持之品)	(慶応四年)辰六月廿九日	鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名鳴海御陣屋	一丁	一三五七
(博奕之所業有之趣相聞、吟味)	(慶応四年)辰六月		一丁	一三五七
乍恐御達申上候御事(盜難品)	(慶応四年)辰六月	鳴海村小鳴海分又兵衛鳴海御陣屋	一丁	一三五七
乍恐御達申上候御事(私儀被盜取候品々御返)	(慶応四年)辰六月	鳴海村前之庵分中井源七郎鳴海御陣屋	一丁	一三五七
乍恐御達申上候御事(盜品見積直段)	(慶応四年)辰六月	鳴海村前之庵分中井源七郎鳴海御陣屋	一丁	一三五七
(寺社奉行より方今之時勢ニ付触)	(慶応四年)六月	寺社奉行所	一丁	一三五七
(津島三之丸等祭礼之儀ニ付触)	(慶応四年)六月	鳴海陣屋	一丁	一三五七

乍恐御達申上候御事(行倒非人死骸為取片付申度)(明治元年)辰十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名南郡御出張所	一丁	一五三
覺(善明寺非人小家人置候海東郡楠井村非人定藏飯米)(明治元年)辰十一月 鳴海村番人和吉御庄屋中様	一丁	一六四
乍恐御達申上候御事(当村久吉儀此節兵隊御召抱)(明治元年)辰十一月 鳴海村下郷弥兵衛南郡御役所	一丁	一六四
(村々散田之儀・山林開拓之儀等)(明治元年)辰十一月 鳴海村下郷弥兵衛	二丁	一六四
永代田地譲り渡し申証文之事(明治元年十二月 田地譲り主武兵衛他一名儀藏殿)	二丁	一四三
質流讓渡申田地之事(明治元年十二月 讓渡主新三郎他二名萬屋初藏殿)	一丁	一四三
質流讓渡申田地之事(明治元年十二月 譲り主徳右衛門他三名沢島屋徳三郎殿)	三丁	一六三
差上申御請書之事(今般御一新ニ付助郷御組替)(明治元年十二月 藤森村源左衛門鳴海御伝馬所元ノ役下郷保藏他四名)	四丁	一六三
覺(御蔵米)(明治元年)辰十二月朔日 米屋當番御村方様	一丁	一五三
(還幸御道詞として五辻彈正大踰殿御登り、明十一日鳴海御通行ニ付順達)(明治元年)十二月十日 南郡出張所庄屋所	一丁	一五六
書簡(伊兵衛差出候証文一見)(明治元年)十二月廿七日 同下郷良之介下郷弥兵衛様	一通	一五二
乍恐御達奉申上候御事(勘右衛門後家伴吉右衛門、有松村おゐて御手附御同心衆様江御召捕)(明治元年)辰十二月 鳴海村庄屋弥兵衛他一名鳴海御陣屋	一丁	一四〇
乍恐御請書之事(鳴海村前之庵分古右衛門手鎖村預)(明治元年)辰十二月 鳴海村庄屋弥兵衛他一名鳴海御陣屋	一丁	一四〇

乍恐御請書之事(来巳年御物成之内御先納)(明治元年)辰十二月 相原村庄屋小三郎南郡御役所	一丁	一五二
乍恐御請書申上候御事(先納金当輪中村々江調達方)(明治元年)辰十一月 三州加茂郡寺部(村々寺部惣代助九郎南郡総管府御役所)	一丁	一四六
願上候御事(来巳年御物成引当先納)(明治元年)辰十二月 右(嶋田)村庄屋國藏鳴海村御惣代下郷善右衛門他一名	一丁	一四六
乍恐御達旁奉願上候御事(当村并相原村立合不時御普請所之儀)(明治元年)辰十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛南郡御役所	一丁	一四〇
乍恐奉願上候御事(愛智郡野並村甚平、当村江引越願)(明治元年)辰十二月 愛智郡鳴海村引請喜八南郡御出張所	二丁	一三八
天明二寅年当御陣屋御建初已来御代官進退之事(明治元年)辰八月十八才已上之者名前年齢取調可申出(明治二年)正月四日 南郡役所別紙村々庄屋	三丁	一四三
乍恐御達申上候御事(当巳八拾八歳已上之者、彦蔵母きの当巳九拾三歳)(明治二年)正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛南郡御役所	一丁	一四四
乍恐御願申上候御事(以極為替被成下度)(明治二年)巳十一月 鳴海村庄屋坂野三右衛門方御役所	二丁	一四二
人相書(陸前國百姓)(明治三年)庚午十二月 大政官	二丁	一三七
覺(当年年地子物成取立高御等ニ付取調)(明治三年)十二月廿六日 庄屋所郵傳所元ノ役衆様	三丁	一四三
(農兵取締役頭取)(明治四年)辛未四月五日 下郷善右衛門	一丁	一四四
乍恐奉願上候御事(村扣山神社御一新ニ付、北野金之助儀右社人ニ仕、唯一神道を以神務等為仕申度)(明治四年)五月	三丁	一四六

乍恐奉願上候御事(名古屋岡鍛冶町久兵衛倅久太郎・久吉、私懸り人仕為引越申度)(年代未詳)子正月 鳴海村左衛門 々鳴海御陣屋	二丁 一六四
〔当村持分御山之内ニ而透伐枝下シ為仕度〕(年代未詳)子正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御陣屋	一丁 一六八
乍恐御達申上候御事(当村扇川定式御普請所之儀)(年代未詳)子三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御陣屋	一丁 一六八
乍恐御達申上候御事(当村又四郎儀、買請候鉄砲藏物之由)(年代未詳)子四月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御陣屋	二丁 一六八
乍恐御達申上候御事(山砂留取直方)(年代未詳)子五月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御陣屋	一丁 一六九
乍恐御達申上候御事(当村田方之儀虫氣相見候付、火振虫私取斗願)(年代未詳)子六月廿六日 鳴海村庄屋下郷次郎右衛門々鳴海御陣屋	一丁 一六九
乍恐御達申上候御事(当村扣定式御入用御普請場所方伏替願)(年代未詳)子六月 鳴海村庄屋金三郎他一名々鳴海御陣屋	二丁 一六九
覚(味噌・溜り差送り)(年代未詳)子八月廿八日 大野村庄屋平野彦右衛門々鳴海御陣屋	一通 一七〇
乍恐奉願上候御事(嘉永四年六月中追放友七儀、改心仕候ニ付、私懸り人ニ被仰付被下置候様)(年代未詳)子八月知多郡大高村九兵衛御陣屋	二丁 一七〇
乍恐御達申上候御事(当村方勘定立会役久野清吉儀、養母之忌ニ而今日引籠)(年代未詳)子九月四日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御陣屋	一丁 一七〇
乍恐御願奉申上候御事(落馬私共ニ御渡不被下ニ付嘆願)(年代未詳)子十二月 鳴海村機多物代市藏他一名々御庄屋衆中	二丁 一七〇

様・御組頭衆中様	
乍恐奉願上候御事(相組与頭太左衛門未進米皆済方)(年代未詳)子十二月 鳴海村庄屋下郷次郎左衛門他六名々鳴海御陣屋	二丁 一七〇
乍恐奉願上候御事(私夫故次郎左衛門兄熊吉改心ニ付、私懸り人ニ差加被成下度)(年代未詳)子三月 鳴海村次郎左衛門後家他三名々鳴海御陣屋	三丁 一七〇
乍恐奉願上候御事(私次男政吉、新屋敷村理蔵養子ニ差遣申度)(年代未詳)子三月 鳴海村次郎左衛門後家々鳴海御陣屋	一丁 一七〇
乍恐急奉願候御事(御進發御用人足)(年代未詳)丑五月三州寺部輪中惣代寺部庄屋愛助他二名々鳴海御陣屋	一三丁 一七〇
乍恐御達申上候御事(当村小八、扇川通において背積之味見当)(年代未詳)丑八月三日 鳴海村出穀締役坂野三右衛門他二名々鳴海御陣屋 付 書簡	一丁・一通 一七〇
鳴海宿高札場迄ケ所御修復(年代未詳)丑九月・寅二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛御陣屋	五丁 一七〇
乍恐御達申上候御事(当所越後屋丹右衛門儀、無宿兩人差留候ニ付遠方留)(年代未詳)丑九月廿日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名々鳴海御役所 (朱書)「八十二」	二丁 一七〇
乍恐御達申上候御事(当村八幡宮神託ニ付、笛太鼓打囃子挑灯相持申度)(年代未詳)丑九月廿六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名々鳴海御陣屋	一丁 一七〇
乍恐御達申上候御事(盜難届)(年代未詳)丑九月廿七日 鳴海村下郷清兵衛御陣屋	一丁 一七〇
乍恐御達申上候御事(旅人伊三郎盜賊一件)(年代未詳)丑十月廿五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名々鳴海御役所 (朱書)	一丁 一七〇

〔八十六〕	
〔他所稼調〕(年代未詳)丑十一月 丹組・平組・作組の庄屋衆中様	六丁 一七〇
覚(米相場)(年代未詳)丑十一月・寅十月	六丁 一七〇
乍恐御達申上候御事(当宿脇本陣土井新三郎儀駿府町奉行江出立日限并差添役人)(年代未詳)丑十一月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名々鳴海御陣屋	一丁 一七〇
乍恐御達申上候御事(鳴海宿脇本陣土井新三郎代倅金之助他一名、駿府町奉行所江出立ニ付、御印鑑御渡被成下置候様仕度)(年代未詳)丑十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名々鳴海御陣屋	一丁 一七〇
差上申御請書之事(井上河内守様御上坂被遊候処、諸事格外ニ御省略)(年代未詳)丑十二月四日 組合宿々取締役品川宿山本伴蔵々木村董平様御役所	一丁 一七〇
乍恐御請書之事(鳴海宿脇本陣土井新三郎、駿府町奉行所御召出ニ付、御関所御印鑑御渡)(年代未詳)丑十二月五日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名々鳴海御陣屋	一丁 一七〇
大和屋佐七諸色調書之覚(年代未詳)丑十二月廿八日 組頭庄兵衛他一名	三丁 一七〇
〔鳴海陣屋よりの触〕(年代未詳)丑十二月 下郷弥兵衛御別紙	七丁 一七〇
〔鳴海陣屋よりの触〕(年代未詳)丑十二月 下郷弥兵衛御別紙	一〇丁 一七〇
〔鳴海陣屋よりの触〕(年代未詳)丑十二月 惣代鳴海村下郷弥兵衛御別紙	八丁 一七〇
丑年免附(斷簡)(年代未詳)	一丁 一七〇

覚(前之庵六兵衛被捉米)(年代未詳)丑十二月 嘉十郎	三通 一七〇
覚(急拝借割合)(年代未詳)寅正月 相原庄屋下郷弥兵衛様御數願奉申上候(年貢未進御勘弁願)(年代未詳)寅正月 脇本陣大和屋佐七御方御役人御衆中様	一丁 一七〇
乍恐奉願上候御事(知多郡緒川村市郎平弟善兵衛、私懸り人ニ仕度)(年代未詳)寅二月 鳴海村更左衛門々鳴海御陣屋	二丁 一七〇
乍恐奉願上候御事(私倅嘉兵衛女房よふ、親元長蔵江懸り人ニ差遣申し度)(年代未詳)寅二月 鳴海村前之庵分故嘉兵衛祖母々鳴海御陣屋	二丁 一七〇
乍恐御達申上候御事(当村神社神主牧野采女宅江吉田殿御配下松岡相模ト名乗不審之者参リ一泊、逃去)(年代未詳)寅三月六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名々鳴海御陣屋	一丁 一七〇
乍恐御請書之事(謀書判を以金子借入候出入)(年代未詳)寅三月 相原町健助倅太助々鳴海御陣屋	三丁 一七〇
乍恐奉願上候御事(庚申堂守退堂願)(年代未詳)寅三月 愛知郡鳴海村瑞泉寺扣同村上町庚申堂守智玉々鳴海御陣屋	二丁 一七〇
乍恐書付を以御請申上候御事(諸御役人様方御支度代)(年代未詳)寅三月 鳴海庄屋上杉長左衛門(鳴海陣屋宛)	一丁 一七〇
覚(御蔵米)(年代未詳)寅四月十九日 当番締方々村方庄屋御衆中	一丁 一七〇
乍恐御達申上候御事(米直段連々昇り困窮)(年代未詳)寅四月 鳴海村下郷弥兵衛他一名々鳴海御陣屋	二丁 一七〇
乍恐奉願上候御事(扇川入津之諸荷物世話方御免願)(年代未詳)寅四月 鳴海村下郷右衛門八々鳴海御陣屋	三丁 一七〇
乍恐御達申上候御事(大風雨にて倒木)(年代未詳)寅五月 鳴海村庄屋坂野三右衛門往還方御役所	五丁 一七〇

乍恐奉願上候御事(当村儀右衛門後家事御吟味筋) (年代未詳)寅五月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名 鳴海御陣屋	一丁	二四六
乍恐奉願上候御事(当村扣定式御入用御普請場所伏替願) (年代未詳)寅六月 鳴海村庄屋取締役庄屋兼下郷弥兵衛他一名 鳴海御陣屋	三丁	二四二
〔今般御太切之御用物、東海道筋美濃路御差下ニ付、道橋見分〕 (年代未詳)寅七月廿三日 青山金左衛門・東海道・中山道・美濃路宿村川場役人中 (年代未詳)寅八月十六日 左衛門・横津・東海道・中山道・美濃路通り右宿々村々問屋・年寄・名主・組頭	四丁	二四〇
乍恐奉願上候御事(立毛生立振御見分之上、御救筋被成下置候様) (年代未詳)寅九月 鳴海村庄屋介右衛門八他三名 鳴海御陣屋	六丁	二四〇
覚(御蔵米) (年代未詳)寅十月十日 当番世話方 村方御庄屋御衆中	三丁	二四六
乍恐奉願上候御事(当御物成之内米百八拾石也、来冬迄御年延拝借被仰付被下置候様) (年代未詳)寅十二月 鳴海村惣年寄下郷次郎太他七名 鳴海御陣屋	四丁	二四二
乍恐奉願上候御事(米野村茂右衛門宿村送り) (年代未詳)卯正月十六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名 鳴海御陣屋	一丁	二四七
〔断簡〕 (年代未詳)卯正月 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛他六名 鳴海御陣屋	一丁	二五〇
乍恐御達申上候御事(行倒非人屈) (年代未詳)卯二月十二日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛 鳴海御陣屋	一丁	二四四
覚(知多郡柿並村しけ入檻中諸入用受取) (年代未詳)卯二月	一丁	二四三
十三日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛 鳴海御陣屋	一丁	二四六
乍恐御請旁々奉願上候御事(村方おて身柄之者 窮民共江夫々喰続方取賄) (年代未詳)卯二月 赤池村庄屋徳兵衛 鳴海御陣屋	一丁	二四六
乍恐奉願上候御事(当新田收納米之内、金主清須村武田新蔵江可引渡分、差送り申度) (年代未詳)卯二月 鳴海宿伝馬新田肝煎牛毛荒井村治兵衛 鳴海御陣屋	二丁	二四六
乍恐奉願上候御事(私親類中鳴郡野崎村利兵衛停安蔵、私懸り人ニ仕度) (年代未詳)卯二月 鳴海村吉組徳三郎 鳴海御陣屋	二丁	二四六
乍恐奉願上候御事(熱田新宮坂町久四郎他四名、私懸り人ニ仕度) (年代未詳)卯三月 鳴海村甚七他家 鳴海御陣屋	二丁	二四六
乍恐御達申上候事(盜難屈) (年代未詳)卯三月 鳴海村松川平三郎他家 鳴海御陣屋	一丁	二四六
〔山屋敷〕 (年代未詳)卯三月 鳴海村庄屋取締役庄屋兼下郷弥兵衛他二名 御林方御陣屋	一丁	二四三
乍恐御請書之事(盜品見積直段) (年代未詳)卯四月 鳴海村本川弥三郎 鳴海御陣屋	一丁	二四四
乍恐奉願上候御事(志水甲斐守様御屋敷御私米売捌御米会所支配向之儀) (年代未詳)卯四月 鳴海村菊蔵他一名 鳴海御陣屋	三丁	二四四
乍恐奉願上候御事(大高村御米会所再興、当村江出会所ニ取斗申度) (年代未詳)卯四月 鳴海村菊蔵・伝兵衛 鳴海御陣屋	七丁	二四二
乍恐奉願上候御事(惣領仁左衛門勘当帳外願) (年代未詳)卯五月 鳴海村要蔵他二名 御陣屋	三丁	二四四
乍恐奉願上候御事(当宿役車取戻シ出入) (年代未詳)卯七月	四丁	二四二

鳴海村丹組与頭儀平 鳴海御陣屋	四丁	二三八
乍恐奉願上候御事(質屋職、同村清右衛門江讓渡願) (年代未詳)卯七月 鳴海村丹六 鳴海御陣屋	一六丁	二四〇
乍恐御請書之事(質屋職再興)他 (年代未詳)卯八月他 鳴海村下郷弥兵衛 鳴海御陣屋	三丁	二四九
乍恐御請書之事(鳴海村金次郎遠方留) (年代未詳)卯九月二日 鳴海村庄屋加藤平五郎他一名 鳴海御陣屋御手附衆様	五丁	二四〇
乍恐御達申上候御事(当村水鳥御運上場之儀) (年代未詳)卯十月 横根村庄屋又右衛門 鳴海御陣屋	一丁	二四九
御尋ニ付乍恐御達奉申上候御事(当所八幡宮社人久野越後殿扣御除地之儀) (年代未詳)卯十月 鳴海庄屋下郷弥兵衛他五名 鳴海御役所 (朱通)「四十一」	一丁	二四九
乍恐御達申上候御事(町奉行所 御呼出候付、差添罷出候) (年代未詳)卯十一月 鳴海庄屋下郷弥兵衛他一名 鳴海御陣屋	一丁	二五三
乍恐御達申上候御事(鳴海宿御本陣・脇本陣名前) (年代未詳)卯十一月 右(鳴海)村庄屋下郷弥兵衛 鳴海御陣屋	三丁	二四一
乍恐奉願上候御事(定納山松木透伐願) (年代未詳)辰正月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛 鳴海御陣屋	一丁	二四〇
乍恐奉願上候御事(私倅因次郎、大高村市郎右衛門江荻子差遣申度) (年代未詳)辰二月 鳴海村前之庵分与右衛門 鳴海御陣屋	一丁	二四〇
乍恐奉願上候御事(相原村新兵衛弟新右衛門、私江荻子ニ貰受申度) (年代未詳)辰二月 鳴海村又四郎 鳴海御陣屋	一丁	二四〇
乍恐奉願上候御事(私倅左左衛門儀勘当差免) (年代未詳)辰四月 鳴海村左左衛門親徳右衛門他四名 鳴海御陣屋	二丁	二四〇
乍恐奉願上候御事(当村扣定式御入用御普請場所伏替願)	七丁	二四二
(年代未詳)辰六月 鳴海村庄屋取締役庄屋兼下郷弥兵衛他一名 鳴海御陣屋	一丁	二四三
〔断簡〕 (年代未詳)辰八月 愛知郡鳴海村下郷弥兵衛 南郡御役所	一丁	二四三
送り状之事(替銭米五拾俵積送り) (年代未詳)辰十一月五日 ミノ尻毛村岡屋九左衛門 桐嶋屋勝蔵殿	一丁	二四〇
乍恐御請旁々奉願上候御事(野並村持藤川提出水打切候付、此度御普請) (年代未詳)辰十一月 鳴海村庄屋加藤平五郎他二名 南郡御役所	五丁	二四四
乍恐御達申上候御事(行倒非人) (年代未詳)辰十二月七日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名 南郡御出張所	一丁	二四六
乍恐奉願上候御事(商売向等相統願) (年代未詳)辰十二月 鳴海村前之庵分服部卯一郎 南郡御出張所	一丁	二四四
乍恐内々奉願上候御事(野並村持御普請方御支配藤川通北堤打切場所模様替之儀) (年代未詳)辰十二月 鳴海村惣年寄頭百姓下郷善右衛門他一名 南郡御役所	二丁	二四九
乍恐書付を以御達申上候御事(諸御通行之節々寺社門前掃除之儀) (年代未詳)巳三月 鳴海庄屋下郷弥兵衛 鳴海御役所 (朱通)「十八」	一丁	二四六
乍恐御達申上候御事(盜難屈) (年代未詳)巳四月廿六日 鳴海村次郎四郎 鳴海御役所 (朱通)「廿七」	一丁	二四七
〔前之庵服部卯八郎儀、常清村辰蔵初江懸り出入筋) (年代未詳)巳八月	一丁	二四四
乍恐奉願上候御事(御林方御陣屋へ御添翰願) (年代未詳)午三月 鳴海村下郷次郎太 鳴海御陣屋 (朱通)「四十八」	一丁	二四四
乍恐奉願上候御事(山屋敷小屋取建につき、御林方御陣屋	一丁	二四六

へ御添給願 (年代未詳) 年三月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名 鳴海御陣屋 (朱書)「四十七」	一丁	二四三
乍恐御達申上候御事 (氏神おゐて五穀成就祈禱仕候ニ付、組々挑灯相捧申度) (年代未詳) 年五月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名 鳴海御陣屋 (朱書)「五十三」	一通	二五七
覚 (鳴海村五郎八田六反六歩定納米) (年代未詳) 年五月 (覚) (年代未詳) 年七月 鳴海庄屋近藤小七他一名 八尾吉太夫	一通	二五八
差出申一札之事 (鍋嶋周防儀盜難一件) (年代未詳) 年十月廿四日 鍋嶋周防内南里五郎兵衛 尾州御領鳴海宿問屋中・庄屋中	二丁	二六六
乍恐御達旁奉願上候御事 (諏訪社境内松木伐採願) (年代未詳) 年四月 鳴海村庄屋下郷四郎兵衛他二名 鳴海御陣屋	二丁	二六七
乍恐再奉願上候儀 私家名相續仕、老父母養育仕度候付、永之御暇被下置候様 (年代未詳) 年六月十九日 青木与兵衛 練武方御役所	三丁	二四三
覚 (後欠) (年代未詳) 年十二月廿七日	一通	二五七
乍恐口上之覚 (米売買勘定相立不申儀ニ付、遠方江罷出候儀差留) (年代未詳) 年十二月 太右衛門他三名 下郷次郎四郎様	一通	二五九
〔断簡〕 (年代未詳) 西二月 右 (鳴海) 村庄屋下郷弥兵衛他七名 鳴海御陣屋	一丁	二四七
覚 (鳴海村古物・酒・質・小間物商人名前) (年代未詳) 西三月	一丁	二四九
乍恐御達申上候御事 (今般大風ニ付倒木届) (年代未詳) 西八月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛 御林方御陣屋	六丁	二九三
乍恐奉願上候御事 (酒造仕入ニ付、御米千石早稲米ニ而拌	三丁	一八九

借御願 (年代未詳) 西十月 靈岸嶋四日市町千代倉次郎兵衛 市谷御勘定所様	一五丁	一九四
西十一月廿二日 献金取立 (年代未詳)	五丁	一九二
乍恐奉願上候御事 (別段之宿入用相當候ニ付、返上納之儀 宅々御年延被成下置候様) (年代未詳) 西十二月 鳴海村庄屋松崎嘉十郎他三名 鳴海御陣屋	九丁	二五三
乍恐奉願上候御事 (赤池村初五ヶ村の鳴海宿往環江之車路 切開願) (年代未詳) 戊辰八月 赤池村庄屋源九郎他四ヶ村庄屋 鳴海御陣屋	八丁	一九五
成十一月廿一日 献金取立 (年代未詳)	二丁	二七六
覚 (受取) (年代未詳) 戊辰月 米屋 栗様	一八丁	二二三
乍恐奉願上候御事 (当村持分御山之内有松村百姓自分扣 松木透伐願) 他 (年代未詳) 年正月他 鳴海庄屋下郷弥兵衛他一名 御林方御陣屋	一丁	一九一
乍恐御達申上候 (格別之旧家之者無御座候) (年代未詳) 亥三月 鳴海庄屋 鳴海御陣屋	一丁	二四〇
乍恐御達申上候御事 (御内談之趣人質宜者植田村弥平他三名) (年代未詳) 亥五月 鳴海村惣代下郷弥兵衛 水野権平様	三丁	二四〇
乍恐奉願上候御事 (神明宮修葺願) (年代未詳) 亥十月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛他一名 鳴海御役所 (朱書)「四十六」	一丁	一八九
〔凶年打統一統難洪之時節、窮民共江施物等いたし候趣) (年代未詳) 亥十一月六日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛 鳴海御陣屋	二丁	二四六
乍恐奉願上候御事 (安政四年閏五月、村方欠払候 鳴海村枝 郷前之庵分文四郎妻子共、此節婦村願) (年代未詳) 亥十一月 右 (鳴海) 村庄屋下郷弥兵衛他一名 鳴海御陣屋	一通	二五二
差出申口上之覚 (相原町組内源四郎後家倅茂右衛門儀、病		

死ニ付診断書 (年代未詳) 亥十一月 鳴海村高嶋周作 南野村正行寺御役者	一丁	二六六
覚 (御小納戸矢田常右衛門様、岩屋寺御往來之節、人足御継立賃錢) (年代未詳) 亥十二月十九日 鳴海村庄屋下郷弥兵衛 鳴海御役所 (朱書)「五十六」	一丁	二六六
乍恐御達申上候御事 (千賀与八郎様 御家来伊奈伴蔵様御越之節、人足御継立賃錢) (年代未詳) 亥十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛 鳴海御役所 (朱書)「五十七」	一丁	二六六
〔間連文書カ〕		
覚 (春来) 他 (年代未詳) 正月十三日	三通	二四八
覚 (初蔵修繕代) (年代未詳) 閏二月 弥兵衛	一丁	二六三
〔達断簡〕 (年代未詳) 三月六日 往還方 東阿野村他五ヶ村庄屋 (紀伊中納言様御登御用) (年代未詳) 三月九日 鳴海庄屋 大高村初御庄屋中	二丁	二五〇
乍恐奉願上候御事 (当所御公札覆之儀) (年代未詳) 三月 鳴海庄屋下郷弥兵衛他一名 鳴海御役所 (朱書)「十九」	三丁	一九四
書簡 (男子出生ニ付、為御祝儀小袖一重御酒志禮) (年代未詳) 五月廿一日 忠藏 弥兵衛様	一通	二四六
〔鳴海村傳七、古手商売之者締役申付候) (年代未詳) 六月 心得書 (古手商売之儀、悪党者等吟味筋江付鑑札相渡締取 斗候答候) (年代未詳)	一丁	九〇〇
〔勘定之節吟味之事他断簡〕 (年代未詳) 七月十六日	一丁	八九九
覚 (扇川通ノレ所取繕人足代) (年代未詳) 七月 懸り作 (組) 清右衛門 御當番下郷弥兵衛様	四丁	二三八
右衛門 御當番下郷弥兵衛様	一丁	二〇三

〔鳴海諏訪明神東之往還道大高村持場迄草刈方取斗) (年代未詳) 八月五日 鳴海陣屋 鳴海村・大高村庄屋 (朱書)「八十八」	一丁	二四六
〔断簡〕 (年代未詳) 八月五日 此書付預り券助殿	一丁	二七五
〔米価高値ニ付、酒造元入之儀見合候様、町々酒造屋締役 江申渡) (年代未詳) 八月十一日 三善右衛門 右村々庄屋	一丁	二三八
〔田畑造作ニ付、綿布役銀御免) (年代未詳) 九月 (鳴海陣屋 カ) 庄屋・組頭・頭百姓宛	一丁	二三五
黒石御小倉行諸色代 (年代未詳) 九月 村井太平治	五丁	二四九
〔鳴海宿木賃宿せ儀、盗物質ニ置遺候段不埒ニ付、叱置) (年代未詳) 十一月	一丁	一九七
乍恐御達申上候御事 (旅之者差置候風呂敷包) (年代未詳) 十二月六日 鳴海村喜助 鳴海御役所 (朱書)「五十四」	二丁	二四〇
〔御用包紙) (年代未詳) 十二月廿一日 鳴海村庄屋 牛毛荒井村 初庄屋衆中	一通	二六二
〔監売方買方断簡) (年代未詳) 十二月	一丁	二七五
覚 (米式百石代金等) (年代未詳)	一丁	九三三
〔御払居米勘定) (年代未詳)	一〇丁	九六七
大急キ持廻リ (断簡) (年代未詳)	一通	一〇四
〔断簡) (年代未詳)	一丁	一〇四
〔御達留断簡) (年代未詳)	二丁	一九五
乍恐奉願上候御事 (知多郡大高村山口源兵衛儀、内輪世話 方御免) (年代未詳)	一丁	二四二
省掛文言 (今般依台命御上京) (年代未詳) 右省掛 村惣代	一丁	二四四

乍恐御尋ニ付御達奉申上候御事(肥物耕作仕法) (年代未詳)	六丁	三六五
田楽村庄屋梶田喜左衛門他一名杉浦七左衛門様御陣屋	一丁	三六五
口上(御屋敷様御役生場御運上銀上納) (年代未詳)	一丁	三六五
乍恐御達申上候御事(柏樹様御扣) (年代未詳)	一丁	三六五
(銀子請取) (年代未詳) 御普請方	一丁	三六五
(街道筋村々割付) (年代未詳) 鳴海村他五十二ヶ村	八丁	三六五
(断簡) (年代未詳)	一丁	三六五
(断簡) (年代未詳)	一丁	三六五
(断簡) (年代未詳)	一丁	三六五
(健左衛門御願断簡) (年代未詳) 親類甚助他六名御庄屋下	一丁	三六五
郷弥兵衛様	一丁	三六五
(鉢植法) (年代未詳)	二丁	三六五
(断簡) (年代未詳)	二丁	三六五
覚(断簡) (年代未詳)	一丁	三六五
(断簡) (年代未詳)	一丁	三六五
覚(断簡) (年代未詳)	一丁	三六五
(絵図断簡) (年代未詳)	一通	三六五
(断簡) (年代未詳)	一通	三六五
(勘定断簡) (年代未詳) 庄(屋)次郎四郎	一通	三六五
村 鑑	八丁	三六五
(愛知郡鳴海村村鑑帳) (年代未詳)	一通	三六五
覚(薬家届) (年代未詳) 九月七日 本組	一通	三六五
愛知郡鳴海村田方御年数引図面 (年代未詳) 明和四年大水	一通	三六五
之節砂入場処ノ記載アリ	一丁	三六五
絵図(鳴海村周辺カ) (年代未詳)	一丁	三六五
(字笹塚山屋敷周辺絵図) (年代未詳)	一丁	三六五
(当村浅間堂周辺絵図) (年代未詳)	一丁	三六五
(水袋新田絵図断簡) (年代未詳)	一丁	三六五
(定納山絵図) (年代未詳)	二丁	三六五
村 役 人		
帶刀御免之儀御改書上 鳴海宿頭百姓・組頭 安永三	一丁	三六五
年二月 鳴海宿庄屋近藤九左衛門ノ兄嶋幸左衛門様	一丁	三六五
覚(手代六人・下郷善右衛門御扶持方) (年代未詳) 巳十月	一通	三六五
倒家・御救銀		
倒家書上帳 天保八年八月 鳴海村	一丁	三六五
天保八百年倒家之者江御救銀割渡判取帳 天保十二年	一丁	三六五
二月 鳴海村	一丁	三六五
乍恐御達申上候御事(添家菅軒出火) (嘉永二年) 丑二月	一丁	三六五
鳴海村庄屋下郷保之助他一名鳴海御陣屋	一丁	三六五
田面荒達倒家半倒書上帳 慶応二年八月七日 庄屋下郷弥兵衛	一丁	三六五
覚(倒家届) (年代未詳) 九月七日 次郎七	一通	三六五

(たをれ家式軒断簡) (年代未詳)	一通	三六五
乍恐奉願上候御事(御膳米御開帳ニも御振替ヲ以御免被成下置候様) (嘉永六年) 丑八月 鳴海村庄屋下郷保之助他一名	一丁	三六五
鳴海御陣屋	一通	三六五
(御用米) (年代未詳) 十月七日 鳴海庄屋	一通	三六五
類 母 子		
預り申金子之事(類母子) 文久三年十一月 金子預り主龍山常	一通	三六五
八他二名ノ藤助頼母子御連中様	一通	三六五
株 田 置		
馬堀村内取調一件 慶応二年二月 取扱下郷弥兵衛	一四丁	三六五
御用番馬草一件 慶応二年七月 懸り下郷弥兵衛	一三丁	三六五
治安・訴訟		
打 擲・切 害		
乍恐御欺訴奉申上候御事(夫婦別レ身上別ケ仕候ニ、横合より邪魔いたし理不尽打擲仕候出入) 文久三年	一丁	三六五
七月 右新吉ノ鳴海御陣屋	一丁	三六五
御国堀部與市殿同道人定三郎儀爲屋友吉を致切害候	一丁	三六五
一件 文久三年十一月 下郷弥兵衛	一丁	三六五
鳴海村庄屋文書		
書簡(其御村方吉五郎被切殺候一件) (年代未詳) 六月廿八日	一通	三六五
鳴海同役下郷弥兵衛ノ常滑村庄屋衆様	一通	三六五
荷物取失・背米		
平右衛門(尋左之通(忠助ノ請合持運候荷物取失候一件) (年代未詳) 二月八日 平右衛門ノ六二郎殿他一名	一通	三六五
(荷持運ひ取失候一件) (年代未詳) 二月九日 忠助他三名	一通	三六五
付、包紙	一通	三六五
(糖買受、背之場所江壳私) (年代未詳) 起村喜左衛門他	一通	三六五
乍恐書付を以奉申上候事(大脇村源九郎背米ニ付、当村番人和吉(米壹石四升被下置) (年代未詳) 鳴海村庄屋	一通	三六五
番 人		
(去年十二月九日、信高甚之丞檢定次郎召捕一件ニ付、番人共江島目差遣) (安政二年) 十月 (鳴海陣屋) 鳴海村・大高	一通	三六五
村庄屋江	一通	三六五
覚(海東郡大井村弥右衛門他入檻中諸人用受取) (年代未詳)	一丁	三六五
寅三月六日 鳴海(村)庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御陣屋	一通	三六五
覚(番人江渡シ分) (年代未詳)	一通	三六五
(牢扶持断簡) (年代未詳) 十月朔日(十二月廿日	一通	三六五
穢多富蔵一件	一通	三六五
(穢多富蔵一件) 文政十一年十二月(文政十二年十二月 鳴海村庄屋下郷弥兵衛ノ鳴海御役所 (年代未詳) 九十二	一通	三六五

〔幾多富蔵一件〕 文政十二年五月、天保元年二月 鳴海村庄屋 七丁 一六三
下郷弥兵衛一名、鳴海御役所

藻草取場入会一件

乍恐御請書奉申上候御事〔横須賀村地先藻草みじ泥等取
一件〕（文政十年）亥十二月 何郡何村何右衛門、神田喜三
郎様御陣屋（朱筆）六十一 四丁 一七九一

乍恐御達申上候御事〔藻草一件〕 文政十一年二月 鳴海村 一丁 一七九二
庄屋下郷弥兵衛他一名、鳴海御役所（朱筆）六十一

〔藻草取場入会一件控〕 安政五年二月、八月 鳴海村庄 一丁 一六六
星下郷弥兵衛 一丁 一六六

地所戻一件

安政三辰年、右衛門八より差出地所戻一件 元治元年六月 四丁 一五三
鳴海村庄屋所

差出申証文之事〔安政三辰年吉井友右衛門等江讓渡候外残
地所之儀〕 元治元年六月 金剛右衛門八他三名、庄屋御衆中 一丁 一五〇

貸金出入

乍恐御訴詔奉申上候御事〔貸金滞出入〕（安政四年）巳 一丁 一五六
七月 鳴海村前之庫分服部卯八郎、鳴海御陣屋

借銀出入一件〔表紙〕（年代未詳）丑五月廿日、丑八月二日 一丁 一五三
吟味済 徳山石見守

分散

乍恐御敷願奉申上候御事〔喜兵衛分散一件〕 慶応三年八月 五丁 一六三
愛知郡鳴海村故喜兵衛組合惣代太助、御勘定御奉行所

乍恐奉願上候御事〔喜兵衛分散一件〕（慶応三年）卯八月 鳴 二丁 一六四
海村故喜兵衛組合惣代太助、鳴海御陣屋

離縁

小嶋良右衛門妻離縁ニ付親元加木屋平右衛門後家より 一丁 一七九
横須賀御陣屋江出訴一件 文久二年十二月、同三年三月
下郷弥兵衛

難渋

政治一件〔正治難渋一件〕（慶応二年）丙寅五月 春日井郡加 一三丁 一五九
嶋新田定蔵、廣瀬傳十郎様御陣屋

その他の出入

乍恐御敷訴奉申上候御事〔私娘とみ前借金奉公先之較り
反物質入方相頼候一件〕（元治元年）子五月 宿治平他十名 一〇丁 一五〇
、鳴海御陣屋

乍恐御答旁再三奉願上候御事〔預り荷物致押領不渡出入〕 八丁 一六二
（年代未詳）辰五月 愛知郡鳴海村下郷弥兵衛、鳴海御陣屋
書簡〔当村服部卯八郎、其御村辰蔵江懸り出入一条〕（年代
未詳）七月廿七日 鳴海村庄屋、北条村庄屋御衆中 一通 一五五

寺社

↓〔村政〕御用留（一〇頁以下）をも見よ

寺社書上

御国寺社書上之時鳴海覚書 元禄七年閏五月 一冊 一六七

愛知郡鳴海村惣人別旦那寺数覚 安政七年三月 一冊 一六〇
下郷弥兵衛扣

寺社之輩山伏人数并増減書上帳 文久四年二月 愛知郡鳴海村 七丁 一七一
寺社之輩山伏人数并増減書上帳〔案文〕 文久四年三月下 一二丁 一六七
郷弥兵衛

〔鳴海村寺社人数改〕（元治元年）子正月 真言宗東福院他二ヶ 五丁 一六二
寺一社

〔長光寺他七ヶ寺連印断簡〕（年代未詳） 一通 一六〇元

浅間社祭礼

書簡〔浅間社祭礼ニ付、湯立神楽修行仕候間、氏子中提灯献
燈願〕（年代未詳）九月十日 久野遠左、御庄屋御當番様 一通 一五八

誓願寺

買物帳 嘉永五年正月吉日 誓願寺納所 一冊 一六元

鳴海宿問屋・兼帯庄屋文書

鳴海宿

支配

触写

↓〔村政〕御用留（一〇頁以下）をも見よ

定〔道中雇人足等取締役写〕（宝暦八年）寅九月十八日 一冊 一六二

弾正・遠江、（東海道品川より守口迄）右宿々問屋・年寄 一冊 一六四

〔弘化五申二月十四日当宿飯賣女御免御書付之写〕 弘化 一二丁 一六四

五年二月十四日 鳴海宿惣年寄他 一通 一六六

廻紙〔道中御奉行様、御触書出候間、先格之通御相談申度〕 一通 一六六

（嘉永七年）二月十二日 問屋、下郷次郎八様他七名 一丁 一六六

御触書之写〔東海道鳴海宿人馬日、帳加賀御役所江可差出
もの也〕（安政二年）卯二月三日 加賀・播磨、問屋・年寄 一通 一六六

諸役・宿方入用

伝馬役

請合申御伝馬役之事 天明五年十二月 作（町）清助他一名、 一通 一六六
下御次郎殿

覚(鳴海宿伝馬役調達金請取)	嘉永六年十二月	鳴海御代官	一通	二〇四
所々鳴海宿問屋・庄屋 付、包紙				
乍恐御達申上候御事(御伝馬役成立方ニ付、当卯年分上納)			一丁	五九
安政二年十二月 鳴海宿問屋金三郎他一名々鳴海御陣屋				
乍恐御達申上候御事(当宿御伝馬役積金上納)	安政三年十二月		一丁	二〇三
鳴海宿問屋仕理良之助他一名々鳴海御陣屋				
乍恐御達申上候御事(当宿御伝馬役積金上納)	安政四年十二月		一丁	二〇七
鳴海宿問屋平右衛門他一名々鳴海御陣屋				
覚(当宿伝馬役)	(文久三年)亥十二月	鳴海宿問屋下郷秋之介	一丁	六五
他一名々鳴海御陣屋				
(御証文御伝馬地子引残)	(文久三年)亥十二月	下組太平次	三丁	六八
小七分利木様				
覚(伝馬銀他)	(年代未詳)		一通	二六四
助 郷				
乍恐御款願奉申上候御事(御手当金三割増願)	(嘉永七年)		四丁	四〇五
寅七月 鳴海宿問屋清兵衛他四名々鳴海御陣屋				
御尋ニ付乍恐奉申上候御事(人馬賃錢三割増被仰付、右別			二丁	四〇七
錢積立相成候分)	(嘉永七年)寅十月	鳴海宿問屋々鳴海御陣屋		
東海道鳴海宿定助郷村々人馬勤訳書上帳	嘉永七年十一月		一五丁	五七
(当正月廿日・五月五日)	東海道鳴海宿			
去丑年人馬繼立高	(安政元年)寅十一月	東海道鳴海宿問屋加藤平右衛門他三名	五丁	一八五
為取替申議定書之事(鳴海宿宿助郷人足繼立方之儀)	安政		三丁	五〇
二年三月 鳴海宿問屋加藤平左衛門他三名々助郷廿五ヶ村御庄屋中				
乍恐御達申上候御事(鳴海宿助郷人足繼立方之儀)	(安政二年)卯三月	鳴海宿問屋物代加藤平左衛門他三名々鳴海御陣屋	一丁	五九
大助郷江加入馬触当方究	安政二年六月十二日	問屋下郷弥兵衛	一七丁	一五二
乍恐以付紙奉願上候(正月分日ノ帳、宿送りを以御差下ケ被成下置候様)	安政二年四月	東海道鳴海宿問屋	三丁	五五
御談ニ付乍恐御請奉申上候(馬被下方之儀ハ、御免被成下置候様)	(安政二年)卯五月	鳴海宿問屋加藤平左衛門他三名々御陣屋	一丁	五五
覚(人足)	(年代未詳)亥十二月廿二日	藤蔵々納会所	一通	二六六
(こり馬・病馬等書上)	(年代未詳)九月廿四日		二丁	二七四
諸 入 用				
御公家衆様方御帰京ニ付御祝儀物入用帳	天明元年十月		一冊	一八六
(鳴海宿問屋)児玉代助				
表割金錢通(御勅使油小路様他御上京之節かき錢等)			一冊	二〇〇
天明三年正月吉日 西尾栄治他二名々表方下郷次郎八殿				
宿方諸入用仕分書上帳	天明五年六月	東海道鳴海宿	一冊	一八〇
覚(江戸々鳴海宿迄通シ駕籠人足代)	嘉永元年十月十一日		一通	二〇五
牛込破損町河内屋廣吉々千代蔵様				
鳴海宿入用(慶応元年)			五丁	二〇二
(二条御番頭本多肥後守様御与力御同心衆御泊り旅籠錢)			二丁	二七九
(年代未詳)子五月十三日	西尾栄治			

乍恐再奉款願候御事(御変革其外江付不時人馬御繼立	一冊	一六八
増入用御手当被下之儀)	(年代未詳)戌十二月	鳴海宿年寄問屋介兼下郷庄之介他十三名々鳴海御陣屋
書簡(熱田宿江及問合、当宿之儀、人足等用意いたし候付	一通	二四七
而ハ御繼立振見送り役人出方等西宿々ニ准シ取斗候)		
(年代未詳)六月十四日 問屋々下郷弥兵衛殿他二名		
覚(高木作十郎様御出取ニ付御宿泊代等)	(年代未詳)	一丁 二四九
(人足代断片)	(年代未詳)	四枚 三三
借用申金子之事(道中宿並ニ御訴詔(後欠力)	天和元年極月	一通 三
期日 鳴海問屋源右衛門他八名々(宛名未詳)		
借用申金子之事(問屋平蔵宿並ニ御訴詔(後欠力)	天和元年	一通 三
極月廿六日 問屋又市郎他五名々(宛名未詳)		
借用申金子之事(往還筋人足代不足之分借用)	元禄十四年十	一通 二〇三
二月 問屋又市郎他十一名々(宛名未詳)		
借用申金子之事(夜廻り人足代)	安永七年十二月	近藤九左衛門他一名々下郷次郎八殿
借用申錢之事(裕宮様御下向之節、諸入用ニ付)	寛政七年十	一通 六
一月 西尾長右衛門他六名々下郷勘左衛門殿		
覚(金子請取)	安政四年閏五月	問屋良之助他三名々御庄屋中
	一丁	二〇六
飯売女運上銀		
(鳴海宿飯売女運上銀之儀ニ付、太八郎殿被仰渡候)	(安政三年)辰十二月	(差出人・宛名未詳)
飯賣女取集銀小割帳	嘉永二年五月	鳴海宿問屋次郎左衛門他四名々鳴海御陣屋
	一丁	六六
	三丁	一六五

乍恐奉懇願候(鳴海宿飯売女御運上ノ件)	四丁	一六四
(明治四年)辛未八月 鳴海宿旅籠屋惣代山田助九郎他四名々駅邊御局		
鷹 遣 ひ		
差上申一札之事(鷹遣ひ)	安政四年五月九日	鳴海宿問屋金三郎他三名々吉田助次郎様代青山祐四郎様他一名
損 所 普 請		
御請書之事(美賀君様御下向已前ニ往還通リ損所等取繕可仕候)	安政二年八月十六日	鳴海宿問屋加藤平左衛門他一名
御廣敷御役人中様		
乍恐御達旁奉願上候御事(美賀君様御下向迄ニ御境川橋を初損所取繕可仕候)	安政二年八月十六日	鳴海宿加藤平左衛門他一名々鳴海御陣屋
(美賀君様御下向ノ節諸費用)	安政二年九月廿一日	鳴海宿
乍恐再奉願上候御事(往還通道橋等損所、早速御普請取懸		
リ、美賀君様御下向已前取繕仕度)	安政二年九月	鳴海宿問屋加藤平左衛門他一名々鳴海御陣屋
(今般御大切御用物御差下ニ付、東海道・中山道・美濃路道橋等見分爲御用、御勘定方被差遣)	(慶応二年)寅七月	廿七日 笠松御役所々石宿村々役人
拝 借 金		
拝借仕金子之事(当宿入用金ニ差詰り)	嘉永七年四月廿七日	
鳴海宿問屋惣代下郷幾久三郎他二名々鳴海御陣屋		

乍恐奉願上候御事(寅四月拝借金式百兩之願書扣) (嘉永七年)寅四月 鳴海宿問屋下郷四郎兵衛他五名ノ鳴海御陣屋	五丁	四〇〇
拝借仕金子之事 嘉永七年五月 鳴海宿問屋次郎左衛門他五名ノ鳴海御陣屋	一丁	二〇四
〔旅籠屋拝借金返上請取〕 (年代未詳)午十一月廿九日 鳴海陣屋ノ(鳴海宿)	一通	一五四
〔古拝借金返上請取〕 (年代未詳)午十一月廿九日 鳴海陣屋ノ(鳴海宿)	一通	一五五
〔脇本陣弥三右衛門門拝借金返上請取〕 (年代未詳)午十一月廿九日 鳴海陣屋ノ(鳴海宿)	一通	一四六
乍恐奉願上候御事(此節先々御金千式百兩也急拝借被仰付被下置候様) (年代未詳)戌十月 鳴海宿年寄問屋介兼下郷庄之介他十三名ノ鳴海御陣屋	一冊	一九九
乍恐奉願上候御事(此節先々御金式百兩也急拝借被仰付被下置候様) (年代未詳)戌十月 鳴海宿年寄問屋介兼下郷庄之介他十三名ノ鳴海御陣屋	一七丁	一九三
飯売女人別帳		
旅籠屋飯賣女人別帳 安政五年午正月 旅籠屋締役	一冊	一六五
宿村送り		
送り一札之支(越州福井在前屋村百姓重右衛門忤新五郎、	一丁	一八六

由井宿地内ニ而病氣指発ニ付、宿村送) 文政三年六月九日 尾州御領東海道鳴海宿問屋見玉代助ノ熱田宿より前屋村迄右宿村御役人中様	二丁	一八七
乍恐御達申上候御事(越州福井在前屋村百姓重右衛門忤、由比宿ノ宿村送) (文政三年)六月 鳴海宿問屋近藤佐兵衛他三名ノ鳴海御役所		
宿場		
問屋		
文政三辰九月名古屋おゐて鳴海ノ墨俣迄問屋参会取究 文政三年九月 墨俣ノ鳴海迄	三丁	一八五
文政三年問屋明細書 文政三年ノ天保五年 鳴海宿問屋	一冊	一八六
東問屋場再建願并ニ御落口一卷 安政二年二月ノ相願、同十一月 御落口下郷弥兵衛手扣付、廻状・書簡	一冊	一八六
御書付写(下郷弥兵衛儀、今般問屋兼役申付候) 嘉永四年三月 御代官渡辺源六郎様御手代加藤七左衛門様ノ差添庄屋下郷保之助	一丁	二〇七
乍恐御達申上候御事(鳴海宿村問屋庄屋隔年勤之儀) (嘉永七年)寅六月 鳴海宿村惣年寄下郷次郎八ノ鳴海御陣屋	三丁	四四
乍恐奉願上候御事(問屋役之儀退役願) (安政四年)巳閏五月 鳴海宿問屋・庄屋兼加藤平左衛門他七名ノ鳴海御陣屋	二丁	五二

乍恐奉願上候御事(問屋代助儀、当病ニ付出頭日延願) (年代未詳)巳八月十九日 尾州鳴海宿問屋代助他二名ノ辻甚太郎様御役所	一通	三三三
乍恐奉願上候御事(当病ニ付罷出差延願) (年代未詳)巳八月十九日 尾州鳴海宿問屋代助他二名ノ辻甚太郎様御役所	一通	三六九
〔鳴海駅元方印鑑〕 (年代未詳) 付、包紙	一通	一四九
公武の通行・宿泊		
天明八申年晦日附書拔(御休泊) 天明八年 御参府御屋休ニ付御出驛御役人様御宿割 (安政四年)巳正月 鳴海問屋・庄屋ノ鳴海御陣屋	一通	三三三
御老中脇坂中務大輔様御止宿ニ付御出驛御役人様御宿割 (安政四年)巳十一月 鳴海問屋・庄屋ノ鳴海御陣屋	二丁	五〇
壽操院様御泊御用一卷 文久三年四月五日 下郷弥兵衛	一冊	一六五
写(一橋様御通行ニ付、御休泊之宿場其外共物騒ニ而御同勢ニ紛込候哉) (文久三年)十一月五日 新居宿問屋ノ白須賀宿より熱田まで御問屋御役人中様	一丁	九三
〔一橋様御供之御役々様、鳴海御通行ニ付、此段知らせ申上候〕 (文久三年)十一月七日 問屋ノ庄屋衆中様	一通	九三
御上使逸見若狹守様鳴海御馳走所御用一卷 元治元年八月 下郷弥兵衛	一冊	一八四
貞慎院様・御姫様御泊ニ付御出驛御役人様御宿割 (元治元年)子十一月 鳴海宿問屋・年寄ノ鳴海御陣屋	二丁	一〇七
慶応貳年寅七月ノ御休泊御役人姓名等々達 慶応二年 七ノ八月 鳴海長	一四丁	一五七

鳴海駅江御使ニ付先触(紀州様御通行) (年代未詳)丑三月朔日 渡辺采女内坂本竹藏ノ鳴海宿問屋衆中 付、包紙	一通	三三三
御老中井上河内守様御下御泊ニ付御出驛御役人様御宿割 (年代未詳)寅四月 鳴海問屋・庄屋ノ鳴海御陣屋	三丁	一八六
若年寄増山対馬守様御下御泊ニ付御出驛御役人様御宿割 (年代未詳)寅八月四日	三丁	三三九
御上洛御用宿村役割 (年代未詳) 惣年寄下郷次郎太他	一冊	一六五
乍恐御答奉申上候御事(松平忠岐守様当宿御止宿ニ付) (年代未詳)	三丁	一八五
御老中稲葉民部大輔様御止宿ニ付御出驛御役人様御宿割并ニ村役人役割 (年代未詳)	二丁	一八六
治安		
無宿		
差上申一札之事(紀州七里之者川村久蔵と偽候無宿を差押訴出候ニ付、鳥目御渡、請証文) 寛政九年八月十九日 尾州愛知郡鳴海宿問屋代助他二名ノ辻甚太郎様	一通	二〇二
差上申一札之事(紀州七里之者川村久蔵と偽候無宿を差押訴出候ニ付、鳥目御渡、請証文) 寛政九年八月十九日 尾州愛知郡鳴海宿問屋代助他二名ノ辻甚太郎様	一通	二〇二
相對死		
〔飯賣奉公人せう・八事村正六相對死一件〕 (文久三年)亥	五丁	一七四

正月 奉公人抱主徳三郎他六名、鳴海御陣屋
乍恐御達申上候御事(米屋 喜兵衛抱飯売女つね与泊リ之旅
人和助儀不慮之疵所出来) (年代未詳)七月 一丁 三七四

変死・病死

差上申一札之事(旅人とも変死致候節相届候儀) 寛政十一年
八月廿七日 東海道品川宿問屋善兵衛他一名、大貫次右衛門様御
役所 一丁 一八三

乍恐御達申上候御事(於宿ニ変死等有之節道中御奉行所江
御注進) 文政二年六月 鳴海宿問屋下郷庄左衛門、鳴海御役所 一丁 一八四

芸州藩木原衛門殿西尾藤八所止宿病死一件 文久三年 翌飯一冊 一八八

四月 懸り御手代岡村武三郎様・高木秀介様 下郷良之介他三名 翌飯一冊 一八八

豊前中津奥平大膳大夫様御落中御広間役之由長沢七 翌飯一冊 一八八

大夫様御病死一卷 元治元年九月十三日 御同藩御徒格之由
御同宿松本彦五郎殿他二名 一八八

乱防

乍恐□□奉願上候御事(当所裏方之者乱妨一件) (年代未詳) 八丁 一八八

丑四月廿四日 旅籠屋惣代津国屋鉄蔵他二名、鳴海御陣屋 二丁 一八八

乍恐奉願上候御事(鳴海村丹組治三郎悖治助初之者共乱妨
一件) (年代未詳)丑四月 旅籠屋惣代津国屋鉄蔵他二名、鳴海
御陣屋 二丁 一八八

乍恐御達旁奉願上候御事(鳴海宿馬士歩役車曳之者共米屋
四五軒江乱妨仕候一件) (年代未詳)寅三月 鳴海宿問屋惣代 三丁 一八八

下郷秋之介他五名、鳴海御陣屋

盗難

為御取替申一札之事(鳳臺院殿鳴海駅止宿之節、紛失之品
有之候ニ付) 文久三年正月五日 細川越中守内堀口角助、鳴
海宿問屋惣代下郷秋之助他二名 一丁 一八八

為御取替申一札之事(鳳臺院様盗難一件) 文久三年正月五日
鳴海宿問屋惣代下郷秋之介他二名、細川越中守内堀口角助
様他一名 三丁 一八八

乍恐御尋ニ付始末御答奉申上候御事(鳳臺院様盗難一件) 一〇丁 一八八

(文久三年)亥正月六日 鳴海宿問屋本陣土井新三郎、鳴海御陣屋 三丁 一八八

乍恐御達申上候事(鳳臺院様盗難一件) (文久三年)亥正月六
日 鳴海宿問屋下郷秋之介他二名、鳴海御陣屋 三丁 一八八

乍恐御達申上候御事(細川越中守様御庶兄故兵部大輔様御
後室鳳臺院様、当殿脇本陣ニ而紛失物有之由) (文久三
年)亥正月 鳴海宿問屋下郷秋之介他一名、鳴海御陣屋 二丁 一八八

九條様御内関口音五郎殿家米植草司盗難一件 慶応 翌飯一冊 一八八

三 年六月二日 御懸り岡本儀左衛門様・水野傳之助様 一通 一八八

覚(紀州様宮御七里衆御用金御本陣江參不申) (年代未詳)亥
十一月 児玉代助他二名、下郷次郎八殿 一通 一八八

召捕入用

乍恐奉願上候御事(名古屋信高甚之丞悖貞次郎、於当宿多
人数及殺害候一件、召捕御入用御渡被成下置様) (安政
二年)卯十二月 鳴海宿問屋金三郎他一名、鳴海御陣屋 一丁 一八八

覚(貞次郎召捕方江付、所々様出来取繕入用) (安政二年) 二丁 一八八

卯十二月 鳴海宿問屋 二丁 一八八

有松村

村政

村内軒別坪数書上帳

村内軒別坪数書上帳 (年代未詳) 尾州御領有松村 翌飯一冊 一八八

間米村

村入用

村下用

村下用書上帳 安政六年正月 右(間米)村庄屋源三郎他七名、 一三丁 一八八

鳴海御陣屋 一三丁 一八八

万延元年申御年貢三役銀之外村下用之覚 万延元年 愛知郡 四丁 一八八

間米村 四丁 一八八

万延元年申村下用建札之写 (文久元年)西二月 右(間米)村庄 四丁 一八八

屋下郷弥兵衛他七名、鳴海御陣屋 四丁 一八八

戸口

人数改帳・百姓家数馬数書上帳

愛知郡間米村人数御改帳・百姓家数馬数書上帳・御軍用御
備御札ニ付人数書上帳 元治元年三月 愛知郡間米村庄屋
下郷弥兵衛ひかへ 七丁 一八八

村政

御用留

間米村兼帶庄屋御用留 万延改元庚申十二月八日(文 翌飯一冊 一八八)

久元年(西九月) 下郷弥兵衛	二丁 二六五	乍恐御達申上候御事(間米村組庄屋圖右衛門退役) (慶応元年) 丑三月 右(間米)村庄屋下郷弥兵衛(鳴海御陣屋)	一丁 二七二
書簡控(間米村人別々條書を以御家老様江御内願取斗候儀ニ付) (文久元年) 六月廿日 下郷弥兵衛他一名(武藤来助様他一名)	四丁 二六三	乍恐御達申上候御事(間米村金左衛門組頭役相動候答) (元治元年) 子二月 右村庄屋下郷弥兵衛(鳴海御陣屋)	一丁 二七〇
乍恐御内願奉申上候御事(当村直助儀庄屋役ニ相成候より村方下用等追々相灣) (文久元年) 西六月 喜兵衛他二十九名	四丁 二六四	書簡(間米村組頭入札候旨) (年代未詳) 正月廿一日 石井半七他一名(下郷弥兵衛様)	一通 二六八
乍恐奉願上候御事(村方源三郎頭取ニ而都合三十三人申合、庄屋手前ニ後藤半筋有之旨申立) (文久元年) 西九月 間米村太三郎他五名(鳴海御陣屋)	一冊 一八三	救 米	
間米村兼帶庄屋御用留 文久二年正月(同年十月) 下 醫帳飯一冊	一丁 二六三	(当年大風雨高浪等之災害ニ付百姓共難渋之年柄ニ付御救米被下候) (万延元年) 申十二月 間米村	一通 二七三
乍恐御達申上候御事(上有知御支配所(無代)而可相渡格木植込方之儀) (文久三年) 亥正月 間米村庄屋下郷弥兵衛(鳴海御陣屋)	一丁 二六三	御救米渡判帳 万延二年二月 愛知郡間米村	一冊 二七四
乍恐御達申上候御事(当村本田新田共、当九日迄植付) (文久三年) 亥五月 間米村兼帶庄屋下郷弥兵衛他一名(鳴海御陣屋)	一丁 二六四	治 安・訴 訟	
乍恐御達奉申上候御事(当月七日夜大風ニ付、当村方寺社破損所等無御座候) (慶応二年) 寅八月 間米村兼帶庄屋下郷弥兵衛他一名(鳴海御陣屋)	一丁 二六二	元庄屋直助不正一件	
乍恐御達申上候御事(御札天降候付、銘々於居宅相祭り申候) (慶応三年) 卯九月 右(間米)村兼帶庄屋下郷弥兵衛(鳴海御陣屋)	一丁 二六〇	乍恐奉願上候御事(私養父故直助儀、但庄屋在勤中村方おるて引負筋有之趣、申立) (文久元年) 西十二月 間米村太三郎他四名(鳴海御陣屋)	二丁 二六五
村 役 人		乍恐奉願上候御事(間米村組庄屋故直助役中、於村方引負咎之仕向有之) (文久元年) 西十二月 間米村源三郎他四十二名(石川半七様他一名)	五丁 二六六
乍恐御達申上候御事(間米村佐兵衛・弥平兩人組頭役相動候答) (文久三年) 亥正月 右(間米)村庄屋下郷弥兵衛(鳴海御陣屋)	一丁 二七〇	愛知郡間米村文右衛門并妻子尋判取帳 文久二年正月 間米村兼帶庄屋下郷弥兵衛	六丁 二六八

乍恐奉願上候御事(私父故直助儀、組庄屋在勤中仕向ニ付) (文久二年) 戌二月 間米村太三郎他二名(鳴海御陣屋)	二丁 二六七	覺(泰・生綿等作り申候) (明治四年) 辛未九月 植田村兼庄屋	一丁 二四九
書簡(間米村一件段々吟味之上相分り) (文久二年) 九月十三日 間宮外記内棚橋半兵衛(下郷弥兵衛様)	一通 二六二	乍恐御達申上候御事(植田村圖左衛門柳助儀家出) (年代未詳) 卯十二月十七日 兼帶庄屋鳴海村下郷弥兵衛他一名(鳴海御陣屋)	一丁 二四八
強 盜		乍恐奉願上候御事(当村良右衛門・忠藏、未進米代金返済仕候様) (年代未詳) 卯十二月 植田村弥十(鳴海御陣屋)	三丁 二四九
植 田 村			
村 政			
御 用 留			
乍恐奉差上御請書之事(当年柄江付村方窮民共救筋儀被仰渡) (慶応三年) 卯二月 植田村庄屋代勘左衛門他二名(鳴海御陣屋)	一丁 二六九		
乍恐奉願上候御事(当村雨池締役退役願) (慶応三年) 卯五月 植田村佐平治(御小納戸御役所)	一丁 二六八		
乍恐御達申上候御事(当村百姓忠藏儀御用ニ付) (慶応三年) 卯七月 植田村兼帶庄屋下郷弥兵衛他二名(鳴海御陣屋)	一丁 二六五		
植田村年数引書付写 (明治四年) 辛未八月 横須賀出張所(植田)村庄屋	一丁 二六二		

下郷家文書

千代倉本家

酒 造 方

大行事(酒造米・酒糟積送り)

寛(酒造米高) 宝曆四年八月 愛知郡鳴海村下郷次郎八	一丁	一九五
寛(酒糟積送り) 寛政六年十二月廿五日 横江紋右衛門	一冊	三六三
下郷勘左衛門様		
寛(酒糟積送り) 寛政六年十二月 荒井村永井久右衛門	一冊	三六四
寛(鳴海組合) 去辰年中江戸表江差下候酒樽数 寛政九年正月 大行事鳴海村下郷勘左衛門他二名地方御役所	一通	六
寛(鳴海組合) 去辰年中江戸表江差下候酒樽数 寛政十一年正月 大行事鳴海村下郷勘左衛門他二名地方御役所	一通	二〇〇
借用申金子之事(当冬酒造仕入金借用) 寛政十一年十二月 下郷勘左衛門他一名外山善兵衛殿	一通	二二
寛(去未年中江戸表江差下候酒樽数) 寛政十二年正月 大行事鳴海村四郎兵衛他二名地方御役所	一通	二六
寛(去西年中江戸表江差下候酒樽数) 享和二年正月 大行事鳴海村四郎兵衛他二名地方御役所	一通	三四
寛(去西年中江戸表江差下候酒樽数) 享和二年正月 大行事鳴海村四郎兵衛他二名地方御役所	一通	二四
寛(去西年中江戸表江差下候酒樽数) 享和四年正月 大行事	一通	二七

千代倉東店

鳴海村四郎兵衛他二名鳴海御陣屋		
寛(去西年中江戸表江差下候酒樽数) 享和四年正月 大行事鳴海村下郷勘左衛門他二名鳴海御役所	一通	一四
寛(去西年中江戸表江差下候酒樽数) 享和四年正月 大行事鳴海村下郷勘左衛門他二名鳴海御役所	一通	一四
寛(去西年中江戸表江差下候酒樽数) 寛政十三年正月 大行事鳴海村下郷勘左衛門他二名地方御役所	一通	一四
酒造方寛帳 嘉永二年九月吉日 鳴海(宿)和泉屋兵左衛門	一冊	一五八
差出申一札之支(私共酒造米入津之儀) 安政三年十一月 酒造屋甚兵衛他三名庄屋御衆中・組頭御衆中	一丁	二〇〇
差上申御請書之事(酒造米入津之儀) 安政三年十一月 愛知郡鳴海村庄屋弥兵衛他三名鳴海御陣屋	一丁	二〇六
中村源三郎船積送り申事(酒九駄積送り) (年代未詳) 寅十一月十七日 大久保村兼子源四郎江戸北新川千代倉次郎兵衛殿	一通	一五〇
積送申酒之事(年代未詳) 寅閏十一月十七日 佐野治右衛門千代倉治郎兵衛殿	一通	三〇〇
乍恐追奉願上候御事(他所米千石買入御免) (年代未詳) 子九月 鳴海酒屋惣代下郷次郎八他一名御田半左衛門様	一通	二五六
乍恐奉願上候御事(酒造屋共之儀、御米四千石拜借願) (年代未詳) (差出人・宛名未詳)	一通	二五〇
乍恐書附定以奉願候御事(扇村願) (年代未詳) 閏十一月十日 半田村酒屋惣代半七々大行事様・御取扱人様	一通	二五
寛(去西十一月) 当戌年十一月迄預り、元利共 寛政二年	一通	九

十二月十五日 東店四郎兵衛十一印様
 寛(親音講金之内預り) 寛政二年十一月 領り主東店四郎兵衛
 他一名親音講御衆中

千代倉江戸店

証文之事 寛政元年九月 江戸店 同次郎兵衛千代倉次郎八殿	一通	六
江戸店状留 文化七年二月十三日十二月廿九日 千代倉	一冊	二〇
乍恐以書奉願上候(送り酒荷物前貸金出入) 寛政四年四月 訴訟人靈岸崎銀町式丁目新兵衛店庄助頼代付代又兵衛他一名、相手小堀縫殿様御代官所撰津国豊嶋郡池田内田町家持三郎御奉行様	一通	二三
江戸店状留 文化八年正月十三日十一月廿三日 千代倉	一冊	二
乍恐奉願上候御事(私本家下郷次郎八、江戸表出店千代倉勘右衛門身上向江戸、為取締罷越申度) (嘉永七年) 寅五月 鳴海問屋・庄屋兼弥兵衛・鳴海御陣屋	一丁	四〇三
寛(江戸店為替金請取) (年代未詳) 西四月五日 外山弥次右衛門下郷次郎八様	一通	二六

通 手 形

通手形 嘉永五年正月吉日 津国屋傳兵衛千代倉勘右衛門殿	一冊	一六八
通手形 嘉永五年正月吉日 神田町町泉屋徳兵衛千代倉勘右衛門殿	一冊	一六七
通手形 嘉永六年正月吉日 数寄屋橋紙屋如兵衛千代倉勘右衛門殿	一冊	一六九

下郷家文書 千代倉本家

金 融

金 右 衛 門

通手形 嘉永六年正月吉日 萬屋新兵衛千代倉勘右衛門殿	一冊	一六二
通手形 嘉永六年正月吉日 新宿伊勢屋生次郎千代倉勘右衛門殿	一冊	一六三
通手形 嘉永七年正月吉日 淡川乳熊佐兵衛千代倉勘右衛門殿	一冊	一六八
通手形 嘉永七年正月吉日 津川乳熊佐兵衛千代倉勘右衛門殿	一冊	一六〇
通手形 嘉永七年正月吉日 新宿伊勢屋市兵衛千代倉勘右衛門殿	一冊	一六三
通手形 嘉永七年正月吉日 内田甚右衛門千代倉勘右衛門殿	一冊	一六四
通手形 嘉永七年正月吉日 四ッ谷伝馬町中屋源七々千代倉勘右衛門殿	一冊	一六五
通手形 嘉永七年正月吉日 八丁堀虎屋善右衛門千代倉勘右衛門殿	一冊	一六六
通手形 嘉永七年正月吉日 本町伊勢屋嘉兵衛千代倉勘右衛門殿	一冊	一六七
通手形 嘉永七年正月吉日 伊勢屋吉之助千代倉勘右衛門殿	一冊	一六八
借用申金子之事 延宝元年十二月廿八日 左助他二名金右衛門殿	一通	一六四

借用申金子之事(多之夏見取御新田檢地入用ニ借用)	天和	一通
三年六月 善施庵村与頭太左衛門他六名 ^(高野村) 金右衛門殿	天和	一通
借用申金子之事(落合村池堤普請所人足日用賃借用)	天和	一通
三年九月六日 下中町五郎右衛門他一名 ^(高野村) 金右衛門殿	天和	一通
借用申金子之事(御用金借用)	天和三年十月廿一日 下中町五郎右衛門他一名 ^(高野村) 金右衛門殿	天和三年十月廿一日
借用申金子之事	天和三年十一月十六日 かり主平七郎他一名 ^(高野村) 金右衛門殿	天和三年十一月十六日
借用申金子之事(御年貢ニ指詰借用)	天和三年十二月廿一日 次右衛門 ^(高野村) 金右衛門殿	天和三年十二月廿一日
借用申金子之事(組中御年貢ニ差詰り借用)	天和三年極月廿四日 与頭善左衛門他四名 ^(高野村) 金右衛門殿	天和三年極月廿四日
借用申金子之事(御年貢ニ差詰り借用)	天和三年極月廿四日 かり主庄兵衛他一名 ^(高野村) 金右衛門殿	天和三年極月廿四日
借用申金子之事(御年貢ニ差詰り借用)	天和三年極月廿四日 かり主源左衛門他一名 ^(高野村) 金右衛門殿	天和三年極月廿四日
借用申金子之事(御年貢ニ指詰り借用)	天和三年十二月廿八日 かり主權左衛門他二名 ^(高野村) 金右衛門殿	天和三年十二月廿八日
借用申金子之事(御年貢ニ差詰り借用)	天和三年十二月廿八日 相原町かり主清八他二名 ^(高野村) 金右衛門殿	天和三年十二月廿八日
預り申御蔵米之事	天和三年極月 預り主御蔵番五左衛門他七名 ^(高野村) 金右衛門宛	天和三年極月
借用申米之事(御年貢ニ指詰り借用)	天和三年極月 相原村 かり主助太郎他三名 ^(高野村) 金右衛門殿	天和三年極月
借用申御蔵米之事(御年貢ニ差詰り)	天和三年極月 かり主	天和三年極月

借用申金子之事 貞享元年七月 かり主身之内与頭六太夫 （宛名未詳）	一通	二〇六
借用申金子之事 貞享元年八月廿三日 借り主藩右衛門 （宛名未詳）	一通	二〇六
借用申金子之事 貞享三年極月 かり主五左衛門他一名 （宛名未詳）	一通	二〇六
預り申御蔵米之事 貞享三年極月 かり主五左衛門他六名 （宛名未詳）	一通	二〇六
借用申御蔵米之事 貞享三年極月 かり主分六他五名 （宛名未詳）	一通	二〇六
借用申金子之事 貞享三年極月 かり主喜兵衛他一名 （宛名未詳）	一通	二〇六
借用申金子之事 元禄九年十二月廿六日 かり主庄右衛門他一名 （宛名未詳）	一通	二〇六
借用申金子之事 元禄九年極月 かり主文六他五名 （宛名未詳）	一通	二〇六
借用申米之事 元禄十四年十二月廿二日 相原村庄屋かり主孫右衛門他三名 （宛名未詳）	一通	二〇六
借用申金子之事 元禄十四年十二月廿七日 相原村かり主庄や七右衛門他二名 （宛名未詳）	一通	二〇六
借用申金子之事 元禄十四年極月 かり主彦三郎他一名 （宛名未詳）	一通	二〇六
借用申金子之事 元禄十五年二月十三日 相原村庄や七右衛門	一通	二〇六

借用仕金子之事 享保六年十二月 かり主本地村孫左衛門他一名 一通 一六六

借用中金子之事〔前々御未進賄差詰借用〕
元文四年極月
力
一通
二三

主平(部町)忠助他二名、下郷次郎八殿
借用金子之事(当年暮要用之儀ニ付借用) 安永三年十二月 一通 二六

月 金借用主清三郎他一名、丁紙、改良ノ風
借用申金子之事(当未暮廻年貢ニ指詰リ借用) 安永四年閏十 一通 三七

借用申金子之事(当未暮御年貢ニ差詰り借用) 安永四年閏十二月 借主九郎治他二名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(当未暮御年貢ニ指詰り借用) 安永四年十二月 金かり主忠兵衛他三名下郷次郎八殿	一通 三七
借用申金子之事(去未年暮御年貢金不足之分借用) 安永五年六月 組頭千十郎他三名下郷次郎八殿	一通 三〇
借用申金子之事(当中夏御年貢金借り入) 安永五年六月 市郎兵衛他一名下郷次郎八殿	一通 三〇
借用申金子之事(麥御年貢代差支借用) 安永五年六月 相組惣代清右衛門他二名下郷次郎八殿	一通 三三
借用申金子之事(当麦金ニ差詰り借用) 安永五年六月 作組頭又藏他二名下郷次郎八殿	一通 三三
借用申金子之事(申夏麥御年貢取立不足ニ付借用) 安永五年六月 かり主組頭久兵衛他三名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(益前要用ニ借用) 安永五年七月 借り主市郎兵衛他一名下郷次郎八殿	一通 三三
借用申金子之事 安永五年七月 金かり主平(郡町)清藏他一名下郷次郎八殿	一通 三六
預り申金子之事 安永六年十一月 下郷大夫助昌雄他一名下郷次郎八殿	一通 三七
覚(銭借用) 安永七年三月 近藤九左衛門他一名下郷次郎八殿	一通 三五
覚(名古屋宿近江屋太助方へ為見舞借用) 安永八年四月 近藤九左衛門他一名下郷次郎八殿	一通 三七
借用申金子之事(当中嶋橋繕之節、大工ノ手伝御用代借用) 安永八年七月 下郷金石右衛門他二名下郷次郎八殿	一通 三九

覚(出水之節、名古屋の批把嶋迄御注進之者人足代借用) 安永八年八月 下郷金石右衛門他二名下郷次郎八殿	一通 三八
借用申金子之事(勅使油小路前大納言様等御下向之節費用) 安永八年八月 当番取扱見玉代助他二名下郷次郎八殿	一通 三〇
借用申金子之事(東福院寺社金借用) 安永八年十一月 近藤九左衛門他二名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(殿様本地村江御成之時、諸人足代借用) 安永八年十一月 近藤九左衛門他三名下郷次郎八殿	一通 三六
添證文之事(明和四年借用金返済) 天明元年十二月 作(組)忠兵衛後家他二名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(当丑之暮御年貢ニ差詰り借用) 天明元年極月 金かり主笠寺村孫兵衛他一名下郷次郎八殿	一通 三七
安永二已年御取替金六拾兩元利之内江請取通 天明二年七月 永井松右衛門下郷次郎八殿	二丁 二七六
借用申金子之事(家相求申候ニ付借用) 天明二年十二月 金かり主作町磯右衛門他二名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(相原村長七組の高割ニ而我等支配百石石江御当金借用) 天明二年八月 百石石庄屋又七郎他一名下郷次郎八殿	一通 三三
地中取替益前可済分 天明三年七月 下郷次郎八	積帳一冊 二八四
金銀銭之通(御勅使油小路大納言様他御下向之節借用等) 天明四年正月吉日(閏正月)十一月 西尾榮治他二名下郷次郎八殿	積帳一冊 二七五
借用申金子之事(相組其元御扣過米之内ニ而借用) 天明四年十二月 借用主下郷善右衛門他二名下郷次郎八殿	一通 三三
借用申米之事(御米進米ニ差詰り借用) 天明五年三月 かり	一通 三六

主下(組)庄右衛門他一名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(当中夏御年貢弘難成候付借用) 天明五年七月 金借主喜文助他二名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(上掲麦代金借用) 天明五年八月 下郷次郎四郎他二名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(当中已之暮御年貢ニ差詰り借用) 天明五年十一月 伝馬新田庄屋次兵衛他五名下郷次郎八殿	一通 三三
借用申金子之事(当中已之暮先納金差詰り借用) 天明五年十一月 相原村庄屋借り主久三郎他三名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(困窮ニ付借用) 天明五年十一月 相原村かり主庄屋長七郎他十五名下郷次郎八殿	一通 三二
借用申金子之事(御年貢并作食ニ差詰り借用) 天明五年十一月 平手新田庄屋借り主伝右衛門他九名下郷次郎八殿	一通 三三
借用申金子之事(当中已暮御年貢ニ差詰り借用) 天明五年十二月 (借主名キトリ)他二名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(当中已暮御年貢ニ差詰り借用) 天明五年十二月 かり主丹藏他三名下郷次郎八殿	一通 三三
借用申金子之事(当中已暮御年貢馬役渡金借用) 天明五年十二月 金借り主清助他二名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(当中已暮御年貢差詰り借用) 天明五年十二月 作(町)清助他一名下郷次郎八殿	一通 三五
借用申金子之事(当中已暮御年貢ニ差詰り借用) 天明五年十二月 かり主相原村彦右衛門他二名下郷次郎八殿	一通 三三
借用申金子之事(当中已暮御年貢ニ差詰り借用) 天明五年十二月 傍本村金かり主保三郎他一名下郷次郎八殿	一通 三六

借用申金子之事(当中春問屋表へ払金ニ借用) 天明六年二月 金借り主熟田(宿)看屋文助他二名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(馬買代金借用) 天明六年五月 金かり主作(町)清助他一名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(飼葉相求候ニ付借用) 天明六年十月 金かり主作(町)清助他一名下郷次郎八殿	一通 三六
覚(御役馬売替足シ金借用) 天明六年閏十月 金かり主下(組)丹藏他一名下郷次郎八殿	一通 三三
借用申金之事(当中秋凶作ニ付借用) 天明六年十一月 金かり主安兵衛他六名下郷次郎八殿	一通 三三
借用申金子之事(当中之暮先納金差詰り借用) 天明六年十一月 相原村庄屋借り主久三郎他三名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(肥代払方) 天明六年十一月 金かり主八松(村)新助他二名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(当中之暮賄金ニ差詰り借用) 天明八年十二月 相川かり主源四郎他三名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事 寛政元年十二月 見玉代助他六名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(御拝借返納御利足金) 寛政二年正月 見玉代助他四名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事 寛政二年二月 近藤九左衛門他二名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(本陣掃除人足代) 寛政二年三月 嘉吉他一名下郷次郎八殿	一通 三六
借用申金子之事(本陣掃除人足代) 寛政二年三月 嘉吉他一名下郷次郎八殿	一通 三六

借用申錢之事(本陣人足代)	寛政二年四月	嘉吉他一名々下郷次郎八殿	一通	六
借用申金子之事(犬殺シ褒美銭借用)	寛政二年四月	嘉吉他一名々下郷次郎八殿	一通	六
借用申金子之事(御伝馬渡金借用)	寛政二年十二月	金借り主作(町)清助他二名々下郷次郎八殿	一通	六
借用申金子之事(夫銀借用)	寛政三年二月	金かり主百老石支配惣兵衛他一名々下郷次郎八殿	一通	五
借用申錢之事(そうし人足并道具番人足代借用)	寛政三年五月	嘉吉他一名々下郷次郎八殿	一通	三
覚(百老石三日役・御伝馬銀借用)	寛政三年六月	百老石支配惣兵衛他一名々下郷次郎八殿	一通	七
覚(百老石加人足代借用)	寛政三年七月	百老石支配惣兵衛他一名々下郷次郎八殿	一通	三
覚(当亥暮分利金請取)	寛政三年十二月七日	笠寺(村)太左衛門下郷治郎八殿	一通	二〇二
借用申金子之事(年貢米蔵入之節、運賃諸入用借用)	寛政三年十二月	弥兵衛他一名々下郷次郎八殿	一通	四
借用申金子之事(人足代借用)	寛政四年七月	弥兵衛他二名々下郷次郎八殿	一通	五
借用申金子之事(当秋村入用借用)	寛政四年八月	近藤小七他四名々下郷次郎八殿	一通	二三
添證文之事(享和武戌年、下郷次郎八其元ニ而借用)	文政	一丁	一六〇	
添證文之事(享和二戌年、下郷次郎八其元ニ而借用)	文政	一丁	一六二	
取喰人山崎徳左衛門他三名々次郎蔵殿	文政	一丁	一六二	
差出用一札之事(水車之地所借用)	文政九年四月	地所借用主太右衛門他二名々下郷次郎八殿	一通	一四
差出申證文之事(水車譲り受、滞候御年貢引請)	文政九年四月	水車扣主太右衛門他二名々下郷次郎八殿	一通	三五
覚(家作助成金)	文政十年八月十四日	松崎嘉十郎下郷次郎八様付、書簡	一通	三五
覚(岡崎表頼母子懸金入用)	文政十一年四月廿二日	松崎嘉十郎下郷次郎八様	一通	四七
借用申金子之事	(年代未詳)丑十月十四日	かり主加右衛門他一名々(宛名未詳)	一通	一六
借用申金子之事	(年代未詳)己十一月廿三日	近藤小七下郷次郎八殿	一通	一六
借用申金子之事(問屋払差詰、借用)	(年代未詳)午七月十五日	宮小□や分助他二名印消シ下郷次郎八様	一通	一六
覚(家作助成金)	文政十年十月十五日	松崎嘉十郎下郷次郎八様	一通	三六
覚(家作助成金)	文政十年五月七日	松崎嘉十郎下郷次郎八様	一通	三七
借用申金子之事	弘化四年十二月	借用主下郷金兵衛他一名々下郷次郎八殿付、包紙	一通	三六
差出申證文之事(下郷正平二重書入)	嘉永三年十二月	下郷保之助他二名々下郷次郎八殿付、包紙	一通	二〇六
預米證書之事	嘉永四年十月	預り主下郷次郎八他二名々村方惣高持衆中	一通	二〇八
借用申金子之事(屋敷勝手要用ニ付借用)	嘉永五年四月	河合唯四郎下郷次郎八殿付、包紙	一通	二〇九

寛(金子請取)	(年代未詳)寅十二月廿八日	永井松右衛門	下郷次郎八様	一通	二六三
奉願候事(分散)	(年代未詳)寅極月	桶廻間村半右衛門	下郷次郎八様	一通	二三三
寛(千代倉治郎兵衛より濃州岐阜綿屋久兵衛宛金百両相届)	(年代未詳)西十月六日	只谷権左衛門	千代倉治郎八様	一通	二五八
寛(金子借用)	(年代未詳)戌十一月十一日	彦四郎	下郷次郎八殿	一通	二五四〇
寛(益前附私不足錢借用)	(年代未詳)戊七月十七日	彦次郎	下郷次郎八殿	一通	二六六
借用申金子之事(御高札場屋称等入用)	(年代未詳)戊十二月			一通	二七四
下郷弥兵衛他一名	下郷次郎八殿			一通	一五三
寛(勅使上京ニ付、金子借用)	亥九月	西尾□□	下郷次郎八殿	一通	二五四
借用申金子之事	(年代未詳)十一月廿一日	いそ部善左衛門	扣屋敷泰輝	一通	二五五
下里次郎八様				一通	二六三
寛(請取)	(年代未詳)	永井松右衛門	下郷次郎八様	一通	二六三
勘右衛門				一通	一九四
借用仕金子之事	正徳四年十二月十一日	かり主平四郎	他一名	一通	一九六
勘右衛門殿				一通	一九六
借用仕金子之事	正徳五年十二月	かり主弥助	他一名	一通	一九六
門殿				一通	一九六

覚(江戸表為替証文請取)	寛政六年十二月六日	千代倉勘左衛門	一通	六
門大江清兵衛殿				
覚(調達金)	(寛政七年)卯十二月	鳴海(村)下郷勘左衛門	一通	七
覚(調達金)	(寛政七年)卯十二月	鳴海(村)下郷勘左衛門他四名付、断簡	一通	八
覚(調達金)	(寛政七年)卯十二月	鳴海(村)金兵衛	一通	九
(調達金)	(寛政七年)卯十二月	鳴海(村)下郷勘左衛門付、包紙	一通	十
覚(調達金)	(寛政七年)卯十二月	鳴海(村)下郷勘左衛門他三名	一通	十一
(調達金)	(寛政七年)卯十二月	鳴海(村)下郷勘左衛門	一通	十二
借用申金子之事	赤坂御役所御用ニ付	寛政七年七月 当番	一通	十三
下郷庄左衛門他二名	下郷勘左衛門殿付、包紙		一通	十四
為替証文之事	寛政七年十一月十日	下郷勘左衛門千代倉次郎兵衛殿他一名(裏書)片岡伊兵衛	一通	十五
為替証文之事(御私居米代)	寛政七年十一月十一日	下郷勘左衛門千代倉次郎兵衛殿他一名(裏書)竹原文右衛門	一通	十六
一札(扣地所質物ニ書入文金千両借用)	寛政九年十二月	下郷勘左衛門	一通	十七
郷勘左衛門	桑屋太兵衛殿御取次		一通	十八
借用申金子之事	寛政九年十二月	下郷勘左衛門吉田太兵衛殿	一通	十九
奉行借金之事	(下郷勘左衛門儀勝手因窮ニ付)	寛政九年十二月 糸崎村新美与右衛門他二名地方御役所	一通	二十
借用申金子之事	寛政十二年二月	下郷勘左衛門(印消シ)小松屋与吉殿取次	一通	二十一
借用申金子之事(田地書入借用)	享和三年十二月	下郷勘左衛門	一通	二十二

衛門(印消シ)他三名	次郎右衛門殿	一通	二六〇		
覚(上納)	(年代未詳)丑十一月五日	下郷勘左衛門平田御支配衆様	一通	二六二	
乍恐御達奉申上候御事	(龜崎村間瀬仁左衛門他一名御拝借米返上遲滞)	(年代未詳)寅十月	鳴海(村)下郷勘左衛門他一名	一通	二七二
名	井田忠右衛門様				
覚(金子請取、為替証文)	(年代未詳)卯三月廿四日	下郷勘左衛門	一通	二七三	
衛門	外山弥次右衛門殿				
覚(金子請取、為替証文)	(年代未詳)卯四月九日	千代倉勘左衛門	一通	二七五	
衛門	外山弥次右衛門殿				
覚(金子請取)	(年代未詳)未七月十二日	権右衛門	千代倉勘左衛門	一通	二六七
左衛門様					
覚(請取)	(年代未詳)未七月十二日	熱田や庄助	千代倉勘左衛門	一通	二七九
門様					
(断簡)	(年代未詳)未七月十二日	名古屋本町拾日丸屋伊兵衛	一通	二八五	
千代倉勘左衛門様					
(請取断簡)	(年代未詳)未七月十三日	六兵衛	下郷勘左衛門様	一通	二八六
(受取)	(年代未詳)未七月十三日	竹屋九右衛門	下郷勘左衛門	一通	二八八
様					
覚(受取)	(年代未詳)未七月十三日	藤屋千助	千代倉勘左衛門	一通	二九二
様					
覚	(年代未詳)未七月十三日	桑屋清兵衛	千代倉勘左衛門様	一通	二九三
覚(御菓子箱等受取)	(年代未詳)未七月十三日	尾州名古屋海老屋文助	下郷勘左衛門様	一通	二九五
老屋文助	下郷勘左衛門様				
覚(銀札請取)	(年代未詳)十一月晦日	嘉兵衛	下郷勘助様	一通	二九五

次郎四郎

借用申金子之事	当年盆前晦日附入用金借用)	天明六月七日	一通	115
近藤小七他三名	下郷次郎四郎殿			
借用申金子之事	天明六年十二月	金かり主富蔵他一名下郷次郎四郎殿	一通	116
金銀出入帳	天明二年十二月	土元ノ方次郎・東四郎・次郎四郎	一通	117
金銀出入留	天明三年十二月吉日	土元ノ方	一通	118
借用申金子之事	(当盆前諸贈難相成借用)	天明七年七月 金	一通	119
借主平(組)富蔵他一名	下郷次郎四郎様			
申年郷蔵斗米勘定目録	(年代未詳)丑正月	長左衛門他四名	一通	120
下郷次郎四郎殿				
覚(年代未詳)年正月九日	近藤小七下郷次郎四郎様		一通	121
覚(年代未詳)年九月七日	平長左衛門下郷次郎四郎様		一通	122
覚(両宮共ころひ木之様)	(年代未詳)年九月七日	幸長左衛門	一通	123
下郷次郎四郎様				
覚(鳴海役所手代御足輕当未秋御借米代金銀)	(年代未詳)未七月九日	八吉太夫代杉本与兵衛他一名下郷次郎四郎殿	一通	124
覚(郷蔵残米拾八石五斗、買主江相渡)	(年代未詳)酉三月初日	東方組頭共下郷次郎四郎様	一通	125
覚(納米式借用)	(年代未詳)正月十七日	梶川道源下郷次郎四郎様	一通	126
書簡(御借米之内芒石者正米ニ而受取申度)	(年代未詳)七月		一通	127

五日 酒井斎助他一名	下郷次郎四郎様	一通	二七四
書簡(御足輕当秋御借米)	(年代未詳)七月五日 酒井斎助他一名	一通	二七四
書簡(晦日附弘方金子拝借)	(年代未詳)七月十三日 下郷次郎四郎	一通	二七四
書簡(当秋御借米之内弘米代金受取)	(年代未詳)十二月廿八日 与兵衛	一通	二七五
差入申書付之事(私儀組頭在勤中、本家次郎右衛門零落仕、御年貢米未進等私ニ引受ノ古証文返却)	慶応元年十一月 相組多左衛門他三名	一通	二八四
借用申金子之事	(年代未詳)丑ノ二月十六日 かり主加右衛門他一名	一通	二八七
借用申金子之事	(年代未詳)丑ノ閏二月晦日 かり主加右衛門他一名	一通	二八四
借用申金子之事	(年代未詳)丑八月十三日 かり主加右衛門他一名	一通	二八六
借用申金子之事	(年代未詳)卯十二月十九日 (差出人・宛名未詳)	一通	二八七
借用申金子之事(木綿替ノ油両商売元手金)(後欠)	(年代未詳)	一通	二五九

拝 借 金

御預申金子之事	天明元年十一月 鳴海村下郷次郎八他一名	一通	三三五
御国方御役所			
拝借仕御金之事	寛政七年七月 下郷勘左衛門地方御勘定所	一通	六
拝借仕証文之事(御小納戸拝借証文案)	寛政十年十二月 下郷勘左衛門他二名	一通	二〇五
拝借仕証文之事(御小納戸拝借証文)	寛政十年十二月 下郷勘左衛門他一名	一通	二〇六
御拝借金年賦返上方覽帳	享和元年五月	一冊	三六
拝借仕御金之事	享和二年三月 鳴海(村)下郷勘左衛門(印消シ)他三名	一通	二四
拝借仕候金子之事	享和二年十二月 愛知郡鳴海村借主下郷勘左衛門(印消シ)他二名	一通	三三
拝借仕候金子之事	享和二年十二月 愛知郡鳴海村借主下郷勘左衛門他二名	一通	三三
添證文之事(寛政十二申四月證文式通ニ而借金)	文化二年七月 下郷勘左衛門他二名	一通	三三五
下郷勘左衛門他二名	子組茂右衛門殿他一名	一通	三〇四
拝借仕御金之事(酒造製作ニ付拝借)	文化二年十二月 鳴海	一通	三〇四
拝借主下郷勘左衛門他五名	御小納戸御役所	一通	三〇六
差上申證文之事(御払米)	文化二年十二月 拝借主下郷勘左衛門他二名	一通	三〇六
御小納戸御役所			
拝借仕御金之事(酒造製作ニ付拝借)	文化二年十二月 鳴海	一通	三〇六
拝借主下郷勘左衛門他七名	御小納戸御役所	一通	三〇六

拝借仕御金之事(酒造製作ニ付拝借)	文化三年十二月 鳴海	一通	三三〇
拝借主下郷勘左衛門他五名	御小納戸御役所	一通	三三一
〔御小納戸御役所拝借金五千兩 被為仰付ニ付、地所引当証文〕	文化二年十二月 拝借主下郷勘左衛門他五名	一通	三三二
〔御小納戸御役所拝借金五千兩 被為仰付ニ付、地所引当証文〕	文化二年十二月 拝借主下郷勘左衛門他五名	一通	三三三
添證文之事(去冬御払米六百石 拝借仕候代金)	文化三年三月 拝借主下郷勘左衛門他二名	一通	三三九
拝借仕御金之事(酒造製作ニ付拝借)	文化三年五月 鳴海	一通	三三七
証文面之写(青蓮院宮様御用金御拝借)	文化三年五月廿日 天保二年八月 伊藤都九郎	一〇丁	二六六
覚(御小納戸金五千兩 拝借仕候ニ付、為念村方江金五百兩 御預ケ)	文化三年七月 拝借主下郷勘左衛門他五名	一通	三三三
方御役人衆中様			
覚(御小納戸御役所)	文化三年七月 下郷勘左衛門他一名	一通	三三四
方御役人衆中様			
奉拝借御用金之事(青蓮院宮様御用金御拝借)	文化三年七月 足州鳴海	一通	三三九
文化三年九月 勢州桑名郡長鳴領之内西外面村庄屋	奉拝借御用金之事(青蓮院宮様御用金御拝借)	四丁	一八六
太夫他六名	粟田御用達尾州鳴海下郷勘左衛門	一通	三三六
奉拝借御用金之事(當御殿御用金之内拝借)	文化三年十二月 拝借主下郷勘左衛門他二名	一通	三三六

借 金

借用申金子之事(青蓮院宮様御祠堂借金借用)	文化六年十二月 西川村借主服部惣左衛門他五名	五丁	一八三
差出申証文之事(先代之時節借用致置利配等、十五ヶ年毎 年小作米ヲ以御寺江相納可申候)	文政九年三月 借用主下郷次郎八他十名	六丁	三七
包紙(拝借金年賦返納之儀、御年延御開濟御書付)	安政二年十一月九日 鳴海村下郷次郎八	一通	二六三
乍恐奉願上候御事(去冬拝借払米返済、来ル五月迄猶予願)	(年代未詳)寅三月 下郷勘左衛門御小納戸御役所	一通	二〇七
包紙(貸渡金之内返納請取)	(年代未詳)亥十二月 鳴海陣屋	一通	二六三
覚(成瀬準人正様江御借上ケ金)	享保十四年十二月 鳴海下郷次郎八他一名	一通	一六〇
乍恐奉願御事(知多郡落合村他二ヶ村江御年貢賄差支申由ニ而扣之田地并家屋敷買物ニ書入金子借渡シ)	享保十五年八月 愛知郡鳴海宿次郎八	一通	一六二
借用申金子之事	寛政十一年十二月 千世倉地方借主平兵衛	一通	二〇九
借用申金子之事	寛政十一年十二月 千世倉地方金子借主平兵衛	一丁	一八八
借用申金子之事	寛政十二年三月 金子借主千代倉地方平兵衛	一通	三〇

借用申金子之事	寛政十二年三月 金子借主千代倉地方平兵衛	一丁	一八八
借用申金子之事	享和二年二月 酢店嘉七	一丁	一八〇
借用申金子之事	享和二年二月 酢店嘉七	一通	二五
借用申金子之事	享和二年三月 千代倉勘左衛門地方平兵衛	一通	二六
借用申金子之事	享和二年三月 千代倉勘左衛門地方平兵衛	一丁	一八二
借用申金子之事	享和二年四月 酢店嘉七	一通	二六
借用申金子之事	享和二年四月 酢店嘉七	一丁	一八二
借用申金子之事	享和三年七月 千代倉勘左衛門地方平兵衛	一通	二六
借用申金子之事	享和三年七月 千代倉勘左衛門地方平兵衛	一丁	一八二
借用申金子之事	享和三年十二月 下郷勘左衛門他三名	一丁	一八四
借用申金子之事	文化元年正月 酢店他二名	一丁	一八五
借用申金子之事	文化元年正月 酢店嘉七	一通	三〇五
借用申金子之事	文化元年四月 酢店嘉七	一通	三〇五

借用申米之事(酒造仕入ニ付借用)	文化元年十二月	借用主	一丁	一六八
下郷勘左衛門他二名△次郎右衛門殿				
借用申金子之事	文化三年三月	千代倉勘左衛門地方平兵衛他	一通	三三八
一名△相原村八左衛門殿				
借用申金子之事	文化三年三月	千代倉勘左衛門地方平兵衛他	一通	三三四
一名△相原村八左衛門殿				
借用申金子之事	文化三年四月	千代倉勘左衛門地方平兵衛他	一通	三三三
一名相(原村)十左衛門殿				
借用申金子之事	文化三年四月	千代倉勘左衛門地方平兵衛他	一丁	一六七
一名△相(組)十左衛門殿				
借用申金子之事	文化三年五月	千代倉勘左衛門地方平兵衛他	一通	三三五
一名△相原村八藏殿取次				
覚(要用ニ付金子借用)	文化三年七月七日	借用主下郷勘左衛門他一名△加藤佐次右衛門殿他一名	一通	三三六
借用申金子之事(要用ニ付扣之出店等為引当金貳百兩借用)			一通	三三一
文化三年八月 借用主下郷勘左衛門他四名△角吉屋基助殿御取次				
借用申金子之事(貴寺御修履金借用)	文化三年十二月	借用	一通	三三〇
主下郷勘左衛門他二名△長寿寺御納所				
借用申金子之事(貴寺御修履金借用)	文化三年十二月	借用	一通	三三三
主下郷勘左衛門他二名△長寿寺御納所				
借用申金子之事	安化三年十二月	千代倉勘左衛門地方平兵衛	一通	三三五
他一名△相(原村)十左衛門殿				
借用申金子之事	文化三年十二月	千代倉勘左衛門地方平兵衛	一丁	一八九
他一名△相(組)十左衛門殿				
借用申金之事	文化四年七月	下郷勘左衛門△長寿寺様御取次	一通	三三六
借用申金子之事	文化四年七月	下郷勘左衛門他二名△長寿寺	一通	三三八

樣御取次				
借用申金子之事	文化四年七月	下郷勘左衛門△長寿寺様御取次	一通	三四〇
次				
借用申金子之事	文化四年十二月	下郷勘左衛門他一名△長寿寺様御取次	一通	三三三
借用申金子之支	文化四年十二月	下郷勘左衛門他三名△長寿寺様御取次	一通	三三五
借用申金子之事	文化四年十二月	下郷勘左衛門他一名△長寿寺様御取次	一通	三三九
借用申金子之事	文化四年十二月	下郷勘左衛門他一名△長寿寺様御取次	一通	三三二
借用申金子之事	文化四年十二月	下郷勘左衛門他一名△長寿寺様御取次	一通	三三七
借用申金子之事	文化四年十二月	下郷勘左衛門他一名△長寿寺様御取次	一通	三三六
借用申金子之事	文化四年十二月	下郷勘左衛門他一名△長寿寺様御取次	一通	三三六
借用申金子之事	文化五年三月	下郷左之吉△長寿寺様御納所	一通	三四六
借用申金子之事	文化六年六月	借用主下郷次郎八他二名△長寿寺様御納所	一通	三四四
借用申金子之事	文化九年十一月	下郷次郎八他一名△神谷磯右衛門殿御取次	一通	三四七

借用申金子之事 文化九年十一月 有脇村借用主磯右衛門の亀 崎村成田久右衛門殿御取次	借用申金子之事 文化十三年六月 下郷治郎八の利助殿御取次	借用申金子之事 文化十四年十二月 借り主嘉十郎他二名の久 野越後殿御取次	金銀預渡通手形 文政二年正月 播磨屋新右衛門の千代倉 次郎兵衛殿他二名	梅おほる扣帳 文政四年五月吉日 細根山分士千代倉	梅おほる扣帳 文政四年五月吉日 横根一冊 三九二	讓渡シ申證文之支(水車彦ヶ所) 文政七年正月 借り主下郷庄 左衛門他四名の幸右衛門殿取次	金銀預渡通手形 文政十一年正月 播磨屋新右衛門の千代 倉次郎兵衛殿	横根一冊 三三六	乍恐以書付奉願上候(先年御手元金奉預り候内、五ヶ年之 間無利足御元居ニ被成下候様) 安政三年七月 千代倉屋久 兵衛の佐枝將監様御用人衆中様 付 包紙	横根一冊 三三〇	(袋) 寛政九年正月	寛(去亥年分利足請取) (年代末詳)子十二月廿八日 米□の学 海様	寛(元金之内請取) (年代末詳)丑十二月廿八日 匡紀の学海様	寛(金子請取) (年代末詳)卯大晦日 松右衛門の梶川様御取次	一冊 三三六	一冊 三三〇	一通 三三六	一通 三六九	一通 三三〇	一通 三六二	一通 三六六	一通 三七六	一通 三六〇	一通 三七五	一通 三六五
代末詳)申三月	(借金)(年代末詳)申ノ十二月廿六日 作兵衛 寛(弁当代受取) (年代末詳)酉ノ七月朔日 ありまかるや甚兵 衛の尾州金三郎様	寛(請取) (年代末詳)西七月九日 天満菅原町針や利兵衛の尾張 弥市郎殿	寛(鉄鉋葉火組代) (年代末詳)亥六月	寛(勘定) (年代末詳)亥六月十二日 近藤□七	寛(取替金元利之内請取) (年代末詳)亥七月十二日 永井米□ の梶川様御取次	寛(金子請取) (年代末詳)亥十月十四日 千印の土印様	寛(利足金請取) (年代末詳)亥十二月二日 堀田清左衛門の永 井富郎右衛門殿	一冊 三三六	一冊 三三〇	一通 三三六	一通 三三〇	一通 三六九	一通 三六二	一通 三六六	一通 三七六	一通 三六〇	一通 三七五	一通 三六五	一通 三三〇	一通 三六二	一通 三六六	一通 三七六	一通 三六〇	一通 三七五	一通 三六五
寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿	寛(勘定) (年代末詳)二月朔日ノ廿五日 鳴海屋□茶の千代倉治右衛 門殿

覚(御買物代之請取) (年代未詳)四月廿八日 日野屋庄左衛門 代権七下里金三郎殿	一通 二五三
覚 (年代未詳)六月六日 御表具師喜右衛門金三郎殿	一通 二五八
(覚) (年代未詳)六月廿日 近孫	一通 二六〇
覚(賄金借用) (年代未詳)七月十一日 中店翁輔元ノ様	一通 二六二
覚(御供代受取) (年代未詳)七月十二日 弥助	一通 二七〇
覚(米売渡) (年代未詳)七月 相原村庄屋小三郎宮大瀬古御丁 代様	一通 二七三
(反物等断簡) (年代未詳)八月廿八日 付、包紙	一通 二七六
覚 (年代未詳)十一月廿二日 安次郎ノ十一印様	一通 二八四
(断簡) (年代未詳)十一月廿七日 千印ノ十一御元ノ様	一通 二八六
おほへ (年代未詳)十二月十七日 新五郎ノ千代蔵様	一通 二八八
書簡(元ノ候義承知) (年代未詳)廿六日	一通 二九四
請取申御金之事(江戸為御替金千五百兩請取)(後文) (年代未詳)	一通 二九五
覚(亥年ノ去申年迄利不足之分) (年代未詳)	一通 二九二
惣御借財大法積書 (年代未詳)	一通 二九二
地主 経営	一冊 一六〇
小作	一冊 一六〇
田畑所々内檢帳老番 宝曆九年二月吉日 千代倉	一冊 一六〇
天白田面地境杭田数并預米内檢帳 明和八年四月五日 千代	八丁 三六

倉本家控	一冊 二六六
田畑相渡申小作之帳 明和九年三月	一通 二五二
平手新田本田之内(請作分) (年代未詳)子二月	
耕地請作券(書式) 明治八年 (差出人ナシ)ノ下郷次郎 八殿	一、二三通 一八三
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人二宮仁三郎他二名ノ下郷 次郎八殿	一通 二二〇
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人相組寺嶋与三郎他二 名ノ下郷次郎八殿	一通 二二二
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人近藤源四郎他二名ノ下郷 次郎八殿	一通 二三三
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人小嶋幸助他二名ノ下 郷次郎八殿	一通 二三三
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人前小嶋又右衛門他二名ノ 下郷次郎八殿	一通 二三四
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村荒川豊八他一名ノ 下郷次郎八殿	一通 二三五
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人佐久間庄兵衛他二名ノ下 郷次郎八殿	一通 二三六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人荒川松左衛門他二名ノ下 郷次郎八殿	一通 二三七
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前根鈴木勘四郎他二 名ノ下郷次郎八殿	一通 二三八

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人子組小嶋忠助他二名ノ下 郷次郎八殿	一通 二三九
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人大高村山口孫三郎他 二名ノ下郷次郎八殿	一通 三三〇
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人立松文七他二名ノ下 郷次郎八殿	一通 三三一
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人前組小嶋喜代蔵他二名ノ 下郷次郎八殿	一通 三三三
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人村井作蔵他二名ノ下 郷次郎八殿	一通 三三三
耕地請作券 明治九年二月 請作人杉江孫蔵他二名ノ下郷次郎八 殿	一通 三三四
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人村瀬藤八他二名ノ下 郷次郎八殿	一通 三三五
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人近藤惣右衛門他二名ノ地 主坂野丹左衛門殿	一通 三三六
耕地請作券 明治八年 下組地所受作人富田喜七他二名ノ下郷次 郎八殿	一通 三三七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人村井太平治他二名ノ地主 下郷次郎八殿	一通 三三八
耕地請作券 明治九年二月 請作人平組植忠四郎他二名ノ下郷 次郎八殿	一通 三三九
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人下組名切太輔他二名ノ下 郷次郎八殿	一通 三四〇
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人下組久野基三郎他二名ノ 下郷次郎八殿	一通 三四一

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人下組佐久間佐之助他二名 ノ下郷次郎八殿	一通 三四三
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人大野忠右衛門他二名 ノ下郷次郎八殿	一通 三四四
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人名切太左衛門他二名ノ下 郷次郎八殿	一通 三四四
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相植宗八他二名ノ下郷次 郎八殿	一通 三四五
耕地請作券 明治八年二月 平組地所請作人相植弥曾八他二名ノ 下郷次郎八殿	一通 三四六
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人平岩庄七他二名ノ下 郷次郎八殿	一通 三四七
耕地請作券 明治八年二月九日 地所受作主下組小塚藤造他二名 ノ下郷次郎八殿	一通 三四八
耕地請作券 明治八年二月廿九日 地所請作人相植金兵衛他二名 ノ下郷次郎八殿	一通 三四九
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人下(組)近藤鉄造他二 名ノ下郷次郎八殿	一通 三五〇
耕地請作券 明治八年 地所請作人中村甚兵衛他二名ノ下郷次郎 八殿	一通 三五二
耕地請作券 明治八年 地所請作人中村甚兵衛他二名ノ下郷次郎 八殿	一通 三五三
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人服部新右衛門他二名 ノ下郷次郎八殿	一通 三五三
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組山口治右衛門他 二名ノ下郷次郎八殿	一通 三五四

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人坂野清右衛門他二名 △下郷次郎八殿	一通 三三三	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組尾関仁左衛門他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六八
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組坂野清右衛門他二名 △下郷次郎八殿	一通 三三六	耕地請作券 明治八年二月 田方請作人中之郷北重松兵衛他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六九
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人下村喜七他二名 △下郷次郎八殿	一通 三三七	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人大高村山口弥平他二名 △下郷次郎八殿	一通 三七〇
耕地請作券 明治九年二月 請作人中之郷北野茂三郎他二名 △下郷次郎八殿	一通 三三六	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組近藤喜平他二名 △下郷次郎八殿	一通 三七三
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人拓植新七他二名 △下郷次郎八殿	一通 三三九	耕地請作券 明治八年 地所請作人酒井與左衛門他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八九
耕地請作券 (雜形) 明治八年 地所請作人大高村鶴飼清八他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六一	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人作組近藤喜平他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八〇
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組服部弥曾八他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六二	耕地請作券 明治十年二月 作組地所請作人鈴木富三郎他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八三
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組服部弥曾八他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六三	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人小嶋太三郎他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八三
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人近藤喜藏他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六四	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人子組加藤吉左衛門他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八三
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人渡辺弥八他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六五	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人子組平井小左衛門他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八四
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人近藤新兵衛他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六六	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人子組澤井理兵衛他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八六
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人近藤定藏他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六七	耕地請作券 明治八年二月 右請作人荒井村早川國右衛門他一名 △下郷次郎八殿	一通 三八七

耕地請作券 明治八年 地所請作人荒井村早川万右衛門他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六八	耕地請作券 明治八年二月 相原村地所請作人青山與右衛門他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六九
耕地請作券 明治八年 地所請作人荒井村久野清七他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六九	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原(村)福島伊兵衛他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六九
耕地請作券 明治八年 請作人牛毛荒井村永井万吉他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六〇	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人相原村福島利兵衛他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六三
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人荒井村久野新兵衛他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六三	耕地請作券 明治八年二月 本田庄七他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六四
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人荒井村永井久四郎他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六三	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村荒川次輔他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六四
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人荒井村近蔵庄助他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六三	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村近藤茂兵衛他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人荒井村久野安助他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六四	耕地請作券 明治八年二月廿八日 相原村地所請作人近藤政左衛門他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人荒井村服部佐十他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六五	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村福島仁左衛門他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八八
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人荒井村久野庄兵衛他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六六	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村福島孫右衛門他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八九
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人ア牛組久野文三郎他二名 △下郷次郎八殿	一通 三六七	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村福島助左衛門他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八九
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人ア(荒井村)服部甚十他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八八	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村近藤治兵衛他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八九
耕地請作券 明治八年二月廿八日 相原村地所請作人近藤半四郎他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八九	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村福島富七他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八九
耕地請作券 明治八年二月 相原村地所請作人荒川幸七他二名 △下郷次郎八殿	一通 三八〇		

耕地請作券 明治八年二月 相原地所請作人永井丈助他二名△下郷次郎八殿	一通 二六四	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村荒川仙藏他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月九日 相原村地所請作人中野彦藏他二名△下郷次郎八殿	一通 二六五	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人近藤東九郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人福嶋利左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人小組近藤久吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月廿八日 地所請作人荒川半左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人小組鬼頭金藏他二名△下郷次郎八殿	一通 二六八
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人相原村荒川利右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六八	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人鬼頭金藏他二名△下郷次郎八殿	一通 二六九
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人相原村荒川庄三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二六九	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人小組近藤久吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二七〇
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人荒川仙右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二七〇	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人小組近藤久吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二七一
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人相原村荒川六右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二七一	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人小組近藤久吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二七二
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人相原村荒川庄右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二七二	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人小組近藤久吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二七三
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人相原村林三九郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二七三	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人小組近藤久吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二七四
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人相原村林三九郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二七四	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人小組近藤久吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二七五
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村荒川仙輔他二名△下郷次郎八殿	一通 二七五	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人小組近藤久吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二七六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村荒川仙輔他二名△下郷次郎八殿	一通 二七六	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人小組近藤久吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二七七

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人坂野金兵衛他二名△下郷次郎八殿	一通 二八〇	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相(原村)村甚三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二八三
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人丹組横井勇藏他二名△下郷次郎八殿	一通 二八一	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相(原村)村甚三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二八四
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人伊藤重吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二八二	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相(原村)村甚三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二八五
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人堀川孫治他二名△下郷次郎八殿	一通 二八三	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相(原村)村甚三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二八六
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人近藤與右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二八四	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相(原村)村甚三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二八七
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人横井重吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二八五	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相(原村)村甚三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二八八
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人近藤久藏他二名△下郷次郎八殿	一通 二八六	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相(原村)村甚三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二八九
耕地請作券 明治八年二月 相井地所請作人近藤久藏他二名△下郷次郎八殿	一通 二八七	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相(原村)村甚三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人柳原勿兵衛他二名△下郷次郎八殿	一通 二八八	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相(原村)村甚三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九一
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人柳原勿兵衛他二名△下郷次郎八殿	一通 二八九	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相(原村)村甚三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九二
耕地請作券 明治八年二月 相井地所請作人富田藤助他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相(原村)村甚三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九三
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相井下村豐輔他二名△下郷次郎八殿	一通 二九一	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相(原村)村甚三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九四
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相井下村豐輔他二名△下郷次郎八殿	一通 二九二	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相(原村)村甚三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九五

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人本組酒井德藏他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇六	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人中之郷杉江保造他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇九
耕地請作券 明治八年二月九日 イカ地所請作人山口權左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇七	耕地請作券 明治八年 地所請作人前組坂野喜八他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇〇
耕地請作券 明治八年二月九日 本組地所請作人拓植徳左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇八	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組近藤新助他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇三
耕地請作券 明治八年 地所請作人福井藤三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇九	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組近藤金平他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇三
耕地請作券 明治九年二月 請作人小嶋勝藏他二名△下郷次郎八殿	一通 二九一〇	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組近藤新助他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇三
耕地請作券 明治八年二月九日 イカ地所請作人青山文助他二名△下郷次郎八殿	一通 二九一一	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人前組服部治郎七他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇四
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人本組坂野治郎藏他二名△下郷次郎八殿	一通 二九一二	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組中井儀右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇五
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人山口庄藏他二名△下郷次郎八殿	一通 二九一三	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人前組服部傳七他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇六
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組坂野八左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二九一四	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人前組(組)淺井庄之助他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇七
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組坂野八左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二九一五	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組(組)山口國兵衛他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇八
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人大高村近藤三九郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九一六	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組服部新三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九〇九
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人中之郷伊藤三郎右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二九一七	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人中井太兵衛他二名△下郷次郎八殿	一通 二九一〇
耕地請作券 明治九年二月 請作人小嶋清七他二名△下郷次郎八殿	一通 二九一八	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組村井作右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二九一一

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人山口太八他二名△下郷次郎八殿	一通 二九二三	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人笠寺市場小管徳三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九二六
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組(組)近藤新助他二名△下郷次郎八殿	一通 二九二四	耕地請作券 明治八年二月 地所請作人前組(組)近藤新助他二名△下郷次郎八殿	一通 二九二七
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組尾関弥曾兵衛他二名△下郷次郎八殿	一通 二九二五	耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組(組)笠寺村地所請作人鈴木清助他二名△下郷次郎八殿	一通 二九二八
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人坂野嘉十他二名△下郷次郎八殿	一通 二九二六	耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人村上又藏他二名△下郷次郎八殿	一通 二九二九
耕地請作券 明治八年二月九日 請作人前組近藤源吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二九二七	耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人村上又藏他二名△下郷次郎八殿	一通 二九三〇
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組尾関林八他二名△下郷次郎八殿	一通 二九二八	耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人青山庄兵衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二九三一
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人水野桑八他二名△下郷次郎八殿	一通 二九二九	耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人大橋甚三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九三二
耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人村瀬物七他二名△下郷次郎八殿	一通 二九三〇	耕地請作券 明治八年二月廿九日 本地村地所請作人成田定四郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九三三
耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人水野庄三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九三一	耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人村上文左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二九三四
耕地請作券 明治八年二月廿八日 地所請作人横井新九郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九三二	耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人鏡味清九郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九三五
耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人水野源助他二名△下郷次郎八殿	一通 二九三三	耕地請作券 明治八年二月廿八日 本地村地所請作人森本甚左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二九三六
耕地請作券 明治八年二月廿八日 地所請作人成田喜代藏他二名△下郷次郎八殿	一通 二九三四		
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人笠寺(村)山村清三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二九三五		

耕地請作券 明治八年二月 本地村地所請作人青山勝三郎他二名 △下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年 本地村地所請作人青山與三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月 本地村地所請作人三村市右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村福嶋八左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人相原村本田喜代七他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月 相原村地所請作人本田勝三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人前組村井兵吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人前組近藤惣吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人山口宗右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人服部平右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六

耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人大高村淺田榮左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人中之郷西尾幸七他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月 大高村地所請作人鶴見文之右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人丹組坂野勝蔵他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人吉組坂野久右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ組近藤勘助他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人丹組坂野龍助他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人丹組服部龍助他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人吉組登原甚左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人坂野平造他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人近藤徳右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ組坂野宗左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人横井徳右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人丹組早川茂右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ミ組酒井喜代七他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人坂野勘左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年 地所請作人ヨ組近藤利兵衛他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人吉組坂野与吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人吉組鈴木宗吉他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ミ組坂野丹左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ組尾関吉三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ組村瀬平助他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ組村瀬忠蔵他二名△下郷次郎八殿	一通 二六六

耕地請作券 明治八年 地所請作人吉組平松哲太郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人近藤升右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人牧野慶太郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ組久野孫四郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人牧野茂八他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年 地所請作人吉組西尾藤三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年 地所請作人吉組坂野徳三郎他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年 地所請作人丹組横井喜八他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人丹組岡本権左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ組近藤茂右衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人ヨ組荒川久左衛門他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人吉組鈴木喜平他二名△下郷次郎八殿	一通 二六七

耕地請作券 明治八年二月 地所請作人吉組坂野宗左衛門他二名 下郷次郎八殿	一通 三〇〇	質物ニ入申田地之事 享保十三年十一月 平手新田金かり主彦 八郎他二名下郷次郎八殿	一通 一七五
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人丹組加藤善三郎他二名 下郷次郎八殿	一通 三〇一	質物ニ入申家屋敷畑之事 享保十三年十一月 平手新田かり主 傳右衛門他二名下郷次郎八殿	一通 一七五
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人丹組杉江房助他二名 下郷次郎八殿	一通 三〇三	質物ニ入申田地屋敷之事 享保十四年十二月 平手新田かり主 門右衛門他二名下郷次郎八殿	一通 一六九
耕地請作券 明治八年二月 地所請作人小組小嶋平蔵他二名 下郷次郎八殿	一通 三〇三	質物入申家屋敷之事 明和三年十一月 かり主与六他三名下 郷次郎八殿	一通 一六九
耕地請作券 明治八年二月九日 地所請作人ミ組塚本松蔵他二名 下郷次郎八殿	一通 三〇四	永代売渡申田地之事(所ハ水袋新田我等扣之内) 明和三年十 二月 田地相渡主本地村中村弥五八他四名下郷次郎八殿	一通 一五三
質・譲・渡		永代相渡申屋敷地之事(御未進贈ニ差詰) 明和九年四月 屋 敷相渡主荒井村長兵衛他四名(宛名未詳)	一通 一七
質物ニ置申畑之事(御年貢ニ指詰リ質物ニ書入) 天和三年 極月 かり主八郎右衛門他三名(金右衛門宛カ)	一通 三〇	永代売渡申田地之事(去辰暮御年貢ニ差詰リ永代売渡) 安永二年二月 田地相渡主本地村中村弥次右衛門他三名下 郷次郎八殿	一通 二六〇
質物ニ置申畑之事(当子ノ御未進ニ差詰リ金子借用) 天和 四年正月 かり主本町孫九郎他四名(金右衛門宛カ)	一通 三〇	借用申質物之事(子年御年貢ニ差詰リ居屋敷質物ニ書入) 安永九年十二月 借り主平蔵他三名新平殿	一通 三〇〇
質物之田畑之覚 (年代未詳申十二月廿六日 かり主作兵衛他 三名金右衛門殿)	一通 二五五	借用申質物之事(子年御年貢ニ指詰リ居屋敷質物書入) 安 永九年十二月 借り主平蔵他三名新平殿	一通 三〇三
質物ニ書入申家井田地之事 貞享三年極月 かり主八郎右衛門 他四名(宛名未詳)	一通 二〇五	添証文之事(新田五ヶ年季売リ) 寛政九年閏七月 下郷勘左衛 門他二名林幾太郎殿	一通 一〇〇
質物ニ置渡申田地之事 享保四年十二月廿六日 金借主丹下彦 六他三名相原町次郎八殿	一通 一六六	質流永代譲相渡申新田之事 寛政十年十二月 愛知郡鳴海村讀 り主下郷勘左衛門他二名下納屋村内海屋忠蔵殿	一通 一〇八
質物ニ入申田地之事 享保十三年十月 平手新田かり主与八郎 他二名下郷次郎八殿	一通 一六三	質流永代譲相渡申新田之事(扣) 寛政十年十二月 愛知郡鳴海 村讀り主下郷勘左衛門他二名下納屋町内海屋忠蔵殿	一通 一〇八
		(田地譲渡証文)(前欠) 享和元年十二月 田地渡し主下郷勘左 衛門他三名(丹組)三右衛門殿	一通 二七九

一札(有松祇園寺天神山道鋪地證文写) 文化三年四月 愛知 郡鳴海瑞泉寺未寺知多郡有松村瑞泉祇園寺下郷勘左衛門殿	一通 三三七	請狀之事(三州幡豆郡一色村彦三郎伴佐兵衛七ヶ年季奉公) 天明二年十二月 三州幡豆郡一色親彦三郎他一名下郷次郎八殿	一通 三〇〇
売渡申田地之事 文化四年七月 下郷勘左衛門他二名取次嘉 兵衛殿	一通 三三四	請狀之事(娘松志ヶ年限奉公) 安政二年十二月 (知多郡渡内 村百姓)同人親又右衛門他一名下郷次郎八殿	一通 三〇六
永代売渡申田地之事 天保四年三月 売渡主平(組)長左衛門 後家他三名下郷次郎八殿	一通 三〇一	見合帳 見合帳(給金・配当・地方給) 天明六年正月吉日 元ノ所	一冊 二〇三
添証文(田地五年季売) 天保四年三月 売渡主平(組)長左衛 門後家他二名下郷次郎八殿	一通 三〇三	家 政 毛綿買附代金請取通帳 明和五年六月吉日 阿野村外山林 平下千代倉次郎八殿	一冊 三六七
永代譲り申山林地面之事 天保六年十二月 山林地面譲り主当 村忠八他一名同村亦右衛門殿	一通 三〇三	實冬御免他所米買石数改帳 明和七年十二月 下郷次 郎八	一冊 三六九
山屋敷願書并絵図面扣 下郷次郎太 安政四年六月、同 翌一冊 三〇三	一冊 三〇三	濃州新入船送分之帳 安永九年初夏 土印店	一冊 二〇九
五年三月 鳴海村下郷次郎太御林方御陣屋		大橋年賦金請取帳(大橋市左衛門殿江戸豊嶋屋十右 衛門殿江年賦金) 天明元年七月吉日 千代倉下郷次郎八 殿(居宅譲渡) 天明二年九月 譲主下郷次郎八他一名下郷元蔵 殿他一名	一冊 二八二
奉 公 人		地下取替当冬可濟(証文類ノ包紙カ) 天明六年十二月 天明七丁未年徳善神明方いねの間万よし(日記) 天明七年正月朔日同年十一月廿八日	一通 三三三
請 狀		卯盆前取替物諸書抜帳 寛政七年七月 千代倉	一冊 三三六
請狀之事(愛知郡日置村甚助世仲三平三年切ニ奉公) 元禄 五年極月 日置村親甚助他一名鳴海村寂照老		萬覺帳 寛政十二年十一月 千代倉	一冊 三六五
請狀之事(愛知郡大嶺郷村十左衛門世仲三之助拾年切ニ御 奉公) 元禄十年十一月 愛知郡大嶺郷村親十左衛門他一名鳴 海村寂照老			
宗門手形之受(愛知郡大嶺郷村十右衛門子三之助) 元禄十 年十一月 海東郡前田村本願寺宗岡盛寺鳴海相原町下里寂照殿			
差出シ申一札之受(御手前召仕之三之助宗門送り) 元禄十 年十二月 本願寺宗岡盛寺下里寂照殿			

寛延二巳年ノ享和元酉迄米直段附帳 享和二年四月	横帳一冊	三九
平坂外山太差引書附 文化元年四月 元ノ方	横帳一冊	二八〇
会所出勤帳 文化十三年十一月廿日 千代倉地方支配	横帳一冊	二八八
下郷治郎八様御通 文化十四年正月吉日 平針村弥左衛門	横帳一冊	二八七
萬御通 文化十四年正月吉日 上ノ屋文吉ノ下郷治郎八様御	横帳一冊	二八五
支配帳		
萬御通 文化十四年正月吉日 植田屋宇兵衛ノ千代倉地方御	横帳一冊	二八六
支配方帳 付 袋		
御染物ノ通 文化十四年正月吉日 平(針村)橋屋ノ下郷治	横帳一冊	二八四
郎八様		
御御通 文化十四年正月吉日 宮殿治師彦四郎ノ千代倉治郎	横帳一冊	二八六
八様		
御御通 文化十五年正月吉日 宮殿治師彦四郎ノ鳴海千代倉	横帳一冊	二八三
治郎八様		
戊年下用ノ高書拔 文政九年正月 下郷道雄	横帳一冊	三六四
〔年季・暇遣被下物・鼻紙料・被下物・給金前借・	横帳一冊	二〇一
寄附物〕 天保十三年八月 (千代倉)		
諸事覚帳 安政六年十月九日 勘之介扣	横帳一冊	一七六
未年差引帳 安政六年十二月吉日 下郷本家地方会所	横帳一冊	一七七
毎日諸用留 安政七年正月大吉日 下郷勘之助扣	横帳一冊	一七九
金銀出入萬覚帳他(元ノ音信方・当分取替・弘方・	横帳一括	三九七
入方・入用方・日記断簡) 明治十四年一月大吉日他		
覚〔稲廻間村分御居米〕 (年代未詳)子二月晦日 美濃屋惣兵衛	一通	二四八
ノ鳴海千代倉治郎八様		

覚〔年代未詳〕丑十二月廿日 仙右衛門ノ下郷次郎八殿	一通	二五九
覚〔年代未詳〕辰三月 下郷次郎八ノ口次右衛門殿	一通	二五八
覚〔金子借用〕 (年代未詳)申七月廿六日 十次郎ノ御元ノ所	一通	二六九
覚〔御居米〕 (年代未詳)亥十月十九日 美濃屋惣兵衛ノ下郷治郎	一通	二五〇
八様		
覚〔御居米請取〕 (年代未詳)十月廿一日 美濃屋惣兵衛ノ下郷	一通	二五八
治郎八様		
覚〔三割増江戸願〕 (年代未詳)亥十月 西尾東治ノ下郷次郎八	一通	二五五
殿		
覚〔御居米〕 (年代未詳)亥十一月十五日 美濃屋惣兵衛ノ下郷治	一通	二五七
郎八様		
覚〔御居米〕 (年代未詳)亥十一月十五日 美濃屋惣兵衛ノ下郷治	一通	二五八
郎八様		
覚〔御居米受取〕 (年代未詳)亥十一月廿一日 美濃屋惣兵衛ノ	一通	二五七
下郷治郎八様		
覚〔年代未詳〕亥十二月十七日 尾州鳴海米屋助蔵ノ下郷治郎八	一通	二六九
様		
覚〔御居米〕 (年代未詳)亥十二月廿三日 美濃屋惣兵衛ノ下郷治	一通	二五五
郎八様		
覚〔御居米〕 (年代未詳)亥十一月廿三日 美濃屋惣兵衛ノ下郷治	一通	二五二
郎八様		
覚〔平手新田分御居米〕 (年代未詳)亥十一月廿八日 美濃屋惣	一通	二四九
兵衛ノ下郷次郎八様		
書出し (年代未詳)七月十一日 御表具師喜右衛門ノ金三郎様	一通	二五九
覚〔銀子受取〕 (年代未詳)七月十三日 喜右衛門ノ金三郎様	一通	二五七

覚〔年代未詳〕七月十三日 藤ノ長七ノ鳴海千代倉佐兵衛様	一通	二九
〔其ノ御居宅給圖之儀〕 (年代未詳)十一月廿二日 西尾伊右衛	一通	二五五
門他四名ノ下郷五郎八様		
〔次郎八分亥年免割帳拜借断簡〕 (年代未詳)十二月廿日 仙助	一通	二三八
ノ久米蔵様		
口上勘定書付 (年代未詳)十二月廿一日 前源七ノ千代倉様	一通	二〇〇
地方衆蔵様		
覚〔人足代〕 (年代未詳)十二月廿四日 柏木栄蔵ノ土地方御支配	一通	二二〇
中		
〔包紙〕 (年代未詳)山下清三郎ノ千代倉治郎八様	一通	二六六
覚〔余米・大豆・端米〕 (年代未詳) 千代倉	一通	二六三
〔包紙〕 (年代未詳) 杉本与兵衛ノ下郷次郎四郎様	一通	二七〇
相 続 他		
乍恐奉願上候御事〔下郷勘左衛門身上相続方之儀〕 (年代未	一通	三六
詳)申十二月		
病氣見舞到来 文政六年十月日	横帳一冊	三三三
焼香願〔下郷秋之介他三十名〕 (年代未詳)	一通	二六六
書 簡		
書簡〔外山弥次右衛門殿木綿買次問屋引請證人代替ニ付證	一通	三三九
文書替〕 寛政四年三月廿四日 加島屋治郎左衛門他一名ノ外山		
善兵衛様他一名		

書簡〔御狀并ニ御献上之新若布一箱落手〕	文政十一年三月九	一通	三三八
日 小西大炊ノ下郷次郎八様			
〔六日市ノ芝草取来候〕〔前欠〕	〔年代未詳〕戊二月廿六日 又右	一通	二六五
衛門他十三名ノ御庄屋平六様			
書簡〔三州米千石入津御免之筈〕	〔年代未詳〕亥九月 沼半左	一通	二四〇
衛門ノ下郷次郎八方下郷善右衛門・右村庄屋			
書簡〔御年貢之儀用捨願〕	〔年代未詳〕亥極月廿四日 傍示本村	一通	二六九
新田庄屋ノ鳴海宿千代倉			
書簡〔御内意御報〕	〔年代未詳〕亥十一月廿八日 紀ノ学海様	一通	二六四
書簡〔改年之御慶〕	〔年代未詳〕正月廿四日 秋葉寺役寮ノ下郷	一通	二六三
次郎八様			
書簡〔新春之御慶目出度申納候〕	〔年代未詳〕正月廿四日 秋	一通	二五八
葉寺役寮ノ下郷次郎八様			
書簡〔忠助一件〕	〔年代未詳〕二月九日 善左衛門ノ下森岩七様	一通	二六七
書簡	〔年代未詳〕二月十日 善左衛門ノ立河内岩七様	一通	二六四
書簡	〔年代未詳〕二月十八日 善左衛門ノ下森岩七様	一通	二六八
書簡〔御加印之儀、早速御承引〕	〔年代未詳〕二月廿三日 外山	一通	二六九
弥次郎ノ下郷治郎八様			
書簡〔賭金之儀〕	〔年代未詳〕三月十四日 源右衛門ノ金右衛門	一通	二五五
様			
書簡〔御夫懸様方今晩御泊り〕	〔年代未詳〕三月廿二日 田□ノ	一通	二六四
口内様			
書簡〔出立之節御世話被下、道中無事〕	〔年代未詳〕四月五日	一通	二七三
玉岡隠居ノ下郷次郎八様			
書簡	〔年代未詳〕六月十二日 戸田町泉屋ノ千代倉屋蔵様	一通	二七八

書簡(出家之儀) (年代未詳)六月十三日 (差出人・宛名未詳)	一通	三五八
書簡(寫)三百兩拜借 (年代未詳)七月六日 石崎嘉右衛門より千賀領五郎様	一通	三五八
書簡(御願申上置候一件) (年代未詳)七月十二日 兄玉代助より下郷次郎八様	一通	三五九
口上(別紙之通、江戸表申參候二付、奉入御覽候) (年代未詳)八月廿八日 下郷善右衛門より下郷次郎八様 (整理番号二五八一と関連)	一通	三五九
書簡(私拝借銀年賦返上方之儀) (年代未詳)十月十三日 下郷次郎八より西村将監様	一通	三六〇
書簡(相場物之儀) (年代未詳)十一月十五日 ミのや惣兵衛より下郷治郎八様	一通	三六〇
書簡(平手新田) (年代未詳)十一月廿一日 ミのや惣兵衛より下郷次郎八様	一通	三六八
書簡(御年貢米引当テ御調達金之儀) (年代未詳)十一月廿二日 小菅只八より下郷次郎八様	一通	三六〇
書簡(返上金年延願難相済儀) (年代未詳)十一月廿九日 伊藤司馬介より下郷次郎八様 付、包紙	一通	三六四
書簡(跡式之儀、五六ヶ年之間拙者共引受) (年代未詳)十一月 下郷次郎八他一名他(宛名未詳)	一通	三六〇
書簡(小原新田) (年代未詳)十二月十五日 志水や源七より千代倉様地方余蔵様	一通	三六七
書簡(返上金年延願之儀) (年代未詳)十二月十一日 伊藤司馬介より下郷次郎八様 付、包紙	一通	三六三
書簡(年代未詳)十二月廿二日 吉田久米蔵より下郷次郎八様	一通	三七三
書簡(御内意) (年代未詳)十二月廿八日 紀海様 付、包紙	一通	三六八

書簡(菓子御用達申候一件) (年代未詳)十二月廿三日 永井米口(松右衛門)より堀川東岡(道源)様 付、包紙	一通	三六七
書簡(菓子年賦金之儀遅滞) (年代未詳)十二月廿八日 米口より東岡様	一通	三六八
書簡(御国内御家中様方手内継人馬改) (年代未詳)二日 佐兵衛より下郷次郎八様	一通	三六二
書簡(後欠) (年代未詳)圓龍寺より下郷次郎八様・地方御家中様	一通	三六四
(封筒) (年代未詳)山口一郎より下郷様	一通	三六三

口 記

客中日記 文化五年二月十日(三月四日) 平安橋街江州樓小山主人	横帳 一冊	三六七
---------------------------------	-------	-----

分家柏木家

金 融	借 金	覚(金子借用)	文化四年五月	下郷弥兵衛他一名より美濃屋	一通	三三三
		覚(金子借用)	文化四年五月	下郷弥兵衛より美濃屋治兵衛殿	一通	三三四
		覚(金子借用)	文化四年六月晦日	下郷弥兵衛他一名より美濃屋	一通	三三三
借財譯立留	嘉永三年九月日	下郷弥兵衛光雄	整理 仮一冊	一五五		

差出申御請書之事(兄源八改心仕候付、商売元手金ニ差還申度) 元治元年十二月 大津屋伊兵衛他一名より下郷弥兵衛様他一名	一通	三六三
覚 (年代未詳)十二月六日 相原村庄屋より下郷弥兵衛様	一通	三六五
(断簡) (年代未詳)七月十六日 弥兵衛より別紙御名前衆中	一通	三六六
(断簡) (年代未詳)極月 相原村庄屋より下郷弥兵衛様	一通	三六五

買 得

相渡申松山定納并切起畑之事 寛延四年四月 相渡シ主彦七他四名より柏木弥兵衛殿	一通	三三三
相渡シ申定納松山之事(所ハ萬場山、堀越山) 宝暦四年九月 定納松山相渡主与彦七他五名より柏木弥兵衛殿 (付書・朱筆)第老号	一通	三六三
相渡申田畑小作掟米之帳 安永二年二月 瑞泉寺より(柏樹弥兵衛)	一冊	三七七

家 政

相 続

一札(別家ニ付、御本家の居宅并土蔵武ケ所御造立) 明和三年極月 下郷太郎右衛門他一名柏木弥兵衛殿	一丁	三九七
書簡(安政三辰年御私居勘定一条) (安政四年)五月 又兵衛	一通	三〇九

書 簡 (庄屋文書を含む)

弥兵衛様	書簡(屋敷鷹場内之処、其村江預り候分、御村請ニ被成度一件) (年代未詳)五月七日 文右衛門より弥兵衛様	一通	三八六
書簡(水野表権平屋敷迄御出被下候様) (年代未詳)五月十九日 中根八郎より下郷弥兵衛様	一通	三三〇	
書簡(人攘方之儀) (年代未詳)五月廿九日 中根八郎より下郷弥兵衛様	一通	三三六	
書簡(津島祭舟賃御差越) (年代未詳)六月八日 宗兵衛より下郷弥兵衛様	一通	三七二	
書簡(御世話相成候人攘之内、植田村兩人儀今日呼出) (年代未詳)八月二日 中根八郎より下郷弥兵衛様	一通	三四六	
書簡(断簡) (年代未詳)九月十六日 小川又兵衛より下郷弥兵衛様	一通	三三三	
書簡(寺郡輪中助郷之儀) (年代未詳)十一月十三日 岡村嘉八郎より下郷弥兵衛様付、包紙	一通	三六六	
書簡(米八拾石積老般和納候) (年代未詳)十二月三日 山形屋蔵方より庄屋衆中様	一通	三三六	
書簡(龜崎村伊東孫左衛門、当村彦三郎分御私居判物ハ請取置不申哉) (年代未詳)十二月十二日 陣屋より鳴海庄屋正	一通	三三三	
書簡(御年貢米、岩本弥右衛門へ取扱方御頼) (年代未詳)十五日 小川より庄屋衆様	一通	三三三	
書簡(年数引図面取調) (年代未詳)廿六日 小川又兵衛より下郷弥兵衛様	一通	三〇六	
書簡(年貢受取) (年代未詳)廿七日 小川又兵衛より下郷弥兵衛様	一通	三三四	

書簡(当年御私居米代金之儀) (年代未詳) 陣屋、鳴海庄屋 一通 二三三

分家喜多浦家

家 政

家 計

年賦金返済証文之事(御年資金借用) 享和元年十一月 金借 一通 一四〇
 リ主善右衛門他二名、横江八郎治殿
 讓渡申家屋敷之事 慶応二年三月 讓主得助他三名、下郷善右衛門殿 一通 一〇九

日 記

(明和四丁亥年日記) 明和四年正月元日、明和五年正月一日 横帳 一冊 二
 明和九壬辰日々記 明和九年正月元日、安永二年正月十一日 横帳 一冊 三
 日 下郷稗載
 天明九己酉年日々記 天明九年正月元日、寛政二年正月十九日 下郷善右衛門 横帳 一冊 四
 寛政三辛亥年日記 寛政三年正月元日、寛政四年正月十二日 横帳 一冊 五
 日 下郷善右衛門
 寛政十戊午歳日々記 寛政十年正月元日、寛政十一年正月十一日 下郷善右衛門昌衍 横帳 一冊 六
 寛政十一己未歳日々記 寛政十一年正月元日、寛政十二年 横帳 一冊 七

正月十二日

寛政十三辛酉年日々記 寛政十三年正月元日、享和二年正月十三日 下郷善右衛門昌衍 横帳 一冊 八

享和戊二壬歳日々記 享和二年正月元日、享和三年正月十二日 下郷善右衛門昌衍 横帳 一冊 一

文化六己巳歳日々記 文化六年正月元日、文化七年正月十二日 下郷善右衛門平從 横帳 一冊 九

文化十三丙子歳日々記 文化十三年正月元日、十二月大晦日 下郷善右衛門平從 横帳 一冊 三

文化十五戊寅歳日々記 文化十五年正月元日、文政二年正月八日 横帳 一冊 三

文政二己卯歳日々記 文政二年正月九日、文政三年正月十一日 下郷善右衛門平從 横帳 一冊 四

文政三庚辰歳日記) 文政三年正月元日、同年十二月大晦日 下郷善右衛門平從 横帳 一冊 五

(年代未詳日記)(前欠) 正月六日、四月晦日 横帳 一冊 六

(年代未詳日記) 五月朔日、七月廿二日 横帳 一冊 七

(年代未詳日記) 七月廿三日、九月十六日 横帳 一冊 八

(断簡類)

覚(年代未詳)己十二月廿九日 小七 一通 三七二

口上(年代未詳)未七月十四日 見 一通 三七五

覚(年代未詳)未十月 平部町善左衛門 一通 二六〇

覚(年代未詳)九月七日 下組 一通 二六五

覚(年代未詳)十二月十八日 万屋惣助、(宛名未詳)

覚(勘定) (年代未詳) 一通 二六四

覚(断簡) (年代未詳) 一通 二六五

覚(断簡) (年代未詳) 一通 二六六

覚(断簡) (年代未詳) 一通 二六三

覚(断簡) (年代未詳) 一通 二六四

覚(断簡) (年代未詳) 付、包紙 一通 二六三

覚(断簡) (年代未詳) 栄蔵、専助殿 一通 二六四

覚(断簡) (年代未詳) 栄蔵、専助殿 一通 二六五

覚(断簡) (年代未詳) 栄蔵、専助殿 一通 二六六

覚(断簡) (年代未詳) 栄蔵、専助殿 一通 二六七

覚(断簡) (年代未詳) 栄蔵、専助殿 一通 二六八

覚(断簡) (年代未詳) 栄蔵、専助殿 一通 二六九

覚(断簡) (年代未詳) 栄蔵、専助殿 一通 二七〇

覚(断簡) (年代未詳) 栄蔵、専助殿 一通 二七一

覚(断簡) (年代未詳) 栄蔵、専助殿 一通 二七二

覚(断簡) (年代未詳) 栄蔵、専助殿 一通 二七三

覚(断簡) (年代未詳) 栄蔵、専助殿 一通 二七四

覚(断簡) (年代未詳) 栄蔵、専助殿 一通 二七五

覚(断簡) (年代未詳) 栄蔵、専助殿 一通 二七六

既刊近世文書目録（関西大学図書館シリーズ）

第十七輯 摂津国嶋上郡高浜村西田家文書目録

第十八輯 河内国丹北郡六反村谷川家文書目録

第十九輯 摂津国住吉郡中喜連村佐々木家文書目録

第二十輯 和泉国大鳥郡豊田村小谷家文書目録

第二十一輯 和泉国大鳥郡岩室村中林家文書目録

第二十四輯 近世文書目録 その一

関西大学所蔵

近世文書目録 その二

平成元年三月三十一日発行

関西大学図書館

大阪府吹田市山手町

印刷 ナニワ印刷株式会社

大阪府北区天満一丁目九番一十九号